

官報

號外

昭和十年二月二十七日

○第六十七回衆議院議事速記録第十九號

帝國議會

昭和十年二月二十六日(火曜日)

午後一時十七分開議

議事日程 第十八號

昭和十年二月二十六日

午後一時開議

第一 市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法中改正法律案(政府提出)

第二 府縣制中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第三 北海道會法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第四 市制中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第五 町村制中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第六 米穀自治管理法案(政府提出) 第一讀會

第七 米穀統制法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第八 糧食共同貯藏助成法案(政府提出) 第一讀會

第九 國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第十 造幣局ノ廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供スル建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第十一 東京高等農林學校及函館高等水產學校ノ創設ニ伴フ帝國大學特別

會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十二 日本銀行金買入法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十三 朝鮮銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十四 臺灣銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲メ茲ニ掲載ス〕

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

府縣制中改正法律案

北海道會法中改正法律案

市制中改正法律案

町村制中改正法律案

〔以上二月二十三日提出〕

米穀自治管理法案

米穀統制法中改正法律案

糧食共同貯藏助成法案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

提出者

菅野善右衛門君 佐藤庄太郎君

朝鮮ニ訴願法及行政裁判法實施ニ關スル建議案

提出者

牧山 耕藏君 一松 定吉君

濱野徹太郎君 竹田 儀一君

內藤 正剛君 中山 福藏君

朝鮮ニ裁判所構成法及辯護士法實施ニ關スル建議案

提出者

牧山 耕藏君 一松 定吉君

濱野徹太郎君 竹田 儀一君

中山 福藏君 內藤 正剛君

ラヂオ放送取締ニ關スル建議案

提出者

坂東幸太郎君 一松 定吉君

母子ホームニ關スル建議案

提出者

濱野徹太郎君 一松 定吉君

沖繩航路改善ニ關スル建議案

提出者

花城 永渡君 金城 紀光君

沖繩航路改善ニ關スル建議案

提出者

崎山 嗣朝君 竹下 文隆君

花卷釜石間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者

提出者

北海道港灣漁港修築速成ニ關スル建議案

提出者

木下成太郎君 田中喜代松君

松尾 孝之君 壽原英太郎君

林 路一君 山本 市英君

東 武君 松實喜代太郎君

佐々木平次郎君 岡田伊太郎君

丸山 浪彌君 三井 德寶君

尾崎 天風君 板谷 順助君

癩瘡養所位置選定ニ關スル建議案

提出者

藤山 貞吉君

書道振興獎勵ニ關スル建議案

提出者

川崎 克君 大竹 貫一君

熊谷 直太君 加藤 綱一君

東 武君 斯波 貞吉君

安藤 正純君 廣瀬 爲久君

高等海員養成ニ關スル建議案

提出者

立川 平君

博多驛改築並博多港臨港線敷設ニ關スル建議案

提出者

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

〔以上二月二十五日提出〕

最近ノ對外關係ニ關スル質問主意書

提出者

田中 武雄君

〔以上二月二十三日提出〕

一去二十三日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

倉庫業法案(政府提出)委員

岩本 武助君 國枝拾次郎君

板谷 順助君 青田 勝晴君

中井 一夫君 八並 武治君

山本 厚三君 池田 敬八君

中田 正輔君

一去二十三日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

政府貸付金處理ニ關スル法律案(政府提出)委員
辭任寺田 市正君 補闕立川 太郎君

度量衡法中改正法律案(東武君外三名提出)外二件委員
辭任荒川 五郎君 補闕八木 逸郎君

辭任眞鍋 儀十君 補闕増田 義一君
一昨二十五日辭任シタル常任委員左ノ如シ
第五部選出決算委員 加藤久米四郎君

一昨二十五日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
倉庫業法案(政府提出)委員
委員長 岩本 武助君

理事 中井 一夫君 池田 敬八君
一昨二十五日特別委員理事補闕選舉ノ結果左ノ如シ
度量衡法中改正法律案(東武君外三名提出)外二件委員
理事 増田 義一君(理事眞鍋儀十君
本月二十三日委員辭任ニ付其ノ補闕)

○議長(濱田國松君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リ致シマス、第三部選出豫算委員杉山元治郎君ヨリ常任委員辭任ノ申出ガアリマス、之ヲ許可スルニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(濱田國松君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可スルニ決シマシタ、其部ノ諸君ハ速ニ補闕選舉ヲ行ハレ、御届ケアラシコトヲ望ミマス、此場合一言致シマス、去ル二十三日ヲ以テ會期三分ノ二ニ達シマシタカラ、先例ニ依リマシテ本會議ハ火曜日、木曜日、土曜日以外ニ於テモ開キ得ルコトニ致シマス、本會議中委員會開會ノ件ハ院議ニ諮フコトナク、議長ニ於テ先例ニ依リ許可スルコトニ致シマス、尙ホ法律案ハ定規ノ時日ニ拘ラズ上程シ得ルコト、致

シマス、更ニ一言致シマス、本日ハ質問日デアリマスガ、議案審議ノ都合上質問ヲ延期致シマス、御諒承ヲ乞ヒマス

○青木雷三郎君 議事日程變更ノ緊急勸議ヲ提出致シマス、即チ此際日程第九乃至第十四ヲ繰上ゲ上程シ、委員長ノ報告ヲ求め、其審議ヲ進メラシムコトヲ望ミマス

○議長(濱田國松君) 青木君ノ勸議ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(濱田國松君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、日程第九乃至第十四ハ同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括議題トナスニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(濱田國松君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第九、國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案、日程第十、造幣局ノ廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供スル建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案、日程第十一、東京高等農林學校及函館高等水產學校ノ創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案、日程第十二、日本銀行金買入法中改正法律案、日程第十三、朝鮮銀行法中改正法律案、日程第十四、臺灣銀行法中改正法律案、右六案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長岡田忠彦君

第九 國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
第十 造幣局ノ廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供スル建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)
第十一 東京高等農林學校及函館高等

水產學校ノ創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

第十二 日本銀行金買入法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

第十三 朝鮮銀行法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

第十四 臺灣銀行法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書
一國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十年二月二十五日
委員長 岡田 忠彦
衆議院議長濱田國松殿

報告書
一造幣局ノ廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供スル建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十年二月二十五日
委員長 岡田 忠彦
衆議院議長濱田國松殿

報告書
一東京高等農林學校及函館高等水產學校ノ創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十年二月二十五日
委員長 岡田 忠彦
衆議院議長濱田國松殿

報告書
一日本銀行金買入法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十年二月二十五日
委員長 岡田 忠彦
衆議院議長濱田國松殿

報告書
一朝鮮銀行法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十年二月二十五日
委員長 岡田 忠彦
衆議院議長濱田國松殿

報告書
一臺灣銀行法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十年二月二十五日
委員長 岡田 忠彦
衆議院議長濱田國松殿

報告書
一臺灣銀行法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十年二月二十五日
委員長 岡田 忠彦
衆議院議長濱田國松殿

○岡田忠彦君 本委員會ニ付議サレテ居リマス議案ハ十件ノ多キニ達シテ居リマス、今日上程ノ運びニナリマシタモノハ其中六件デアリマス、只今ヨリ簡單ニ其經過ヲ御報告申上ゲマス、此委員會ハ去ル一月二十六日、第一回ノ會議ヲ開キマシテ、昨二十五日ニ至ルマデ十六回ノ會議ヲ重ネタノデアリマス、第一回ノ會議ニ於テ委員長トシテ私が當選致シ、理事トシテハ松村光三君、鷲野米太郎君、岡田喜久治君、中村繼男君、各當選サレマシテ、其後鷲野君ノ辭任ニ依リマシテ、上田孝吉君ガ理事ニ當選サレマシタ、今日上程ノ六件ハ、昨二十五日委員會ノ採決ヲ了ヘテ、茲ニ本議場ニ上程サレタモノデアリマスルガ、此委員會ニ付議サ

レテ居リマス十件ノ法案ハ、何レモ重要ナ
法案デアリマシテ、其中ニハ所謂赤字公債
ニ關スル法案、新税目ニ關スル法案等、最
モ重要ナルモノガ含マレテ居リマシテ、憤
重且ツ周密ナル審議ノ必要ガアリマス、併
シ一面ニ於テハ豫算ノ既ニ通過シ、貴族院
ニ回付サレテ居ル關係ニ顧ミマシテ、成ベ
ク速ニ之ヲ議了スル必要ノアルコトハ勿論
デアリマス、隨テ委員長ニ於テモ、亦委員
ニ於テモ、極メテ其促進ヲ圖リマシテ、私
議員ノ圓滿ナル進行ヲ圖ランガ爲ニ、特ニ
總理大臣ニ對シテ警告ヲ發シタコトモアリ
マス、又豫算ノ貴族院ニ移リシ以來、國務
大臣ノ出席聯合セニ付キマシテモ細心ノ注
意ヲ拂ヒマシテ、成ベク議事ノ促進ヲ圖
シテ居ル次第デアリマス、且又材料ノ提出方
ニ付キマシテモ、再三政府ニ督勵ヲ加ヘタ
ニモ拘ラズ、其提出方ガ甚ダ遅レマシタ、
即チ臨時利得稅ノ勅令、省令要綱ノ提出ノ
如キモノハ、漸ク去ル二十一日ニ至ッテ委
員ノ手許ニ達シタ譯デアリ、又重要ノ資料
ニシテ、昨二十五日ニ至ッテ初メテ手許ニ
回付サレタモノモアリ、又今日マデ何等答
辯ナク、未提出ノ儘ニ殘テ居ルモノモアル、
斯様ナル事態デアリマシテ、洵ニ資料ノ提
出ノ遅キコトニ付テハ、甚ダ遺憾ト思ッテ
居リマス、委員中ニ於テハ、此資料ノ
提案ヲ待ッテ質問ヲセント云フコトノ爲
ニ、質問ヲ保留サレテ居ル方モアルト
云フ譯デアリマシテ、甚ダ遺憾ヲ覺エル譯
デアリマス、隨テ昨二十五日委員長ヨリ重
ネテ政府ニ嚴重ナル警告ヲ發シタヤウナ次
第デアリマス、各委員ハ午前午後ニ互リ、
最モ熱心ナル態度ヲ以テ審議ヲ進メラレマ
シタコトハ、委員長トシテ深ク感謝シ、又
特ニ之ヲ議場ニ報告申上ゲル次第デアリマ
ス、即チ世間或ハ此委員會ガ故意ヲ以テ、
或ハ怠慢ニ因リ、此議事ノ進行ガ遅レテ居

ルト云フヤウナ風評ヲ耳ニ致シマスケレド
モ、是ハ全ク真相ニ即セザルコトデアルト
云フコトヲ茲ニ諸君ノ前ニ御報告ヲ申上ゲ
ル次第デアリマス、質問保留中ノ案件ニ付
キマシテハ、何レ討論終結、採決ノ上ニ、
上程サレタ時ニ、改メテ其議案ヲ御報告ス
ルコトニ致シマシテ、只今ハ上程ノ六案、
此六案ノ審議ノ經過竝ニ結果ヲ御報告スル
ニ止メマス

此六案ハ一般ノ質問ヲ了ヘタル後、特ニ
三日間ヲ費シテ各案件ニ付テノ質問ヲ詳細
盡シマシタ、其詳細ハ速記録ニ就テ御諒承
アラシコトヲ希望致シマス、此際特ニ國際
文化事業ニ付テ、各種ノ重要ナル質問ガ行
ハレ、又朝鮮竝ニ臺灣銀行ノ改正法律案ト
關聯致シマシテ、日本銀行、臺灣朝鮮兩銀
行ノ兌換券發行制度ニ關シ、又其銀行ノ組
織監督ノ方法ニ關シ、是亦重要ナル質疑應
答ノ行ハレタコトヲ御報告致シテ置クニ止
メマス

昨日討論ニ入り、政友會ヲ代表致シテ松
村光三君ヨリ、又民政黨ヲ代表シテ岡田喜
久治君ヨリ、國民同盟ヲ代表シテ栗原彦三
郎君ヨリ、何レモ贊成ノ發言ガアリマシタ、
第一控室ノ龜井貫一郎君ハ、御缺席ノ爲
ニ何等ノ意思表示ガアリマセヌ、右討論ノ
際、政友會ノ松村光三君ヨリ政友會ヲ代表
致シマシテ、國際文化事業ニ關シ、此事業
ハ最モ適切ナル事業デアアルケレドモ、其資
金ヲ對支文化事業特別會計ノ中ヨリ繰替支
辨ヲスルト云フコトハ、特別會計法設定ノ
趣旨ニ副ハナイ、又豫算編成ノ本則ニモ副
ハナイ、仍テ明年度以降ニ於テハ、一般會
計ヨリ其資金ヲ出スベキモノデアルト云
フ、嚴重ナル警告ガ與ヘラレタ譯デアリマ
ス、又國民同盟ノ栗原君ヨリハ、本法實施
ニ際シテハ、慎重ノ考究注意ノ下ニ、我國
ノ眞面目ヲ世界ニ宣揚スルヤウニ取計ラハ
レタイト云フ御希望ノ陳述ガアッタ次第デ

アリマス、次ニ採決ニ移リ、全員一致贊成、
之ヲ可決致シタ譯デアリマス、何卒委員會
決議通り、當議場ニ於テモ御協賛ヲ賜ラン
コトヲ希望致シマス(拍手)

○議長(濱田國松君) 別ニ質疑又ハ討論ニ
付テノ通告ハアリマセヌ、上程六案ノ第二
讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(濱田國松君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ六案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシ
タ

○青木雷三郎君 直チニ六案ノ第二讀會ヲ
開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通
リ可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(濱田國松君) 青木君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(濱田國松君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ直チニ六案ノ第二讀會ヲ開キ、議
案全部ヲ議題ニ供シマス

國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關ス
ル法律案 第二讀會(確定議)

造幣局ノ廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供ス
ル建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關ス
ル法律案 第二讀會(確定議)

東京高等農林學校及函館高等水產學校
ノ創設ニ伴フ帝國大學特別會計及學校
及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律
案 第二讀會(確定議)

日本銀行金買入法中改正法律案 第二讀會(確定議)

朝鮮銀行法中改正法律案 第二讀會(確定議)

臺灣銀行法中改正法律案 第二讀會(確定議)

○議長(濱田國松君) 別ニ御發議モアリマ
セヌ、第三讀會ヲ省略シテ、六案共委員長
報告通り可決確定致シマシタ(拍手)

○青木雷三郎君 議事日程變更ノ緊急動議
ヲ提出致シマス、即チ此際日程第六乃至第
八ヲ繰上ゲ上程シ、其審議ヲ進メラレンコ
トヲ望ミマス

○議長(濱田國松君) 青木君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(濱田國松君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、日程第
六乃至第八ハ關聯セル議案ナルニ依リ、一
括議題トナスニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(濱田國松君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ日程第六、米穀自治管理法案、日
程第七、米穀統制法中改正法律案、日程第
八、糧共同貯藏助成法案、右三案ヲ一括シ
テ第一讀會ヲ開キマス——農林大臣山崎達
之輔君

第六 米穀自治管理法案(政府提出) 第一讀會

第七 米穀統制法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第八 糧共同貯藏助成法案(政府提出) 第一讀會

米穀自治管理法案 第一條 本法ハ内地、朝鮮及臺灣ヲ通ズ
ル過剩米穀ヲ統制スル爲メ内地、朝鮮及
臺灣ニ於テ米穀ノ自治管理法ヲ行ハシム
ルコトヲ目的トス

第二條 米穀生産者、土地ニ付權利ヲ有
スル者ニシテ米穀ヲ小作料トシテ受ク
ルモノ及命令ヲ以テ指定スル之ニ準ズ
ル者ハ米穀統制組合ヲ設立スルコトヲ
得

第三條 米穀統制組合ハ法人トシ第一條
ノ自治管理法ヲ行フヲ以テ目的トス

第四條 米穀統制組合ハ其ノ目的ヲ達ス

ル爲左ノ事業ヲ行フ

一 第四十三條(第五十七條第二項ニ

於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ

依リ組合ニ於テ統制スベキ米穀ノ數

量ヲ組合員ニ對シ割當ツルコト

二 組合ニ於テ統制スベキ米穀ヲ貯藏

スルコト

三 前號ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀

ニ付組合員ニ資金ノ融通又ハ其ノ幹

旋ヲ爲スコト

四 第四十九條、第五十條(第五十七條

第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)

又ハ第五十八條ノ規定ニ依リ米穀ノ

賣渡ヲ爲スコト

五 第二號ノ規定ニ依リ貯藏シタル米

穀ニシテ貯藏ヲ解除シタルモノヲ委

託ヲ受ケ販賣又ハ保管シ其ノ他米穀

ノ自治管理ニ附帶シ必要ナル行爲ヲ

爲スコト

第五條 米穀統制組合ノ地區ハ内地ニ在

リテハ市町村、朝鮮ニ在リテハ府郡島

臺灣ニ在リテハ廳又ハ郡市ノ區域ニ依

ル

特別ノ事由アルトキハ米穀統制組合ノ

地區ハ前項ノ區域ニ依ラザルコトヲ得

命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外市町

村等ノ區域ニ増減アリタルトキハ其ノ

區域ヲ地區トスル米穀統制組合ノ地區

モ亦之ニ應ジテ増減アリタルモノトス

第六條 米穀統制組合ノ名稱中ニハ米穀

統制組合ナル文字ヲ用フベシ

本法ニ依リ設立シタル米穀統制組合ニ

非ザレバ其ノ名稱中ニ米穀統制組合タ

ルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルコトヲ

トキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區

内ノ組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分

ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ

定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定

メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第九條 行政官廳ハ必要アリト認ムルト

キハ區域ヲ指定シ組合員タル資格ヲ有

スル者ニ對シ米穀統制組合ノ設立ヲ命

ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル

者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ

開キ定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項

ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

設立ヲ命ゼラレタル者命令ノ定ムル期

間内ニ設立ノ認可ヲ申請セザルトキハ

行政官廳ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關

シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十條 米穀統制組合ハ設立ノ認可アリ

タル時又ハ前條第三項ノ規定ニ依リ定

款ノ作成アリタル時成立ス

前項ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ遲滯ナ

ク組合設立ノ旨並ニ組合長及副組合長

ノ住所及氏名ヲ告示スベシ

第十一條 米穀統制組合成立シタルトキ

ハ其ノ地區内ノ組合員タル資格ヲ有ス

ル者ハ總テ其ノ組合員トス

第十二條 米穀統制組合ニ總會ヲ置ク

總會ハ組合長、副組合長及總代ヲ以

テ之ヲ組織ス

第十三條 米穀統制組合ノ組合員ハ命令

ノ定ムル所ニ依リ組合員中ヨリ總代ヲ

選舉スベシ

第十四條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議

決ヲ經ベシ

六 第三十七條ニ於テ準用スル第八條

ノ同意

七 第四十三條(第五十七條第二項ニ

於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ割當

前項第一號、第二號、第四號及第五號

ニ掲グル事項ノ決議ハ行政官廳ノ認可

ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十五條 定款ノ變更ハ總會ニ於テ之

ヲ組織スル者半數以上出席シ出席者ノ

三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

定款ノ變更ガ地區ノ増減ニ關スルトキ

ハ前項ノ規定ニ依リ議決ノ外新ニ編入

セラレ又ハ削除セラレベキ區域内ノ組

合員タル資格ヲ有スル者又ハ組合員ノ

三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第十六條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ

外總會ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ

以テ之ヲ定ム

第十七條 特別ノ事情アル米穀統制組合

ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總會ヲ設ケ

ズ組合員ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコト

ヲ得

總會ニ關スル規定ハ總會ニ之ヲ準用

ス

第十八條 米穀統制組合ニ左ノ役員ヲ置

ク

組合長 一人

副組合長 一人

評議員 數人

役員ハ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組

合長及副組合長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ

選任スルコトヲ妨ゲズ

役員ノ選任及解任ハ總會ニ於テ之ヲ

行フ

官廳ハ總會ヲ指定シ組合長ノ職務ヲ行

ハシムルコトヲ得

組合長及副組合長ノ選任及退任ハ第四

項及第二十六條ノ場合ヲ除クノ外其ノ

旨ヲ行政官廳ニ届出ツベシ

行政官廳第四項ノ認可、第五項ノ指定

若ハ第二十六條ノ解任ヲ爲シ又ハ前項

ノ届出ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ

旨ヲ告示スベシ

第十九條 組合長ハ組合ヲ代表シ組合ノ

事務ヲ總理ス

副組合長ハ組合長ヲ輔佐シ組合長事故

アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

評議員ハ組合長ノ諮問ニ應ジ並ニ組合

ノ業務執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

第二十條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニ

關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ總會

會成立セザルトキ又ハ之ヲ招集スルノ

暇ナキトキハ命令ノ定ムル場合ヲ除ク

ノ外組合長之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ專決處分ヲ爲シタル

トキハ組合長ハ次ノ總會ニ之ヲ報告

スベシ

第二十一條 米穀統制組合ハ第十八條ノ

役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ職員ヲ

置クコトヲ得前項ノ職員ニ關シ必要ナ

ル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 米穀統制組合ハ定款ノ定ム

ル所ニ依リ其ノ組合員ニ對シ經費ヲ分

賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

米穀統制組合ノ經費又ハ過怠金ヲ滯納

スル者アル場合ニ於テ其ノ組合長ノ請

求アルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ

依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ米穀統

第七條 米穀統制組合ハ命令ノ定ムル所

ニ依リ其ノ地區内ノ第二條ニ掲グル者

ヲ以テ其ノ組合員トス

第八條 米穀統制組合ヲ設立セントスル

ル爲左ノ事業ヲ行フ

一 第四十三條(第五十七條第二項ニ

合長ハ行政官廳ノ認可ヲ得テ之ヲ處分
スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村制
第百一十一條第一項及第四項ノ規定ヲ準
用ス

前二項ニ規定スル徵收金ノ先取特權ノ
順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノ
ノ徵收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町
村稅ノ例ニ依ル

朝鮮及臺灣ニ於ケル米穀統制組合ノ經
費及過怠金ノ分賦徵收、滯納處分、先
取特權ノ順位及時効ニ關シテハ命令ノ
定ムル所ニ依ル

經費ノ分賦及過怠金ノ徵收ニ關シテハ
勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴
願及行政訴訟(朝鮮ニ在リテハ異議ノ
申立、臺灣ニ在リテハ異議ノ申立及訴
願ニ限ル)ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 米穀統制組合ハ定款ノ定ム
ル所ニ依リ使用料及手数料ヲ徵收スル
コトヲ得

第二十四條 使用料及手数料ノ徵收、米
穀ノ寄託其ノ他米穀統制組合ト組合員
トノ間ニ於ケル權利義務ニ關シテハ本
法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ別段
ノ規定アルモノヲ除クノ外民事訴訟ヲ
提起スルコトヲ得

第二十五條 行政官廳ハ米穀統制組合ニ
對シ組合ノ事務ニ關スル報告ヲ爲サシ
メ組合ノ業務執行又ハ財産ノ狀況ヲ檢
査シ、定款、收支豫算又ハ經費ノ分賦
收入方法ノ變更ヲ命ジ其ノ他監督上必
要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 行政官廳ハ米穀統制組合ノ
決議若ハ選舉又ハ役員ノ行爲ヲ法令若
ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害
スルノ虞アリト認ムルトキハ決議、選
舉若ハ當選ヲ取消シ、役員ヲ解任シ、
總代ノ改選ヲ命ジ、組合ノ事業ヲ停止
シ又ハ組合ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第二十七條 米穀統制組合解散又ハ合併
ヲ爲サントスルトキハ總代會ノ議決ヲ
經且其ノ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意
ヲ得尙合併ノ場合ニ在リテハ定款ヲ議
定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官
廳ノ認可ヲ受クベシ

米穀統制組合分割ヲ爲サントスルトキ
ハ前項ノ規定ニ準ズル議決及同意ノ外
分割ノ各組合ノ組合員又ハ組合員タル
資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意
ヲ得且定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事
項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第十條及第十五條ノ規定ハ前二項ノ場
合ニ之ヲ準用ス
前三項ニ規定スルモノヲ除クノ外解
散、合併又ハ分割ニ關シ必要ナル事項
ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 米穀ヲ取扱フ販賣組合(以
下米穀販賣組合ト稱ス)ノ存スル市町
村ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀
統制組合ノ事業ハ行政官廳ノ許可ヲ受
ケ米穀販賣組合ニ於テ之ヲ行フコトヲ
得

米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ米穀
販賣組合ナキ市町村ニ於テハ勅令ノ定
ムル所ニ依リ農會ハ行政官廳ノ許可ヲ
受ケ米穀統制組合ノ事業ヲ行フコトヲ
得

朝鮮及臺灣ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ
依リ米穀ヲ取扱フ產業組合又ハ農會ハ
行政官廳ノ許可ヲ受ケ米穀統制組合ノ
事業ヲ行フコトヲ得

第二十九條 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ
團體ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ團體員ニ
非ズシテ其ノ區域内ニ於テ米穀統制組
合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ
團體員ニ準ジ第四條ニ掲グル事業ヲ行
フコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ第四條ニ掲グル事

業ヲ行フ團體ハ前項ニ規定スル者ヨリ
團體員ノ例ニ準ジ使用料及手数料ヲ徵
收スルコトヲ得

第三十條 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團
體ガ第四十三條ノ規定(第五十七條第
二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ依
ル割當ヲ爲ス場合ニ於テハ總會又ハ總
代會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

米穀統制組合ノ事業ヲ行フ場合ニ於ケル
前項ノ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關
シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第三十一條 米穀統制組合及其ノ事業ヲ
行フ團體ハ團體相互ノ聯絡ヲ圖リ米穀
ノ自治管理ヲ行フ目的ヲ以テ地方米穀
統制組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

地方米穀統制組合聯合會(臺灣ニ於テ
ハ廳ノ區域内ノ米穀統制組合ヲ含ム)
及其ノ事業ヲ行フ團體ハ團體相互ノ聯
絡ヲ圖リ米穀ノ自治管理ヲ行フ目的ヲ
以テ中央米穀統制組合聯合會ヲ設立ス
ルコトヲ得

第三十二條 地方米穀統制組合聯合會及
中央米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第三十三條 地方米穀統制組合聯合會ノ
地區ハ內地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ
在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州、中央
米穀統制組合聯合會ノ地區ハ各內地、
朝鮮又ハ臺灣ノ區域ニ依ル

第三十四條 地方米穀統制組合聯合會及
中央米穀統制組合聯合會ニ總會ヲ置
ク
總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ
組織ス
第三十五條 地方米穀統制組合聯合會ノ
議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制
組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ代表者
ヲ以テ之ニ充ツ
中央米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令
ノ定ムル所ニ依リ地方米穀統制組合聯

合會(臺灣ニ於テハ廳ノ區域内ノ米穀
統制組合ヲ含ム)又ハ其ノ事業ヲ行フ
團體ノ代表者ヲ以テ之ニ充ツ

第三十六條 地方米穀統制組合聯合會及
中央米穀統制組合聯合會ニ左ノ役員ヲ
置ク

會長 一人
副會長 一人又ハ二人
評議員 數人

役員ハ議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長
及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任ス
ルコトヲ妨ゲズ

前項但書ノ規定ニ依ル會長及副會長ノ
選任ハ行政官廳ノ許可ヲ受クルニ非ザ
レバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十七條 第四條、第六條、第八條乃
至第十一條、第十四條乃至第十六條、
第十八條第五項乃至第七項、第十九條
乃至第二十一條、第二十二條第一項及
第二十三條乃至第二十六條ノ規定竝ニ
第二十七條中解散ニ關スル規定ハ地方
米穀統制組合聯合會及中央米穀統制組
合聯合會ニ之ヲ準用ス

第三十八條 勅令ノ定ムル所ニ依リ行政
官廳ノ許可ヲ受ケ道府縣ヲ區域トスル
米穀ヲ取扱フ販賣組合聯合會(以下道
府縣米穀販賣組合聯合會ト稱ス)ハ地
方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ、內地
ヲ區域トスル米穀ヲ取扱フ販賣組合聯
合會(以下全國米穀販賣組合聯合會ト
稱ス)ハ內地ヲ區域トスル中央米穀統制
組合聯合會ノ事業ヲ行フコトヲ得

第三十九條 地方米穀統制組合聯合會ノ
事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會
ハ其ノ地區内ニ於ケル米穀統制組合及
所屬組合ニ非ズシテ米穀統制組合ノ事
業ヲ行フ團體ニ對シ所屬組合ニ準ジ第
三十七條ニ於テ準用スル第四條ニ掲グ
ル事業ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ハ中央米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フ全國米穀販賣組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第四十條 中央米穀統制組合聯合會又ハ地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フ全國米穀販賣組合聯合會又ハ道府縣米穀販賣組合聯合會第四十三條ノ規定(第五十七條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ依ル割當ヲ爲ス場合ニ於テハ總會又ハ總代會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第三十條第二項ノ規定ハ前項ノ團體ニ之ヲ準用ス
前條ニ規定スル米穀統制組合及其ノ事業ヲ行フ團體ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ代表者ヲ第一項ノ總會又ハ總代會ニ出席セシメ表決權ヲ行使セシムルコトヲ得

第四十一條 政府ハ毎年内地、朝鮮及臺灣ヲ通ジ米穀需給推算ヲ行ヒ米穀ノ供給過剩ナリト認ムルトキハ其ノ過剩數量ノ範圍内ニ於テ定ムル一定數量ノ米穀ヲ内地、朝鮮及臺灣ニ於テ統制セシムルコトヲ得

前項ノ米穀需給推算ノ方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第一項ノ一定數量ノ内地、朝鮮及臺灣ニ對スル割當ノ割合ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ内地、朝鮮及臺灣ノ米穀管外移出數量ノ増加趨勢ノ外ニ米穀管外移出數量、米穀收穫ノ豐凶等ヲモ參酌シテ之ヲ定ム

第四十二條 前條第一項ノ米穀需給推算及統制スベキ米穀ノ數量並ニ同條第三項ノ割當ノ割合ニ付テハ米穀自治管理委員會ニ諮問シテ之ヲ定ム
米穀自治管理委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十三條 政府ハ各内地、朝鮮及臺灣

ニ於ケル中央米穀統制組合聯合會又ハ其ノ事業ヲ行フ全國米穀販賣聯合會ニ對シ第四十一條ノ規定ニ依リ定マリタル數量ノ米穀ヲ割當テ其ノ米穀ニ付統制ヲ命ズ

中央米穀統制組合聯合會又ハ其ノ事業ヲ行フ全國米穀販賣組合聯合會前項ノ規定ニ依リ米穀ノ統制ヲ命ゼラレタルトキハ其ノ統制ヲ命ゼラレタル數量ヲ地方米穀統制組合聯合會又ハ其ノ事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會ニ對シ割當テ、地方米穀統制組合聯合會又ハ其ノ事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會ニ對シ割當ツルコトヲ要ス

米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ其ノ割當テラレタル數量ヲ團體員及第二十九條ニ規定スル者ニ對シ割當ツルコトヲ要ス

朝鮮及臺灣ニ於テ統制セシムベキ米穀ノ數量ノ割當ニ付テハ前三項ノ規定ニ關シ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第四十四條 中央米穀統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ全國米穀販賣組合聯合會、地方米穀統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體前條ノ規定ニ依リ割當ヲ爲サザル場合ニ於テハ政府ハ之ニ代リ割當ヲ爲スコトヲ得

第四十五條 前二條ノ割當ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第四十六條 米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ其ノ割當テラレタル數量ノ米穀ヲ貯藏スルコトヲ要ス但シ其ノ貯藏ヲ解除シタルモノ及第四十九條第一項又ハ第五十條ノ規定ニ依リ政府ノ買入ヲ爲シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十七條 米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ團體員ハ第四十三條又ハ第四十四條ノ規定ニ依リ割當テラレタル數量ノ米穀ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ寄託スルコトヲ要ス第二十九條ニ規定スル者ニ付亦同ジ

第四十八條 米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ第二項ノ場合及勅令ノ定ムル場合ヲ除クノ外第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付其ノ貯藏ノ解除ヲ爲スコトヲ得

政府ハ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付其ノ貯藏ノ解除ヲ命ズルコトヲ得

第四十九條 政府ハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ貯藏スベキ米穀中貯藏能力其ノ他ノ事情ニ依リ貯藏困難ナリト認ムルモノニ付當該團體ヨリ賣渡ノ申込アリタル場合ニ於テハ買入ヲ爲ス

前項ノ買入價格ハ内地ニ在リテハ米穀統制法第二條ノ最低價格、朝鮮及臺灣ニ在リテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第五十條 政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニシテ當該米穀年度ヲ越ユルモノ其ノ貯藏ヲ解除セラレザルモノニ付買入ヲ爲ス

前項ノ買入價格ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第五十一條 命令ヲ以テ指定スル地ニ於ケル米穀取扱業者ハ米穀商統制組合ヲ設立スルコトヲ得
前項ノ米穀取扱業者ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十二條 米穀商統制組合ハ法人トシ第一條ノ自治管理ヲ行フヲ以テ目的トス

第五十三條 第四條、第六條及第八條乃至第二十七條ノ規定ハ米穀商統制組合ニ之ヲ準用ス

第五十四條 勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀取扱業者ノ組織スル商業組合又ハ重要物產同業組合若ハ朝鮮重要物產同業組合令ニ依リ同業組合ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ米穀商統制組合ノ事業ヲ行フコトヲ得

第二十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第五十五條 米穀商統制組合及其ノ事業ヲ行フ團體ハ團體相互ノ聯絡ヲ圖リ米穀ノ自治管理ヲ行フ目的ヲ以テ中央米穀商統制組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

第三十二條乃至第三十七條中中央米穀統制組合聯合會ニ關スル規定ハ中央米穀商統制組合聯合會ニ之ヲ準用ス
第五十六條 勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ハ第四十一條ノ統制ヲ爲スモ米穀ノ供給過剩ニシテ米價ガ米穀統制法ニ基キテ發スル命令ニ定ムル標準最低價格ヲ下ラントスル處アリト認ムルトキハ米穀自治管理委員會ニ諮問シテ一定數量ノ米穀ヲ内地、朝鮮及臺灣ニ於テ統制セシムルコトヲ得

第五十七條 前條ノ場合ニ於テハ政府ハ各内地、朝鮮及臺灣ニ於ケル中央米穀統制組合聯合會若ハ其事業ヲ行フ團體及中央米穀商統制組合聯合會又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ前條ノ一定數量ヲ割當テ其ノ米穀ニ付統制ヲ命ズ

第四十三條第二項乃至第四項、第四十四條乃至第四十八條及第五十條ノ規定

ハ前項ノ規定ニ依リ統制ヲ命ゼラレタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十八條 政府ハ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ前條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀中貯藏能力其ノ他ノ事情ニ依リ貯藏困難ナリト認ムルモノニ付當該團體ヨリ賣渡ノ申込アリタル場合ニ於テハ買入ヲ爲ス

前項ノ買入價格ハ内地米ニ在リテハ米穀統制法第二條ノ最低價格、朝鮮米又ハ臺灣米ニ在リテハ勅令ノ定ムル一定價格以內ニ於テ時價ニ準據シテ定メタル價格トス

第五十九條 内地ニ於ケル米穀統制組合、地方米穀統制組合聯合會、中央米穀統制組合聯合會、米穀販賣組合又ハ米穀ヲ取扱フ販賣組合聯合會ハ命令ノ定ムル場合ヲ除クノ外米穀統制法第二條ノ最低價格及最高價格ノ範圍內ノ價格ヲ以テスルニ非ザレバ米穀ノ販賣ヲ爲スコトヲ得ズ農業倉庫業者ニ付亦同ジ

第六十條 米穀ヲ取扱フ販賣組合聯合會ハ定款ノ定ムル機關ノ議ヲ經テ其ノ所屬組合又ハ所屬聯合會ニ對シ米穀ノ平均賣ノ實行ニ關シ必要ナル指令ヲ爲スコトヲ得

第六十一條 朝鮮及臺灣ニ於テハ第十二條、第十八條、第十九條及第三十六條ノ規定（第三十七條又ハ第五十三條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ關シ命令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第六十二條 地方米穀統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、中央米穀統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ中央米穀商統制組合聯合會ノ役員命令ノ定ムル第四十三條ノ規定（第五十七條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）

ニ依リ割當ヲ爲スニ必要ナル行爲ヲ爲サザルトキハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ役員命令ノ定ムル第四十三條ノ規定（第五十七條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ割當ヲ爲スニ必要ナル行爲ヲ爲サザルトキ亦同ジ

第六十三條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス

第六十四條 米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ役員故ナク第四十六條ノ規定（第五十七條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ違反シタルトキハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ役員第四十八條第一項ノ規定（第五十七條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ違反シタルトキ亦前項ニ同ジ

第六十五條 米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、地方米穀統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、中央米穀統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ中央米穀商統制組合聯合會ノ役員、第二十一條ノ職員、總代、議員、組合員又ハ代議員本法ニ依リ割當又ハ貯藏ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價格ヲ追徵ス

ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第六十七條 第四十九條、第五十條（第五十七條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）及第五十八條ノ規定ニ依リ米穀ノ買入ニ關スル一切ノ歳入歳出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條第一項ニ規定スル一定數量ノ内地、朝鮮及臺灣ニ對スル割當ノ割合ハ當分ノ内同條第三項ノ規定ニ拘ラズ内地百分ノ三十五、朝鮮百分ノ四十三、臺灣百分ノ二十二トス但シ政府ハ内地、朝鮮及臺灣ニ於ケル米穀收穫ノ豐凶等ニ依リ米穀自治管理委員會ニ諮問シテ之ヲ變更スルコトヲ妨ゲズ

米穀統制法中改正法律案
米穀統制法中左ノ通改正ス

第二條第三項中「前項」ヲ「前二項」ニ改メ同條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
政府ハ第一項ノ最低價格ノ決定ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ金利及保管料ヲ加算スルコトヲ得

第八條及第九條中「高粱又ハ黍」ヲ「高粱、黍、小麥又ハ小麥粉」ニ改ム

第十二條中「高粱若ハ黍」ヲ「高粱、黍、小麥若ハ小麥粉」ニ改ム
黍、小麥又ハ小麥粉」ニ改ム

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條ノ二ノ規定ニ依リ米穀ノ賣渡ニ關スル一切ノ歳入歳出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（國務大臣山崎達之輔君登壇）

○國務大臣（山崎達之輔君） 只今上程セラレマシタル三案ニ付キマシテ、提案理由ノ概要ヲ御説明申上ゲマス、政府ハ昭和八年十一月ヨリ米穀統制法ヲ施行致シマシテ、米價ノ公定並ニ季節の出廻調節ヲ根幹ト致シマシテ、米穀ノ統制ヲ圖リ、更ニ昭和九

年五月ヨリ臨時米穀移入調節法ヲ施行致シマシテ、米穀政策ヲ運用致シテ居ルノデアリマスルガ、米穀統制法實施ノ經過、諸般ノ米穀事情及財政上ノ影響等ニ鑑ミマシテ、且又第六十五回帝國議會ニ於ケル貴衆兩院ノ決議ノ御趣旨ヲ尊重致シマシテ、更ニ米穀對策ニ付テ政究ヲ遂ゲマスル爲ニ、昨年九月内閣ニ米穀對策調査會ヲ設置致シタ次第デアリマス、而シテ臨時米穀移入調節法ハ、御承知ノ通り本年三月三十一日ヲ以テ其效力ヲ失フコト、ナリマスノデ、調査會ニ於キマシテモ、鋭意研究ノ結果、本年一月十九日ヲ以テ答申ヲ決議セラレタデアリマス、政府ハ此答申ニ基キマシテ、三法律案ヲ立案致シテ、茲ニ提案スルニ至ツタ次第デゴザイマス

先ヅ米穀自治管理法案ハ、内地朝鮮及臺灣ヲ通ジマシテ、過剩米穀ヲ統制スル爲ニ、米穀ノ自治管理ヲ行ハシムルコトヲ目的トスルモノデゴザイマシテ、即チ内地外地一貫ノ方針ヲ以テ、公平ナル統制方策ヲ立ツルト共ニ、生産者等ヲシテ、自治的ニ米穀ノ調節ヲ圖ラシメマシテ、政府ト民間ト相協力シテ、米穀統制ノ目的ヲ達セントスルモノデアリマス、而シテ本案ハ過剩米穀ヲ統制スルノ方法ニ依ルモノデアリマス、御承知ノ通り近年内地朝鮮及臺灣ヲ通ズル米穀ノ供給ノ増加、殊ニ朝鮮米及臺灣米ノ移入數量ノ増加ニ依リマシテ、供給過剩ノ結果ヲ來シ、一朝大豐作等ニ際會致シマスレバ、米穀ノ異常ナリ供給過剩ヲ來シマシテ、米價ヲ著シク低落セシメルコトニナリマスルカラ、過剩米穀アル場合ニハ、米穀生産者ノ團體、米穀取扱業者ノ團體ニ於テ、自治的ニ右過剩米穀ノ管理ヲ行ハシムルモノデアリマシテ、其他ノ一般販賣米等ノ取引ノ自由ニ付キマシテハ、制限ヲ加ヘザルノ趣旨デアリマス、法案ノ内容ヲ申シマスレバ、政府ハ毎年米穀年度ノ初メニ、内地朝

鮮及臺灣ノ全體ヲ通ジマシテ、其米穀年度ニ於ケル需給推算ヲ行フノデアリマス、此需給推算ノ結果、米ノ過剩數量ノ生ジマスル場合ニハ、其數量ノ範圍内ニ於キマシテ一定數量ヲ定メテ、之ヲ内地朝鮮及臺灣ニ割當テマシテ、統制スルコト、致スノデアリマス、而シテ右ノ一定數量ノ割當ハ、内地朝鮮及臺灣ノ、米穀管外移出數量ノ増加趨勢ノ外ニ、米穀ノ管外移出數量、米穀收穫ノ豐凶等ヲ參酌シテ定メルコト、致シタノデアリマス、尤モ其割當ハ、當分ノ中ハ内地百分ノ三十五、朝鮮百分ノ四十三、臺灣百分ノ二十二ト致シマシテ、各地ニ於ケル豐凶等ニ依ツテハ、之ヲ變更スルノ餘地ヲ認メテ居ルノデアリマス、統制ヲ行フ機關ト致シマシテハ、内地朝鮮及臺灣ニ於キマシテ、市町村等ノ一定地域ヲ區域ト致シマシテ、米穀統制組合ヲ設立致サセマシテ、更ニ上級團體トシテハ、内地ノ道府縣、朝鮮ノ道、臺灣ノ州ヲ一區域トスル、地方米穀統制組合聯合會ノ制度ヲ設ケルコト、致シタノデアリマス、併シ内地ニ於キマシテハ、米穀販賣組合及其聯合會ヲシテ、統制組合及其聯合會ノ業務ヲ代行セシメ得ルコトガ出來ルコト、致シマシテ、尙ホ農會モ是等ノ團體ノナイ市町村ニ於キマシテハ、業務ノ代行ヲ認メルコト、致シタノデアリマス、斯様ニ致シマシテ政府ハ内地朝鮮及臺灣ニ於ケル中央團體ニ一定ノ數量ノ統制ヲ命ジ、中央ノ團體ヨリ順次其所屬團體ニ對シテ系統的ニ統制スベキ數量ヲ割當テルコトニ致スノデアリマス、而シテ米穀統制組合又ハ其業務ヲ代行スル團體ニ於キマシテハ、其割當テラレタル數量ダケノ米ヲ貯藏ヲ致シ、内地米ノ價格ガ相當程度ニ値上リヲ致シマシテ、政府ノ解除ガアリマスルマデハ、貯藏ヲ繼續スル仕組ト致シテ居ルノデアリマス、尤モ其團體ノ貯藏能力其他ノ事情ヲ參酌致シマシテ、貯藏

ガ困難デアルト認メマスル部分ハ、希望ニ依ツテ一定價格ヲ以テ買上ゲルコト、致スノデアリマス、以上ノヤウニ米穀生産者ノ團體ヲシテ自治的管理ヲ行ハシメマスルガ、其後ニ於ケル天候ノ如何ニ依リマシテ、實際ノ收穫高ガ著シク増加致シマスル等ノ爲ニ、更ニ米穀ノ供給過剩ヲ來スコトガアリマスルノデ、政府ハ更ニ第二次的ニ、米穀生産者ノ團體及米穀取扱業者ノ團體ニ對シテ統制ヲ命ズルコトガ出來ルノ途ヲ設ケテ置ク譯デアリマス、本案ハ大要以上申上ゲマシタ通りデゴザイマシテ、此案ニ依リマシテ統制ヲ行ヒマスルノハ、米ノ供給が過剩ナルガ爲ニ、生産者ハ勿論、米ノ取扱業者等ニ於テモ、多クハ困難ヲ感ジテ居ル場合デアリマスノデ、是等ニ對シマシテ相當ノ便宜ヲ與ヘルコト、信ジテ疑ヒマセヌ、又米價ガ最低價格ヨリ一定ノ程度値上リヲ致シマス場合ニハ、貯藏米穀ノ解除ヲ受ケマシテ、市場ニ出廻リ得ルコトナルノデアリマスルカラ、需給ノ關係ガ圓滑トナリマシテ、消費經濟ニモ好影響ヲ及ボスモノト存ゼラレルノデアリマス、尙ホ本案ガ實施セラレマスル場合ニハ、相當供給過剩ノ年柄ニ於キマシテモ、政府ハ從來ノヤウニ一時ニ大量ノ買上ラスルコトヲ防グコトガ出來ルノデアリマスカラ、假令一方ニ於テ貯藏米ニ對シテ助成金等ヲ交付スルニ致シマシテモ、國庫ノ負擔ハ相當ニ輕減セラレマシテ、米穀統制法ノ運用等ニモ好結果ヲ齎スコトニナルト考ヘル次第デゴザイマス

次ニ米穀統制法中改正法律案ハ、第一ニ出廻期ニ於キマシテ、農家ガ米ノ賣急ヲ爲シ、政府ハ賣渡申込ガ一時ニ殺到スル等ノ弊ヲ防止致シマスル爲ニ、最低價格ニ金及保管料ヲ加算スルコト、致シ、第二ニ非常災害等ノ場合、政府所有米ヲ賣渡シテ應急ノ措置ヲ爲シ得ルノ途ヲ開クコト、致シ、又第三ニ粟、高粱及黍ト同様ニ、米ノ代用食糧デアアル小麥及小麥粉ニ付キマシテモ、其輸入ノ制限及輸入税ノ増減、免除ヲ爲シ得ルノ途ヲ開クコト、致シタノデアリマス

最後ニ親共同貯藏助成法案ハ、親ノ共同貯藏ニ付キマシテハ、既ニ昭和五年及昭和八年ノ大豐作ニ際シマシテ、之ヲ獎勵實行致シ、相當ノ效果ヲ收メテ居ルノデゴザイマスルガ、今回ハ此米ノ共同貯藏ノ助成ヲ恒久的ノ施設トシテ行ハントスルモノデゴザイマス、即チ產業組合、農會等ノ團體ガ、米ノ出廻數量ノ調節、又ハ備荒貯蓄ノ目的ヲ以テ親ノ貯藏致シマスル場合ニハ、政府ハ此貯藏團體ニ對シ、金及保管料ニ相當スル政府所有米穀ヲ交付スル等ノ方法ヲ以テ之ヲ獎勵致シマシテ、米穀統制法等ニ依ル出廻調節ト相俟ツテ、米穀ノ統制ヲ圖ラントスルノ趣旨デアリマス

以上ガ三法律案提案理由ノ概要デゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛アランコトヲ切望致シマス(拍手)

○議長(濱田國松君) 質疑ノ通告ガアリマス、通告順ニ從ヒ順次之ヲ許可致シマス

——高橋熊次郎君

(高橋熊次郎君登壇)

○高橋熊次郎君 米穀ガ我國農産物ノ主ナル物デアリマスコトハ言フマデモアリマセヌ、爾ノ二割、米ノ四割ヲ加ヘマスルト云フト、我國農産物ノ大半ヲ占ムルコトニ相成ルノデアリマス、而モ米ハ我國ノ國民ノ主食物デアアルガ故ニ、消費關係等ニ於テモ米ノ價格ノ高下、需給ノ如何ト云フコトハ、國民生活ノ上ニ於テモ重大ナル交渉ヲ有ツテ居リ、是ニ於テ此問題ハ近代經濟又政治ノ上ニ於テ重要ナル問題トシテ取扱ハレ、嘗テハ米穀法ノ制定トナリ、此缺陷ヲ補フ爲ニ米穀統制法ノ制定ニ相成ツタノデアリマスガ、何レノ制定當時ニ於キマシテ

モ、之ヲ以テ十分ナリトセラレテ居ラナカッ
タノデアリマス、特ニ米穀統制法ノ制定ニ
當リマシテハ、幾多ノ論議ガ本議會等ニ於
テ繰返サレ、又世間ニ於テモ色々ナル議論
ガアツタノデアリマス、併ナガラ到底此法律
ヲ以テシテハ、完全ニ其目的ヲ達成スルコ
トガ出来ナイデアアラウト云フコトノ下ニ、種
種ナル希望條件等ガ決議サレタコトハ、國
民ノ記憶ニ今日尙ホ新タナル所デアリマ
ス、而シテ不幸ニシテ統制法ノ運用ノ經過ニ
鑑ミマスルト、吾人ノ憂慮致シマシタ缺陷
ト云フモノハ、悉ク是ガ事實トナッテ現レテ
居ルノデアリマス、今回御提案ニナリマシ
タ三案ノ如キモ、此缺陷ヲ矯正スル意味ニ
於テ、更ニ統制法ヲ強化シテ、米穀ニ關ス
ル諸問題ノ解決ニ資セラレントスル御趣旨
ハ十分諒解スルコトガ出来ルノデアリマス
ガ、併ナガラ此等ノ法案ヲ通ジテ考察スル
ニ、未ダ十分米穀ニ對スル根本的對策ガ、
確立致シタハ見ラレナイノデアリマス、
從來諸法案ニ依ッテ、米穀統制ノ目的達成ヲ
期スル上ニ於キマシテ、未ダ十分デアラザ
リシ其缺陷ト云フモノガ、依然トシテ茲ニ
殘ッテ居ルノデハ、ナイカト吾々ハ考ヘルノ
デアリマス、是ニ於テ其詳細ノ點ハ、何レ
他ノ機會ニ於テ檢討致スコトガアリマセ
ウ、私ハ此場合其大要ニ付テ二三ノ點ヲ質
シテ見タイト思フノデアリマス

所ノ價格ノ公正、又ハ需給ノ圓滑、是ハ全
ク相反シタヤウナ結果ヲ招來シタコトガ其
實態デアリマス、最低價格デ政府ハ米ヲ買
上ゲル、即チ此統制法ノ實態ハ、政府ノ買
占法デアリマス、其政府ノ買占メタル米穀
ハ、法律ニ規定サレテアル所ノ最高價格ニ
達シナイト云フト、之ヲ賣ルコトガ出来ナ
イノデアリマス、市場ニ之ヲ現スコトガ出
來ナイノデアリマス、故ニ昨年ノ端境期ヲ
前ニシテ、而モ五六月ノ交カラシテ「有ガ
スレ」ト云フ異常ナル狀態ガ續イタノハ周
知ノ事實デアリマス、此不自然ナル米價ノ
暴騰ト云フモノハ、諸種ノ方面ニ色々ナル
惡影響ヲ及ボシタト云フコトハ、爭ハレナ
イ事實デアリマス、而モ農家自身ニ取リマ
シテモ、此米價高ニ依ッテ利益ヲ受ケタル
者ハ、極ク僅少ナル部分ニ過ギナイコトモ
亦明ナル事實デアリマス、米穀統制ノ目的
ハ實際ニ於テ裏切ラレテ、價格ノ公正モ期シ
得ラレナイ、又一面ニ於テ需給ノ圓滑モ、是
デ期セラレナイト云フヤウナコトニ終ッ
タノデアリマス、更ニ第三ニ唱ヘマスル米
穀需給特別會計法ニ於ケル所ノ米穀證券發
行高ガ、是ガ爲ニ非常ニ多クナッテ、一千餘
萬石ヲ買上ゲルニ付テ、非常ニ多額ノ證券
ヲ發行致シタコトハ事實デアリマス、況ヤ
證券ノ額ハ約五億ト唱ヘラレ、米穀特別會
計ニ於ケル缺陷ハ二億二三千萬圓ヲ超エル
ト言ッテ居ルノデアリマス、或ハ悲觀スル者
ハ三億ニ達シテ居ルダラウト唱ヘテ居ルノ
デアリマス、恰モ英吉利ニ於ケル失業保險
ト同ジヤウナ狀態ヲ呈シテ居ルノデハ、ナイ
カト聯想シテ痛嘆ヲ致シテ居ル次第デアリ
マシテ、是等ニ付テ此法律ハ非常ニ不經濟
ナ法律デアルガ、又其法律ニ依ッテ行ハレル
所ノ統制ノ方法ト云フモノハ非常ニ金ガ掛
ルノニ、前段申上ゲル通り其目的ガ達セラ
レナイデ、而シテ不自然ナル價格ヲ現出致
シ、隨テ需給ノ不圓滑ヲ來スト云フバカリ

デナク、又此法律ニ依ッテ出廻リノ調節ハ出
來マスガ、生産ノ調節ハ少シモシテナイ、
供給ノ調節ト云フモノガ頗ル不徹底デア
リ、又不安定デアルト吾々ハ常ニ考ヘテ
居ルノデアリマス、ソコデ米穀對策建直
シハ、國家當面ノ急務トシテ要望サレ
タノデアリマスルガ、今回ノ御提案ハ、
果シテ此要望ニ副ウテ居ルカドウカト
云フコトニ付テ、吾々ハ十分ニ檢討致
サナケレバナラナイノデアリマス、隨テ
私ハ重複スルヤウデハアリマスルガ、第
一第二第三ト之ヲ分ッテ、自分ノ考ヲ述ベ
テ、當局大臣ノ十分ナル御説明ヲ得タイト
思フノデアリマス

供給調節ニ付テ第一ニ伺ッテ見タイ、今回
ノ御提案ニ付テハ、供給調節ノ方面ヲ見
マスルト云フト、穀ノ共同貯藏、統制組合
ノ機能、最低價格ニ金利保管料ヲ加算スル
ト云フヤウナ方法ニ依ッテ、出廻リニ付テハ
殆ト完全ニ近イ程度ニ其目的ヲ達成スルコ
トガ出来ルト思フノデアリマスルケレドモ、
生産調節ニ付テ、何等手ヲ染メラレルコト
ガナイノデアリマス、即チ本ヲ治ムルコト
ヲ忘レテ、其末ヲ治メントスルト云フ、姑
息不徹底ノ譏ヲ免レルコトハ出来ヌト吾々
ハ思フノデアリマス、吾々ハ固ヨリ一部ノ
人々ノ如クニ、米穀ノ過剰ヲ以テ慢性的デ
アルト考ヘテ居ル者デハアリマセヌ、經濟
事情ノ進展或ハ利用増進等ニ依リマスレバ、
米穀ノ消費モ増加致スト云フコトヲ確信シ
テ居リマスル、併ナガラ今日ノ場合ハ、生
産ハ過剰ナリトシテ、此前提ノ下ニ、此事
實ノ下ニ、種々ノ統制方策ガ行ハレテ居ル
ノデアリマス、左様デアリマスカラ、此場
合ニ於テ吾々ハ統制方策ヲ樹立スルト云フ
場合ニ於キマシテハ、生産統制ニ付テ無關
心デ居ルト云フコトハ出来マセヌ、其生産
統制ト云フコトヲ蔑ロシテ置キマススト云
フコトハ、基本要件ヲ缺クモノト信ズルノ

デアリマス、デ政府ハ生産調節ニ對シテ如
何ナル所見ヲ有ッテ居ラレルノデアルカ、如
何ナル對策ヲ有ッテ居ラレルノデアルカト
云フコトヲ第一ニ伺ヒタイノデアリマス、
嘗テハ減反案ヲ——前内閣時代デアリマシテ、
後藤氏ガ農林大臣デアラレタ時分ノコトデ
アリマスガ、減反案ヲ提唱サレテ、忽チ引
込メラレタノデアリマスガ、一時世間ヲ騷
ガシタコトガアルノデアリマス、併ナガラ
無造作ナル所ノ減反案等ニ付テハ、實施シ
得ベキモノデモアリマセヌシ、強制的ニ實
施致シマシタナラバ、其弊害ノ恐ルベキモ
ノアルコトヲ、吾々ハ承知致シテ居ルノデ
アリマス、併ナガラ減反案ダケガ生産ノ調
節デハナカラウト吾々ハ考ヘルノデアリマ
ス、モウ少シ考慮ヲ費シマシタナラバ、米
質ノ改良ヲ如何ニスルカナド、云フコトヲ、
詰リ收量ハ少クトモ、優良ナル品種ノ栽培
ヲ致シ、米質ヲ向上セシメテ、其數量ヲ減
ズルト云フヤウナ、農家ノ收入經濟ニハ少
シモ減額ヲ來サズシテ、減産ノ實ヲ擧ゲル
ト云フヤウナ方法モ、アリ得ルコトダラウ
ト思フノデアリマス、是等ノ點ハ唯一ツノ
例デアリマスルケレドモ、御答辯ヲ願フ參考
資料トシテ、一言加ヘテ置ク次第デアリマ
ス

第二ハ需給ノ圓滑ト價格ノ公正ニ付テマ
アリマス、民間ノ貯藏ト統制ニ依リマシテ、
自ラ政府ノ米穀買占ハ少クナリマセウ、政
府ノ從來買上ゲテ居タモノガ、民間ノ貯
藏、民間ニ於ケル自治的管理ノ方法ニ依リ
マシテ、政府ノ米穀買占ハ少クナリマス、
隨テソレヨリ來ル所ノ弊害ハ排除サレルノ
デアリマセウガ、更ニ吾々ノ懸念スル所ハ、
此制度ノ整備發達ノ結果ト致シマシテ、一
部ノ人々ノ懸念セラル、ガ如クニ、一種ノ
「カルテル」或ハ「プール」ノ形體ヲ形成シ
テ、遂ニ獨占價格ノ弊害、或ハ生産者ト消
費者トノ對立ヲ惹起シ、今日トハ全ク別ノ

形ニ於テ統制ニ依ル弊害ヲ生ズル憂ヒハナ
イカ、即チ獨占價格ニ依ル所ノ諸種ノ弊害
ハ釀サナイノデアアルコト云フコトニ付テ、此
場合當局ノ御所見ヲ求メタイト思ヒマス

第三ニ國家財政上ノ負擔ニ付テアリマ
ス、成程政府ノ買占ガ少クナリマスルカラ、
國家財政ニ及ボス脅威ハ著シク輕減セラル
ルト云フコトハ當然デアリマセウ、併ナガ
ラ自治的管理其他ノ方法ニ依リマス、此三
案ノ骨子ト致シマスル施設ヲ遂行致シマス
ルニ付テ、其助成費ナリ交付金ナリト云フ
モノ、又ハ交付米ト云フモノハ、或ハ米穀
特別會計ノ經濟ノ中ニ包含サレルモノモア
リマセウ、或ハ一般會計ノ中ヨリ支出サル
モノモアリマセウ、併ナガラ何レニ致シマ
シテモ、其支出ハ少ナカラザルモノガ年々
繰返サレナケレバナラヌト思フノデアアリ
マス、是マデノ統制法ノ建前カラ見マシタ
ナラバ、一面米ヲ買上ゲタモノノガ高ク
ナツタ、最高價格ニ達シタ場合ニ之ヲ賣捌
クト云フコトデアリマスカラ、ソコニ幾何
カノ利益ト云フモノガ、特別會計ノ上ニ現
レテ參ルノデアリマス、併ナガラ今同ハ主
ナル部分ハ、民間ノ經濟ニ依ッテ自治統制
ヲスルノデアリマスカラシテ、民間ハ儲カ
ルコトハゴザイマセウ、利益ヲ得ルコトハ
出來マセウケレドモ、米穀特別會計ニ於キ
マシテハ、何等儲ヲ取ルト云フ機會ハナ
クナツテ參ルト思フノデアリマス、此法律ガ
強化サレ、運用ガ完全ニ行ケバ行ケ程、米
穀特別會計即チ政府ノ懷ロ工合ト云フモノ
ハ逆ニナツテ參ラナケレバナラナイノデア
リマス、是等ニ對シテ政府ハ之ヲ可能ナリ
トスル如何ナル計數的根據ヲ有ツテ居ラレ
ルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス
更ニ私ハ米穀統制ニ關聯致シマスル他ノ
二三ノ事項ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、
ソレハ此米穀法ハ從來先程中シマシタ如ク
ニ、米穀法、米穀統制法ト移リ變ッテ參リマ

シタガ、今回ノ提案ニ依ッテ、前二法案ノ包
含致シタル缺陷ハ稍々之ヲ補フコトガ出來タ、
面シテ米穀統制ハ更ニ強化サル、コトニ
ナツテ參ッテ居ルノデアリマス、併シ米穀統
制ハ強化サレ、又近ク提出サレントスル產
業統制ニ關スル御提案ガアルト承知致シテ
居リマス、是等ノ御提案ニ依ッテ農產業ノ統
制ト云フモノハ次第ニ進ンデ參リ、強化シ
テ參ルノデアリマス、又昭和十年度ノ豫算
等ニ於キマシテモ、重要農產物ノ販賣統制
ニ關スル經費等モ出テ居リマス、併ナガラ
是等ノ經費ニ依ッテ、農林大臣、總理大臣等
ガ議會ニ於テ説明セラレタガ如ク、偉大ナ
ル效果ノアル仕事ガ出來ルカドウカト云フ
コトハ、疑問トシテ今日殘サレテ居ルノデ
アリマスルガ、兔角販賣ノ統制ト云フモノ
ノガ、次第ニ強化サレテ參ルト云フコトハ、
是ハ事實デアリマシテ、是ハ我國農村ノ爲
ニ、從來生産部門ニノミ沒頭致シタモノガ、
交換部門ニ注意サレルト云フコトハ、洵ニ
結構ナコトデアリマス、併ナガラ今迄生産
増殖ヲ主トシタル生産部門ニ精進シタルモ
ノガ、交換部門ニ轉換ヲサレタト云フコト
ニ付テハ、農業政策ニ對スル所ノ一大轉換
デアリマスルカラシテ、之ニ對シテ根本的
ナル農村政策、農業政策ト云フモノガ樹立
サレナケレバナラナイト吾々ハ考ヘテ居ル
ノデアリマス、ソレデ從來ハ農民ノ經濟、
農業ノ經濟ト云フモノハ、即チ生産發展ノ
時代ニ於ケル我國ノ農業者ハ、生産ヲ彌ガ
上ニ増加スル、愈々増加ヲ致シテ、更ニ生
產物ノ値上リヲ待望致シテ、自家經濟ノ興
隆ヲ期待シテ居タノデアリマス、併ナガラ
今日ノ如クニ供給ガ過剩ニ相成ッテ、之ヲ統
制シナケレバナラナイト云フ時代ニハ、既
ニ生産ノ増加ト云フコトモ期待シ得ズ、又
統制經濟ノ特徵トシテ、最高價格ガ限定サ
レル以上、彌ガ上ニモ農產物ノ値上リヲ期

待スルコトガ出來ナイノデアリマス、即チ
農業經濟ニ於テ、收入ノ増加ト云フコトヲ
期待シ得ナイト云フナラバ、此不況ヲ打開
シ、又文化ノ發達ニ伴フ經濟發達ニ順應ス
ルニ必要ナル收入ノ増加ガナケレバナラナイ、
是等ノ資源ト云フモノハ、何ニ依ッテ求メル
カト云フ、茲ニ新シイ問題ガ生ジナケレバ
ナラヌト思フノデアリマス、今迄ハ生産ヲ
増加スル、已レノ生産シタル農產物ノ價格
ヲ向上セシムル、此二ツノ方法ニ依ッテ、増
シテ行ク所ノ支出ニ對シテ、收入ノ増加ト
云フモノハ圖ルコトガ出來タノデアリマス
ルケレドモ、時代ノ推移並ニ經濟界ノ變移
ト云フモノハ、斯ウ云フコトヲ期待スルコ
トガ出來ナイ、隨テ此狀態ニ即シテ政府ハ
生産販賣部門ニ通ズル統制經濟ニ進マウト
云フノデアリマスカラシテ、是ニ於テ農家
ノ收入増加ト云フモノハ、何ニ依ッテ圖ルカ
ト云フコトヲ吾々ハ憂フルノデアリマス、
前段ニモ申述ブル通り、米ハ農產物ノ我國
ニ於ケル五割ヲ占メテ居ル、藁ハ農產物ノ
二割ヲ占メテ居ル、此重要ナル位置ニ在ル
所ノ米藁ト云フモノガ統制ヲサレテ、生産
ハ増スコトガ出來ナイ、價格モ一定限度デ
止マラナケレバナラナイト云フコトニ
ナツテ居リマスナラバ、此米或ハ藁ニ
依ッテ減ゼラレタル所ノ收入ハ、何ニ依
テ補充スルカト云フ問題ガ、茲ニ起ラネバ
ナラヌト思フノデアリマス、即チ私共ノ謂
フ所ノ農業政策ノ根本的改訂ト云フコトガ
茲ニ必要デアラダラウ、ソレデ私ハ政府ハ
之ニ對シテ如何ナル方策ヲ御持合セザアル
カト云フコトヲ、此場合農民ノ爲ニモ、我
國ノ經濟建直シノ上ニ於キマシテモ、政府
ノ正確ナル御所見ヲ承リタイト思フノデア
リマス

次ニ米穀統制ニ關聯スル問題ト致シマシ
テ私が伺ヒタイノハ、此米穀統制計畫ト相俟
チマシテ、米穀ニ關係シテ居ル商業機關ト
ノ摩擦ノ大キイコトデアリマス、或ハ今日
ノ商業機關ト米穀自治管理案其他ノ案件ト
ノ衝突ト申シマセウカ、簡單ニ申シマスレ
バ、衝突、摩擦デアリマセウ、是等ノ問題
ハ目ノアタリ非常ニ深刻ニナツテ居ルノデ
アリマス、事情ヲ承ッテ見マスルト云フト、
商業機關ヲ代表サル、方々ノ間ニモ、只今
提案サレテ居リマスル米穀ニ關スル三法案
ニ對スル見解ノ如キハ、一部ハ誤解ニ出デ
ラレテ居ル部分モアリマセウ、併ナガラ一
部分ハ其ノ眞諦ニ入ッテ、從來ノ農業ニ於ケ
ル交換部門ニ現レマシタル産業組合ノ活動
等ト相照合致シマシテ、此法案ノ實施サレ
タル後ニ於ケル、是等ノ諸機關ノ活動ガ更
ニ強化サレルト云フコト、其強化サレタ
ル實績ト、米穀ニ關スル商業機關トノ正面
衝突ヲ來スノデハナイカ、是等商業機關ニ
對シテハ何等特別ノ加護ガナイニ拘ラズ、
産業組合等ニ於ケル所ノ政府ノ加護ハ、十
分徹底ヲシテ居ルヤウニ思ハレテ居ル、ソ
レデ此自治的管理案等ノ、機構ノ上ニ於テ
現レタル事實ノ裏ニ於テ、米穀商其他ノ米
穀取引ニ關係アル機關ニ於キマシテハ、色
色憂慮サレテ居ルノデアリマス、生活權、
營業權ガ剝奪サレルノデアルトサハ悲壯ナ
ル叫ヲナシテ居ラレルノデアリマス、デ從
來農林當局ニ於カレマシテハ、農民ノ利益
ナリ、農村ノ利益ナリトシテ、中間機關ノ
排除ヲ目的トシテ種々ノ施設ヲサレ、獎勵
ヲ致サレテ居タト云フコトハ事實デアリ
マス、産業組合ヲ強化スル爲ニハ、生産者
ヨリ消費者ヘ「ナド、云フ「モットー」ヲ拵ヘ
ラレテ、聲高ク世間ニ叫バレタノデアリマ
ス、津々浦々ニ宣傳「ビラ」マデ貼ラレタノ
デアリマス、而シテ色々ナ例外ハアリマス
ケレドモ、農民ニ向ッテ種々ナル方法ト、或
ハ助成金其他ノ方法トヲ以チマシテ、産業
組合ノ強化ヲ圖ラレタト云フ、又普及ヲ圖
ラレタト云フコト、是亦事實デアリマス、殊

ニ後藤内務大臣ハ農林大臣タリシ時代ニ於テ、之ニ全力ヲ擧ゲラレト思フ程力ヲ注ガレタノデアリマス、固ヨリ農業ハ産業部門ニ於テ最モ弱イ所ノ形態ヲ有ツテ居ル經濟主體デアリマス、左様デアリマスルカラ、之ヲ強化スル爲ニ其協力ヲ勸メ、其團體力ノ強化ヲ求メラレト云フコトハ當然デアリマス、併ナガラ度ヲ過ギテハイケンナイ、分ヲ越エテハイケンナイ思フノデアリマス、殊ニ商業機關ト對立ノ關係ニ於テ、中間機關ヲ搾取スルカラ、其搾取ヲ免レ、バ、農業ノ交換部門ハ安全デアルナド、云フ理論ノ下ニ立タレテ、是等ノ施設ヲ遂行サレタトスルナラバ、農村ノ爲ニハ非常ニ迷惑ト思フノデアリマス、農村ハ依然トシテ農業ノ範圍ニ限ラレテ、ソコデ精進ヲシテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、之ヲ商工ノ部門ニマデ突入スルコト云フコトハ、決シテ農民ノ爲ニ探ラザル所デアリマス、勿論此ニ至ル原因ハ、政府ノ刺戟ナクシテモ、一厘デモ一錢デモ利益ヲ得タイト云フ慾望ニ燃エテ居タト云フコトハ事實デアリマス、其日ニ事缺クバカリニ窮迫ヲ致シテ居ル今日ノ農村ノ實情デアリマス、窮乏ノ名ヲ冠セラレト冠セラレザルトニ拘ラズ、我が農村ガ不況ニ喘イデ居ルト云フコトハ、是ハ隠レモナイ事實デアリマス、左様デアリマスルカラ、如何ナル手段ニ依ツテモ收入ノ増加ヲ圖ラウトスルノハ當然デアリマス、此經濟ノ不況ノ眞中ニアツテ、一時的、臨時的ノ救済方法等ガ、而モ窮乏農村、窮乏農民ノ一部ニ於テ行ハレタノデアリマス、ケレドモ、全般ニ互ラナイバカリデナク、是ガ爲ニ一部ノ階級ニハ負擔ヲ増加セシメ、農村自治體ニ對シテ多額ノ重課ヲ負ハシメタコトモ事實デアリマス、斯ウ云フ事情ノ下ニ於テハ、農民ガ如何ナル方法ヲ執ツテモ、自ラノ收入ヲ増加セントスルノハ固ヨリデアリマス、ソコニ政府ハ産業組合普及、強化

ノ方法ヲ以テ臨マレタノデアリマスルカラシテ、農民ハ或ハ之ニ依ツテ救ハレルカノ如キ感ヲ抱イタノハ當然デアリマセウ、而シテ一面、從來何百年、何千年來ノ傳統ト沿革ノ下ニ、圓滑ニ取引關係ガ進ンデ來ル所ノ商業機關ト衝突ヲ致シ、摩擦ヲ生ズルト云フコトモ、已ムヲ得ナイ致シタコトモアルノデアリマス、併ナガラ吾々ハ農村ニ於ケル所ノ小都市、或ハ農村ソレ自體ニ在スル所ノ中小商業業者等ヲ無視シテ、到底農村ノ利益ハ圖ル得ルモノデナイ、農産物ノ配給ハ完全ニ行ハレヌト云フコトモ吾等ハ十分諒解ヲ致シテ居リマス、然ラバ米、藁等ノ之ニ關係ノアル所ノ商業機關ヲノミ取分ケテ除外シテ考慮シ得ルト云フコトハ、正當ヲ缺イタモノデアアルノデハナイカト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、併ナガラ是ガ非常ニ複雑シタル現狀ニ臨ミ、複雑シタル所ノ關係ガアルノデアリマスルカラ、一言ニシテ之ヲ特例ナシニ申述ブルコトハ出來マセヌ、其事ハ私ハ豫メ御斷リ致シテ置キマス、併ナガラ私ノ申上ゲタコトハ、事實トシテ茲ニ現レテ居ルノデアリマス、其理論的ニ批評致シタノハ、ソレガ正デアリカ或ハ非デアリカト云フコトハ問題デアリマセヌ、事實デアリマス、事實ノ問題トシテ今日此處ニ現ハレテ居ルノデアリマスルカラシテ、之ニ對シテ政府ト致シマシテハ、相當ノ處置ヲ執ラレベキモノデアルト私共ハ考ヘルノデアリマス、是等ニ對シテ當局大臣ハ如何ナル考ヲ御有チニナルカ、農林大臣竝ニ總理大臣ニ對シテ、是等ニ對スル所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、其他此問題ニ付テハ色々伺ヒタイコトモアリマスルガ、此場合伺ツテ置キタイト思ヒマスルノハ、只今伺ヘバ九月カラ始メタ米穀對策調査會ハ、或ハ特別委員會或ハ、小委員會等ヲ經テ、十二月ノ三十一日頃ニ大體ノ議ハ決シ、一月ノ十九日ニ答申ヲ得タト

仰セラレタト考ヘルノデアリマス、十九日ニ答申案ヲ得、九月カラ長日月ノ間熱心ニ數十回ノ會合ヲ重ネテ、當局竝ニ委員諸君ハ熱心ニ檢討ヲサレタ案デアリマス、況ヤ院議ヲ重ンジテ是等ノ計畫ヲサレタト云フコトヲ、當局大臣カラ先程御説明ニナツタ、然ラバ調査會ノ有リ無シニ拘ラズ、十分ナル所ノ御準備ハ出來テ居タト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ此重要法案ガ會期ノ三分ノ二ヲ經過シ、今日ヨリ數ヘテモ一箇月、三十日ト云フ日數ニ足りナイ程ノ議會ノ末期ニ、此案ヲ提出サレト云フコトハ、私共ハドウシテモ諒解ニ苦シムノデアリマス、當局大臣竝ニ總理大臣ハ、如何ナル信念ノ下ニ此問題ヲ取扱ハレ、又取扱ハレントスルノデアリカト云フコトニ付テ、私ハ大ナル疑問ヲ有ツテ居ル者デアリマス、ソレデアリマスルカラ、此問題ニ付テモ率直ニ明確ナル御答辯ヲ望ミ、以上ノ諸問題ニ付テ御答辯ヲ煩シマシテ、更ニ其上デ私ノ質疑ヲ繼續致シタイト思フノデアリマス(拍手)

(國務大臣山崎達之輔君登壇)

○國務大臣(山崎達之輔君) 御答ヲ申上ゲマス、第一ハ生産統制ノコトニ付テ、政府ハドウ云フ考ガアルカト云フ點デアリマス、高橋君ノ御説ハ洵ニ御尤ニ拜承致シマス、唯御承知ノヤウニ農産物ノヤウナ、非常ナ豊凶ノ差ヲ生ズル問題ニ付キマシテ、徹底シタル生産統制ヲ行ヒマスルコトガ、甚ダ困難ナ問題デアアルコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、併ナガラ同時ニ大切ナコトデアリマスルカラ、既ニ外地其他ニ於キマシテモ、此問題ニハ相當ノ留意ヲ致シテ、行政上出來ルダケノ注意ヲ拂ツテ居ルノデアリマスルガ、尙ホ今回ノ調査會ニ於キマシテモ、附帶決議ト致シマシテ、生産統制ノコトニ付テ、政府ハ今後引續イテ十分ノ政策ヲ樹立スルヤウニト云フ御決議ガアリマス、此御趣旨ハ政府トシテ十分尊重致シテ參ル考デアリマス、第二ハ今回ノ立法ノ結果、或ハ消費者ニ對シテ不利益ヲ生ズルノ虞ナキヤ、斯様ナ御趣旨デアッタト拜承致シマシタガ、此點ハ先程提案理由ニモ申上ゲテ置キマシタヤウニ、現在ノ統制法ダケノ場合ニ比較致シマシテ、今回ノ自治管理法ガ幸ニ御協賛ヲ得ルコトガ出來マシタナラバ、消費者ニ對シマシテモ、相當ノ利ヲ結果ヲ生ズルト、私共ハ信ジテ居ルノデアリマス、決シテ自治管理ニ依ツテ消費者ニ不利益ヲ非常ニ與ヘルト云フヤウナ心配ハ致シテ居ラスノデアリマス、第三ハ財政上ノ負擔ノ問題デゴザイマスルガ、是モ高橋君ハ大體御諒解ヲ願ツタヤニ拜察致シマシタガ、今回ノ立法ニ依リマシテ、財政上ノ負擔ハ相當ニ輕減セラレルト、確信ヲ致シマス、決シテ之ニ依ツテ財政上ノ負擔ヲ現在ノ制度ニ比シテ増加スルコト云フヤウナコトハアリ得ナイコト、信ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ農家ノ收入増加ノ爲ニ、更ニ根本對策ヲ立テルノ必要ガアルガト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ全く高橋君ト同様ノ考ヲ有ツテ居リマシテ、農村全般ニ對スル恒久的對策樹立ノ必要ハ、政府ニ於テモ十分ニ之ヲ認メテ居ル次第デアリマス、出來得ル限り是ガ爲ニハ今後努力ヲ拂ヒマスコトヲ申上ゲテ、御諒解ヲ得テ置キタイト思ヒマス

次ニ米ノ配給機關ト生産者トノ關係ノ問題デアアル、此問題ニ關シマシテハ、世上幾多ノ憂慮ヲ抱イテ居ラレル方ガアルコトヲ御察シ致シテ居リマスルガ、今回ノ立法其モノガ如何ナル關係ヲ生ズルカニ付キマシテハ、寧ロ委員會等ニ於キマシテ、詳細ニ事實ニ即シマシテ御諒解ヲ希フ方ガ策ノ得タルモノデアアル、適當デアアルカト考ヘマスルガ、唯一言考ヲ申述バマスレバ、私共ト致シマシテハ、米ノ生産者ノ團體ト、是

ガ配給機關トノ關係ハ、出來得ル限り協調ノ方針ヲ以テ進ムコトガ適當デアリ、必要デアリ、又可能デアルト考ヘテ居ルノデアアル、之ニ關シマスル詳細ノコトハ、他ノ機會ニ於テ十分ニ事實ヲ御説明申上ゲ、又數字等モ御覽ヲ願ヒマシテ、篤ト御意見ノ在所モ拜聽スルト云フコトニ取運ブコトガ適當デアルカト考ヘテ居リマス、最後ニ提案ノ遲延ニ關スル御質疑デアリマシテ、是モ御無理カラヌ御質問ト拜承致シマシタガ、何分ニモ御承知ノヤウニ、今回ノ立法ハ内地ト臺灣朝鮮ヲ通ズル立法デアリマシテ、從來餘リ先例ノ乏シイ問題デアリマス、隨テ立法技術ノ上ニ於キマシテ、種々困難ナル點ニ逢著致シタノミナラズ、關係各省ハ、御承知ノ通りニ非常ニ多イノデアリマス、是等ノ間ニ十分ノ協議ヲ進メマシテ、實ハ事務當局ハ殆ド正月以來晝夜兼行ヲ以テ努力ヲ致シマシテ、而モ今日ニ及ンダ譯デアリマスルカラ、此邊ハドウカ悪カラズ御諒承ヲ希ヒタイト存ジマス

○國務大臣(岡田啓介君) 高橋君ヨリ私ニ御尋ニナリマシタコトハ、農林大臣ノ答辯デ盡キテ居ルト思ヒマス、私ニ御尋ニナリマシタコトハ生産、配給、消費、此三者ノ間ニ摩擦ガアツテハナラズ、斯ウ云フコトデアッタト思ヒマス、私モ其通りニ考ヘテ居リマス、私ハ米穀ノ問題ニ付テハ全ク素人デアリマス、此案ノ立案ニ付テハ、此三者ノ調和ニ付キ相當注意シテアルト云フコトデアリマス、又提案ガ遲レタコトニ付テモ、農林大臣ノ御答シタ通りデアリマス、此問題ハ六十五議會以來ノ問題デアリマシテ、内地及外地米等幾多困難ノ問題ガアリマシタガ、委員諸君ノ非常ナル勸勵ニ依リマシテ、一月十九日ニ答申ヲ得タノデアリマス、其後當局ガ努力ヲ致シマシテ、今日提案スルニ至ッタノデアリマス、遲レマシタコトニ付テハ私モ遺憾ト考ヘテ居リマス

○國務大臣(町田忠治君) 高橋君ノ御質問中、産業組合ト配給ヲ主トスル米穀商トガ、此法案實施ノ結果ニ於テ利害ノ衝突ヲ來シ、延テ種々ナル社會上面白カラヌ現象ヲ來スコトヲ憂ヘラレテノ御質問ト拜承致シマシタ、大體御質問ノ趣意ニ對シテハ御同感デアリマス、農林大臣ノ説明セラレタ米穀自治管理法案ノ大體ニ付キマシテハ、私モ申スマデモナク御同意致シテ居ルノデアリマス、唯此自治管理法ヲ實施シタ曉ニ、動モスレバ米穀商等ノ營業ヲ壓迫スル虞ガ運用如何ニ依ツテハ無イトハ限リマセヌ、ソレ故ニ運用宜シキヲ得ナケレバ、米穀商ノ從來ノ營業ニ對シテ、相當重大ナル影響ヲ及ボスコトアリト斯様ニ考ヘテ居リマス、故ニ此法ガ幸ニ御協賛ヲ得マシテ、實施スル曉ニ於テハ、農林當局トモ能ク協議

シテ、産業組合ト米穀商トノ利害ノ衝突ヲ緩和スルコトニ力メルコトハ申スマデモアリマセヌシ、殊ニ私ノ最モ重キヲ置キマスルノハ、從來遲々トシテ進マナカッタ所ノ商業組合ノ實現ヲ、全國ニ普及セシムルコトニ努力致シマシテ、産業組合ト商業組合トノ連絡調和ヲ圖ツテ、此自治法案ノ效果ヲ全カラシメタイト思ヒマス、詳細ノコトハ若シ委員會等ニ於テ御質問ガアレバ、詳細ク申上ゲヨウト思ヒマス

○國務大臣(岡田啓介君) 高橋君ヨリ私ニ御尋ニナリマシタコトハ、農林大臣ノ答辯デ盡キテ居ルト思ヒマス、私ニ御尋ニナリマシタコトハ生産、配給、消費、此三者ノ間ニ摩擦ガアツテハナラズ、斯ウ云フコトデアッタト思ヒマス、私モ其通りニ考ヘテ居リマス、私ハ米穀ノ問題ニ付テハ全ク素人デアリマス、此案ノ立案ニ付テハ、此三者ノ調和ニ付キ相當注意シテアルト云フコトデアリマス、又提案ガ遲レタコトニ付テモ、農林大臣ノ御答シタ通りデアリマス、此問題ハ六十五議會以來ノ問題デアリマシテ、内地及外地米等幾多困難ノ問題ガアリマシタガ、委員諸君ノ非常ナル勸勵ニ依リマシテ、一月十九日ニ答申ヲ得タノデアリマス、其後當局ガ努力ヲ致シマシテ、今日提案スルニ至ッタノデアリマス、遲レマシタコトニ付テハ私モ遺憾ト考ヘテ居リマス

○高橋熊次郎君 只今各大臣ヨリ御答辯ガアリマシタ、農林大臣ヨリハ型ノ如キ御答辯ヲ承リマシテ、大體ハ了承致シマシタガ、私ノ疑問ハ少シモ解ケテ居ラヌノデアリマス、殊ニ商工大臣ノ率直ナル御答辯ニ對シテハ、多大ノ敬意ヲ表スルノデアリマス、此案ト云フモノハ一部ノ人々ガ疑問トシテ居ル其疑問ヲ、濃厚ニシタヤウナ感じガ致スノデアリマス(「ヒヤ」「拍手」)是ハ

私ハ此案ノ生命ニ非常ナ重大ナ關係ヲ有ツノデハナイカト思フノデアリマス、而シテ商工大臣ハ特ニ議員ノ要請モアリマシタガ、大聲デ御答辯ニナリマシタノデアリマスルカラ、恐ラク總理大臣モ十分御聽取リダラウト思フノデアリマス、私ノ質問ニ對シテ、多クハ農林大臣ノ答辯ノ通りダト肯定サレル以上ハ、農林大臣ノ御答辯ハ十分御聽取リニナツタコト、承知致スノデアリマス、商工大臣ノ答辯モ完全ニ聽カレ、農林大臣ノ答辯モ完全ニ聽カレタコト、思フバ、其喰違ヒモ御氣ニ付カレタコト、思フノデアリマス(「ヒヤ」「拍手」)之ヲ第一ニ總理大臣ハ裁定サレナケレバナラヌノデアリマス、此法案ノ最後ノ責任ハ總理大臣ニアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス(「拍手」)特ニ主管大臣ノ意見ニ相違ナル場合、特ニ此事項ハ重要トナリ、總理大臣ノ御意見ト云フモノハ、茲ニ明ニセラレナケレバナラヌノデアリマス、本會議ニ於テ疑義ガ其儘ニナツテ、之ヲ委員會ニ持越シテ、如何ニシテ明ニナルデアリマセウカ、茲ニ此問題ノ重要性ナルコトハ、總理大臣ニ於テ特ニ御氣付ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、此法案ノ提出ガ著シク遲延致シ、總理大臣モ遺憾ナリト之ヲ肯定(笑聲)サレタ、其遺憾ナルコトヲ肯定サレタノデアリマスガ、私共ハ其遲レタ所以ハ、只今ノヤウナ喰違ヒ——外地ト内地ノ統制ニ對スル歩合等ガ問題ニナツテ居ルカラト略、察知サレルノデアリマス、此議場ニ於テサヘモ、商工大臣ノ御説ト農林大臣ノ御説明トノ間ニ著シキ差違ガアルト云フヤウナコトハ、今日ノ言葉デ言ヘバ、缺陷暴露トデモ云フ程、此案ガ關係間ニ十分ナル検討ガサレテナカッタ、マア議員ガドウニカスルダラウト云フヤウナコトデ、茲ニ提案ヲサレタノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ遲延シタガ、事務當局ハ晝夜兼行デヤツタト云フ、

ソレハ事實デアリマセウ、事務當局ハ洵ニ氣ノ毒千萬、當局大臣ノ腹ガ決ツテ居ナイカラソナコトニナルノデアリマス、是ハ官僚內閣——其一部分ニ商工大臣ノヤウナ政黨大臣モ居ルカラ、全部官僚トハ言ハレナイガ、併ナガラ腹ノ決マラナイ所ニ私ハ重大性ガアルト思フノデアリマス、而シテ只今問題ニナツテ居ルヤウナコトハ、既ニ從來モ世間デ論議サレテ居ルコトデアリ、百モ承知デアル、ソレヲ今回提案サレル以上ハ、全部ノコトヲ解決スルト云フ信念ノ下ニ、御提案ニナラナケレバナラヌト思フノデアリマス、吾々ニ十分委員會ニ於テ詳細ニ説明ヲシナケレバ分ラナイ、斯ウ云フヤウナ方式デ、斯ノ如キ重大ナル法案ヲ提出サレルト云フコトハ、國民ガ非常ナ迷惑ヲスルコト、私ハ考ヘルノデアリマス、私共ハ商工大臣ノ言ハレタヤウニ、少シク注意ヲシタナラバ、左程ニ大キナ摩擦ハ無クナツタラウト考ヘラレルノデアリマス、若シ大ナル摩擦ガアリトスルナラバ、此法案ハ此儘提案サレナイ譯デアル、其摩擦ヲ少クシ、其危險ヲ少クシテ、或ハ皆無ニシテ御提案ニナルベキ筈デアリ、其時間ハ十分御持合セガアツタモノト承知シテ居ルノデアリマス(「拍手」)之ニ付テハ總理大臣ノ率直ニシテ明快ナル御答辯ヲ望ムノデアリマス、而シテ外地トノ間ノ交渉ガ頗ル手間取ツタカノ如ク農林大臣ハ申サレ、總理大臣ハ此農林大臣ノ御答辯ヲ無條件ニ受入ラレテ居ルノデアリマス、而シテ外地米ノ統制ガ完全ニ行ケバ、斯ウ云フ商業機關ト農民ノ自治機關トノ間ニ、摩擦ナドヲ起サナイデ済ムノデアリマス(「ヒヤ」「」)一部分内地米ノ統制ヲ加味シタガ故ニ、商工大臣モ危險ナリト致ス法案ガ出來上ツタコト、思フノデアリマス、是ハ内閣諸公ノ肚ガ据ツテ居ナイカラ、茲ニ斯ウ云フ問題ガ生ズルノデアリマス、殊ニ商工大臣ハ民政黨ノ總裁トシ

私ハ此案ノ生命ニ非常ナ重大ナ關係ヲ有ツノデハナイカト思フノデアリマス、而シテ商工大臣ハ特ニ議員ノ要請モアリマシタガ、大聲デ御答辯ニナリマシタノデアリマスルカラ、恐ラク總理大臣モ十分御聽取リダラウト思フノデアリマス、私ノ質問ニ對シテ、多クハ農林大臣ノ答辯ノ通りダト肯定サレル以上ハ、農林大臣ノ御答辯ハ十分御聽取リニナツタコト、承知致スノデアリマス、商工大臣ノ答辯モ完全ニ聽カレ、農林大臣ノ答辯モ完全ニ聽カレタコト、思フバ、其喰違ヒモ御氣ニ付カレタコト、思フノデアリマス(「ヒヤ」「拍手」)之ヲ第一ニ總理大臣ハ裁定サレナケレバナラヌノデアリマス、此法案ノ最後ノ責任ハ總理大臣ニアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス(「拍手」)特ニ主管大臣ノ意見ニ相違ナル場合、特ニ此事項ハ重要トナリ、總理大臣ノ御意見ト云フモノハ、茲ニ明ニセラレナケレバナラヌノデアリマス、本會議ニ於テ疑義ガ其儘ニナツテ、之ヲ委員會ニ持越シテ、如何ニシテ明ニナルデアリマセウカ、茲ニ此問題ノ重要性ナルコトハ、總理大臣ニ於テ特ニ御氣付ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、此法案ノ提出ガ著シク遲延致シ、總理大臣モ遺憾ナリト之ヲ肯定(笑聲)サレタ、其遺憾ナルコトヲ肯定サレタノデアリマスガ、私共ハ其遲レタ所以ハ、只今ノヤウナ喰違ヒ——外地ト内地ノ統制ニ對スル歩合等ガ問題ニナツテ居ルカラト略、察知サレルノデアリマス、此議場ニ於テサヘモ、商工大臣ノ御説ト農林大臣ノ御説明トノ間ニ著シキ差違ガアルト云フヤウナコトハ、今日ノ言葉デ言ヘバ、缺陷暴露トデモ云フ程、此案ガ關係間ニ十分ナル検討ガサレテナカッタ、マア議員ガドウニカスルダラウト云フヤウナコトデ、茲ニ提案ヲサレタノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ遲延シタガ、事務當局ハ晝夜兼行デヤツタト云フ、

私ハ此案ノ生命ニ非常ナ重大ナ關係ヲ有ツノデハナイカト思フノデアリマス、而シテ商工大臣ハ特ニ議員ノ要請モアリマシタガ、大聲デ御答辯ニナリマシタノデアリマスルカラ、恐ラク總理大臣モ十分御聽取リダラウト思フノデアリマス、私ノ質問ニ對シテ、多クハ農林大臣ノ答辯ノ通りダト肯定サレル以上ハ、農林大臣ノ御答辯ハ十分御聽取リニナツタコト、承知致スノデアリマス、商工大臣ノ答辯モ完全ニ聽カレ、農林大臣ノ答辯モ完全ニ聽カレタコト、思フバ、其喰違ヒモ御氣ニ付カレタコト、思フノデアリマス(「ヒヤ」「拍手」)之ヲ第一ニ總理大臣ハ裁定サレナケレバナラヌノデアリマス、此法案ノ最後ノ責任ハ總理大臣ニアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス(「拍手」)特ニ主管大臣ノ意見ニ相違ナル場合、特ニ此事項ハ重要トナリ、總理大臣ノ御意見ト云フモノハ、茲ニ明ニセラレナケレバナラヌノデアリマス、本會議ニ於テ疑義ガ其儘ニナツテ、之ヲ委員會ニ持越シテ、如何ニシテ明ニナルデアリマセウカ、茲ニ此問題ノ重要性ナルコトハ、總理大臣ニ於テ特ニ御氣付ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、此法案ノ提出ガ著シク遲延致シ、總理大臣モ遺憾ナリト之ヲ肯定(笑聲)サレタ、其遺憾ナルコトヲ肯定サレタノデアリマスガ、私共ハ其遲レタ所以ハ、只今ノヤウナ喰違ヒ——外地ト内地ノ統制ニ對スル歩合等ガ問題ニナツテ居ルカラト略、察知サレルノデアリマス、此議場ニ於テサヘモ、商工大臣ノ御説ト農林大臣ノ御説明トノ間ニ著シキ差違ガアルト云フヤウナコトハ、今日ノ言葉デ言ヘバ、缺陷暴露トデモ云フ程、此案ガ關係間ニ十分ナル検討ガサレテナカッタ、マア議員ガドウニカスルダラウト云フヤウナコトデ、茲ニ提案ヲサレタノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ遲延シタガ、事務當局ハ晝夜兼行デヤツタト云フ、

テ立タレテ居ルノデアリマス、臺灣ニ於ケル、殊ニ朝鮮ニ於ケル所ノ產米増殖計畫ハ、聲高ク此議場ニ於テ、此計畫ヲ遂行スレバ我國ニ於ケル人口食糧ノ問題ハ解決スルモノナリト叫バレタ、過去ノ沿革ヲ追憶致シマスル時分ニハ、十分是等ノ問題ニ付テハ、責任ヲ負ウテ解決サルベキモノデアルトモ考ヘラレリノデアリマス、殊ニ日本ハ積極進取ノ方策ヲ以テ進マナケレバナライ、外地ニ於ケル產業ト云フモノハ、十分發展サセナケレバナライノデアリマス、而シテ内地ト外地トノ距離ガ非常ニ接近シテ居ル、風土又人情モ著シク似寄リテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ自然内地ノ產業ノ延長トナルト云フコトモ、是モ避クベカラザル所デアリマス、殊ニ農業ニ於テハ同種類ノモノガ其儘、而モ内地ト品種ニ於テサヘ同一ナモノガ朝鮮、臺灣ニ於テ栽培サレテ居ル、殊ニ朝鮮ニ於テ然リデアリマス、臺灣ノ蓬萊米ノ如キ、其品種ノ本ハ山形縣ノ豐國ト云フ品種デハナイカ、サウ云フヤウナ最モ近似シタル事情ニ在ルカラ、政治ノ衝ニ當ル者ハ殊ニ注意ヲシナケレバナラヌノデアリマス、外地ガ產業ガ盛ニナツタカラト言フテ、ソレガ爲ニ内地ノ產業ガ非常ナル壓迫ヲ受ケ、特ニ農產物ニ於テ其壓迫ガ甚シイノデアリマス、左様デアリマサルカラ、外地ニ於ケル内地ニ對スル產業ノ壓迫ト云フモノハ、之ヲ出來得ルダケ除クト云フコトニ努メナケレバナラヌノデアリマス、殊ニ米穀ニ於テハ此必要ガ強イノデアリ、私ハ何モ海外ノ事ナドヲ特ニ申ス必要モナイノデアリマスケレドモ、丁度此事ガ佛蘭西ニ於テ起リテ居ル、對岸ノ殖民地デアアル「アルジェリア」ニ於ケル所ノ或ハ馬鈴薯デアルトカ、殊ニ葡萄酒ナドト云フモノガ、本國ノ同種ノ產業ヲ著シク壓迫ヲ致シテ居ル、之ガ爲ニ佛蘭西ハ如何ナル方法ヲ執ツテ居ルカト云フコトハ、農林大

臣、商工大臣ノ風ニ知ラレテ居ル通りデアリマス、ソレデアリマスカラ海外ニモ例ガアル、サウ云フ例ヲ能ク御吟味ナサレバ、ドウシナケレバナライナカト云フコトガ分リ、隨テ信念ヲ固メラレルコトガ出來ルト私共ハ考ヘテ居ル、殊ニ前段ニ私ガ申述ベシタルガ如クニ、米穀ノ收入減ト云フモノハ、如何ニシテ之ヲ補充スルカト云フ對策ガナケレバナライ、對策ガナケレバナライナイト云フコトニハ御賛成デアアルガ、ドウスルト云フコトニ付テハ策ヲ示サレナイノデアリマス、唯僅ニ、二十一億數千萬圓ノ豫算ノ中ノ三十萬圓ヲ割イテ、農村ノ販賣統制ノ機關ヲ強化スルト云フヤウナコトハ何事デアアルカト私共ハ考ヘルノデアリマス、副業ノ獎勵、多角形農業モ結構デアリマス、併ナガラ米得失ハレタル、米穀得失ハレタル收入減ト云フモノハ、左様ナモノデハ到底之ヲ償フコトガ出來マセヌ、補充スルコトガ出來マセヌ、況ヤ氣候風土ニ於テ惠マレナイ所ノ東北、關東ノ一部分、北陸ノ一部分等ニ於テ殊ニ然リデアリマス、適產デアアルハ藪デアリ、米デアアルノデアリマス、適地デアハナイカモ知レヌケレドモ、適產デアアル、適地デアアルト云フコトハ、他ニ代換作物ガナイト云フコトヲ示シテ居ルノデアリマス、過去ニ於テハ棉モ作ラレタ、藍モ作ラレタ、又薄荷モ作ラレタ、紅ノ花モ作ラレタノデアリマス、悉クガ近代文化ノ爲ニ逐ハレ、外國貿易ノ爲ニ壓迫サレマシテ、ソレガ藪ヤ米ニ代ッテ行ツタ、其米ト藪ガ供給ヲ制限サレナケレバナライナイ農村經濟ノ唯一ノ目標トナルト云フナラバ、又他ニ代ッテ有利ナモノハ何デアアルカト云フコトヲ求ムルニ頗ル困難デアアル、我國ノ輸入ノ大宗デアアル所ノ棉竝ニ羊毛、即チ綿羊毛ノ獎勵ト云フコトハ、政府ハ手ヲ染メツ、アル、我國ハ明治大帝ノ畏キ

思召ヲ以テ、明治八年カラ之ニ携ッテ居ル、而モ今日尙ホ三萬頭ニ達スルカ達シナイノデアアル、サウ云フヤウナ事デアアル、吾々ハ年ニ一億封度以上ノ羊毛ノ需要ガアルノミ、僅カ一頭ニ於テ三封度内外ノ羊毛シカ取レナイニ三千數百萬頭ノ羊ガ要ルト云フノミ、今日ハ僅ニ進シテ三萬頭、斯ウ云フモノニ對シテ十分ナル手心ヲ加ヘレバ加ヘラレルノデアアル、近キ將來ニ於テハ何等是等ニ對シテ生産過剩ニ陥ルナドト云フ憂ハナイノデアアル、而モ是等ノモノニ對シテ遠慮シテ居ルトハ何事デアアルカト私共ハ考ヘル、私共ハ特ニ此問題ヲ諸君ガウツカリ考ヘラレテ居ルケレドモ(ノ一)(二)左様ナ問題デアリナイノデアリマス、是ハ國防ニ於テモ最モ必要ナル問題デアリマス、何故ト云フナラバ、私共ハ鐵ヤ其他ノ兵器ニナル材料ガ、海外カラ輸入スルニ非常ナ困難ヲ感ジテ居ルト共ニ、此綿羊毛改良スル所ノ、優レタル種羊ヲ持ッテ來ル爲ニ、非常ナル困難ヲ今日感ジツ、アルト云フコトニ付テ、特ニ私共ハ當局大臣ノ御考ヲ煩ヌノデアリマス、而シテ是等ニ對シテ相當ノ國力ヲ用ヒタナラバ、私ハ農村ノ行詰リノ一部分ト云フモノハ、米ヤ藪ノ收入減ノ大部分ト云フモノハ、償フコトガ出來ルノデアリナイカトサヘ吾々ハ考ヘラレル、然ルニ此必要ナル、殊ニ海外ヨリ輸入スルニ困難ナル種羊ノ作レ種羊場ト云フモノヲ、何時ノ時代ニ於テ之ヲ打壞シテシマツタカト云フコトヲ、吾々ハ考ヘナケレバナライノデアリマス、總理大臣、大藏大臣ハ一寸居ナイヤウデアアルガ、後デ傳ヘテ戴キタイ、私共ハ農村ノ問題ト云フモノハ一年ヤ二年デ以テ、是ガ宜イト言ツタトテ、直チニ效果ノ現レルヤウナコトハナイノデアリマス、左様デアリマスルカラ是等ノ問題ニ對シテハ、十分平素ヨリ注意ヲ致シテ、開斷ナク、一時ノ財政ノ都合等ニ依ッテ既定計畫、確定計畫ト云フモノハ

改廢シテハ宜シクナイト云フコトヲ私ハ強調スル爲ニ、最モ分リ易イ羊ノ例ヲ取ツタノデアリマス、ソレデアアルカラ私共ハ是等ノ問題ニ對シテハ色々ナル材料モアリマス、委員會等ニ於テハ當局ト色々折衝スルコトモアリマセウ、併ナガラ私ハ重ネテ申シマスルガ、此米穀統制ノ問題ハ、當局大臣ノ間デモ、色々ナル派生的副作用ガアルノデアリナイカ、社會情勢ノ上ニ累ヲ貽サヤウナコトガアルノデアリナイカト云フヤウナ、重大ナル疑問ガ此中ニ包含サレテ居リ、而シテ最モ大切ナル農村對策、即チ農家ノ收入減、米穀ニ依ル所ノ收入減、統制經濟ニ依ッテ價格ノ昂上ガ一定限度デ阻止サレ、生産ノ増加ガ阻止サレテ居ル今日ニ於テ、此補充ヲ何ニ求ムルカト云フ根本ノ重大問題ガアルト云フコトヲ、私ハ茲ニ力説ヲシナケレバナラヌノデアリマス、之ニ對シテ當局大臣ノ十分ナル御説明ヲ願フテ、殊ニ此法案ノ審議上ニ於テ最モ大切デアアル農林大臣ノ意見ト、商工大臣ノ意見ト對立ヲ致ス形ニナツテ居ルノデアリマス、是ガ明ニナラナケレバ審議ヲ進メルノ上ニ於テ、非常ナ不便ガアルト吾々ハ考ヘルノデアリマス、カ、兩大臣竝ニ總理大臣ヨリ十分理解ノ行クヤウニ御説明ヲ願ヒタイト思フ次第デアリマス

(國務大臣山崎達之輔君登壇)

○國務大臣(山崎達之輔君) 高橋君ノ再應ノ御問ニ對シマシテ御答申上ゲマス、農村對策ニ付テ、更ニ大ニ努力ヲセナケレバナラヌデアリナイカト云フ御趣意ニハ、全ク御同感デアリマシテ、何等異タル意見ヲ持チマセヌ、出來得ルダケ努力ヲ致シマスト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、更ニ此案ヲ提案スルニ至リマスル經過ニ付キマシテハ、農林商工兩省ハ申スニ及バズ、關係各省各方面何等隔意ナキ十分ナル協調ノ下ニ、提案ヲ致シテ居ルト云フコトヲ御

諒解ヲ願ヒタイと思ヒマス

〔商工大臣ノ御話ト矛盾スルデハナイカト呼フ者アリ〕

〔國務大臣岡田啓介君登壇〕

○國務大臣〔岡田啓介君〕 此法案ハ委員會デ委員諸君ガ非常ニ勉勵セラレマシテ、其結果答申ヲ得、其答申ニ基イテ此案ヲ立テ、全閣僚ガ之ニ同意ヲシマシテ提出致シマシタモノデ、閣僚ノ間ニ意見ノ相違ハアリマセヌ〔アルデハナイカト呼フ者アリ〕尙ホ今農林大臣ヨリモ御答シマシタガ、私ハ豫算委員會デモ屢々申シタと思ヒマス、將來大ニ此農村ノ對策ニ付テハ力ヲ盡シタイと思ヒマス、綿羊ノ如キモ獎勵スベキ一ツデアルと思ヒマス

○高橋熊次郎君 簡單デアリマスカラ、此席カラ發言ノ御許ヲ願ヒマス

○議長〔濱田國松君〕 簡單デスカ

○議長〔濱田國松君〕 許可致シマス

○高橋熊次郎君 只今農林大臣、總理大臣ヨリ御答ヲ承リマシタ、總理大臣ノ御答辯ハ少シモ諒解スルコトガ出來ナカクノデアリマス、私共ハ其御提案ノ三法案ニ付テ質疑ヲ致シ、是ガ審議ヲ進メル上ニ必要ナノデアリマスルカラ、内閣審議會ノ設立ヲ待ツテカラ、ソレニ審議セラレルノデハ及バナイノデアリマス、是等ノコトハ追テ又改メテ質問ヲ致ス機會モアリマセウ、ドウカ斯様ナ信念ヲ以テ此問題ニ對シテ——此三法案ニ付キマシテ、殊ニ米穀自治管理法案ニ付キマシテハ、私共ハ一面ニ於テ生産統制ニ迄及バナケレバ、十分ナル機能ヲ發揮出來ナイ、隨テ中央ノ統制機關ガ農村ニ向ッテ指令ヲスル場合ニ、生産統制ノコトニ迄及ブト云フコトデアリマスルナラバ、生産ヲ指導ノ任ニ當ッテ居ル所ノ農會ノ機能ト云フモノヲ、之ニ加ヘル必要ガアルノデハナイカト、斯様ニ考ヘラレルノデアリ、世

間ニモ此論ガ、殊ニ農村ニ相當強イノデアリマス、是等ニ付テ農林大臣ノ御答辯ヲ煩シ、爾餘ノ質疑ハ別ノ機會ニ於テ開陳スコト、致シタイと思フ次第デアリマス

〔國務大臣山崎達之輔君登壇〕

○國務大臣〔山崎達之輔君〕 統制組合ト地方農會トノ連鎖ニ關シマシテハ、勅令其他ヲ起案致シマスル場合ニ、相當考慮ヲ加ヘル用意ヲ致シ居ルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○議長〔濱田國松君〕 次ノ通告者板野友造君

〔板野友造君登壇〕

○板野友造君 此三案ニ付テ殊ニ米穀自治管理法案ニ付テ、政府ノ所見ヲ承リタイと思ヒマス、其第一ハ六十五議會ニ於テ、本議場ニ於テ議論ノ中心トナツタ點ハ、外地米ノ移入統制、是ガ先ツ議論ノ中心トナツタ居タト考ヘル、サウシテ本案ハ此外地米ノ移入統制ノ趣旨ヲ有ツテ居ルト云フノデアリマスルガ、唯之ヲ簡單ニ申シマシレバ、本案ノ實施ニ依ツテ、果シテ外地米ノ移入統制ガ出來ルト信ゼラレテ居ルカドウカ、此一言ニ歸著スル、最近朝鮮臺灣米ノ内地移入額ハ、年ニ依ツテ違ヒマスルガ、大體平均シタラ千三百萬石、此見當デアツテ、毎年此移入米ハ増加ノ形勢ニアル、何故増加ノ形勢ニアルカト申シマス、是等臺灣米朝鮮米ノ方ガ、内地米ニ比シテ優ツテ居ルト云フコトニナル、即チ品質モ良ク、サウシテ容量モ多イ、ソレニ値段ガ安イ、斯ウ云フノデアリマスカラ、是等ノ點ニ於テ劣ツテ居ル内地米ガ、外地米ノ爲ニ壓倒サレルノハ當然ノ結果デアル、ソレデアリマスカラ、本案ノ如キ、失禮ナガラ姑息ナル案ヲ以テ、此經濟的ニ内地米ヲ壓倒スル外地米ノ移入ヲ統制スルト云フコトハ、困難デハナイカト信ズル、ソレデモ政府ハ之ニ依ツテ統制シ得ルト信ズルカ、何故ニ信ジ得ルカ

理由ヲ承リタイ

ソレカラモウ一ツハ統制ト云フコトデアリマスルガ、此條文ニ依ツテ見マスルト云フト、唯過剩米ノ六割五分ヲ統制スルト云フコトニナル、全體デハナイ、全體デハナクテ、過剩米ノ六割五分デアル、過剩米ノ六割五分ノミヲ自治管理デ統制スルト云フナラバ、此六割五分以外ノモノガドシ——勝手ニ移入ガ出來ル、是ガドシ——勝手ニ入ッテ來ルト云フコトデハ、此過剩米ノ六割五分ノミヲ自治管理シタツテ、ソレ

デ何ニナリマス、僅カノモノ、ミヲ自治管理サスガ、大部分、大多數ト云フモノハ勝手ニ移入シ得ルト云フコトハ、本案ニ依ツテ移入ノ統制ハ出來ナイ、斯ウ云フ風ニ私共ニハ考ヘラレル、此點ニ付テ私共素人ニ分ルヤウニ、ドウゾ明確ナル御説明ヲ願ヒタイ、ソレカラ其次ハ山崎農林大臣ノ御説明ニ依リマスル、今高橋君ノ質問ニ對シテ、政府ノ負擔ガ輕クナルト云フ意味ノ御話ガアツタヤウニ承ツタ、私此點ニ付テ甚ダ憂慮ニ堪ヘヌ、ト言ツテハ烏滯ガマシイケレドモ、政府ノ負擔ガ輕クナルト云フコトハナイト云フ疑ヲ有ツ、之ヲ一ツ政府ニ質シテ見タイ、本案ニ依ルト過剩米ヲ統制スルト云フ、所ガ私共ノ考デアリ、且ツ私共ガ此米ノ生産者側カラ篤ト聽イタ所ニ依リマス、毎年内地外地共ニドンドウ寧ロ米ノ收穫ハ増加スルコトニナル、斯ウ聽イテ居ル、ソレハドウカト申シマス、内地外地共ニ付テ反別ハ増加スル傾向デアル、ソレカラ米ヲ作ル栽培技術ト云フモノガ、年一年ト發達スル、其外ニ政府ガ米價ニ付テ最低價格ノ保障ヲスル、二十三圓二十錢、其處マデハ保障スルト云フノデアルカラ、米作ハドシ——獎勵サレル形ニナルカラ、此收穫ト云フモノハ多クナル、毎年増加シテ來ル、所ガ偶ニハ豐作モアルデセウ、ソレデアルカラ、今後過剩米ハドシ

シ増加シテ來ルモノト見ナケレバナラヌト斯ウ言フノデアル、所ガ政府ハ今日ニ於テ、私正確ナ數字ハ存ジマセヌガ、一千万石近クノ手持米ガアル、其上ニ更ニ此自治管理法案ノ第四十九條、第五十條、之ニ依リマス、政府ガ此組合、團體カラドウシテモ玄米ノ買入ヲシナケレバナラヌ義務ヲ負擔シテ居ル、故ニ否應ナシニ自治管理法案ニ依ツテ、政府ガ毎年抱カネバナラヌ結果ヲ生ズルト思フ、其外ニ米穀統制法ニ依ツテ、最低價格ニ依ツテ賣付ケラレテ、政府ガ買込マナケレバナラヌモノモ相當増シテ來ル、二重三重ニ増スコトモ考ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フ譯デ、政府ハ現在以上ニ手持米ガ殖エル、之ニ對スル資金ノ固著、米ノ値下リデアルトカ、削減リデアルトカ、品傷ミデアルトカ、斯ウ云フ米ノ損傷若クハ値下リ、是等ニ依ツテ生ズル損失ト云フモノハ、一體無イト見テ居ルノデアルカ、アレバ誰ガドウシテ負擔スルカ、農林大臣ハ國庫ノ負擔金ハ寧ロ今ヨリ少クナルト云フガ、ドウシテ少クナルト云フ見當ガ付キマスカ、ドン——政府ガ抱カナケレバナラヌ、米ガ増シテ來ルト見ナケレバナラヌ、ドウシテサウ云フ算盤ガ出ルカ私ニハ分ラヌ、是等ノ損失金、助成金其他デ、結局ハ政府ガ之ヲ負擔シナケレバナラヌコトニナリマセウ、政府ハ既ニ米穀政策ニ關シ法律案ヲ提出シタ時ニハ、勝手ナ熱ヲ吹イデ、金科玉條ノ米穀政策デアルカノ如ク吹聴シ、サウシテ通シマスガ、幾度米穀ニ對スル法律案ニ協賛ヲ與ヘテ見テモ一向成功シナイ、常ニ失敗ニ終始シテ居ル、今度ノ自治管理法案モ、必シモ是ダケハ農村ヲ救済シ、成功スルモノト云フコトヲ信ズルコトハ出來ナイ、斯様ナコトハ別トシテ、既ニ政府ハ米ニ關シテ二億五千万圓バカリ損ヲシテ居ルト云フコトヲ、何處カデ發表サレテ居ルガ、或ハ實際ハ是レ以上デセウ、假ニ二億五千万圓

バカリトシテモ、此損失ヲシテ居リマスガ、只今マデニ申シタヤウナ事情ニ依リマシテ、私ハ國庫ノ負擔ハ更ニ増大スルト思ヒマス、政府ハ本案ニ付テ米穀ニ關スル諸般ノ事情ト、財政上ノ影響ニ鑑ミテ本案ヲ提出シタト言フテ居ル、私共ハ國家財政上カラ見テ、本案ハ極メテ重大ナル關係ヲ有チ、危險ヲ含ンデ居ルモノデアルト考ヘルガ、政府ハ御所見如何デ御座ル

ソレカラ本案ヲ以テ、米ノ生産者デアアル農民救済、農民ニ利益デアアルヤウナ風ニ、今マデ、モ政府ハ宣傳ヲ致シテ居ル、近時盛シニ宣傳ヲ致シ、今日ノ農林大臣ノ御言葉ノ中ニモ、此意味ガ聽取レル、私ハドウモ此意見ハマダ分ラヌ、私ガ此處ニ出テ御尋ラシマスマデニハ、多少専門家ノ意見モ聽イテ見タノデアリマスガ、百姓ハ米ヲ作ルト申シマスケレドモ、全國ノ四割強ノ小農ハ、米ヲ作ツタツテ賣ツテシマフカラ、直キニ消費者ニ變ル立場ニ居ル、ソレダカラ生産者ト云フヨリハ寧ロ消費者ト云ツタ方ガ宜イ、斯ウ云フ關係ニアルサウデアリマス、私ノ選舉區ハ大阪デスガ、岡山縣ノ備中ノ百姓デアツテ岡山縣備中ニ於ケル一戸ノ戸主デアアル、百姓ノコトモ多少知ツテ居ルシ、多少ノ苦痛ヲ嘗メテ居ル、少シ御尋シテ見タイト思フノハ、全國農家ノ四割強ノ小農ハ、此生産米ヲ持ツテ居ルコトハ出來ナイ、持ツテ居ルコトハ出來ナイカラ、之ヲ收穫スルト直グ賣ツテシマフ、直グ賣ツテシマフカラ、早速後ハモウ買食ヲシナケレバナラヌ、吾々ノ國デハ買食ト云フ、買食ヲシナケレバナラヌ、ソレデ所謂消費者トナル、ソレデアリマスカラ、大體米ノ値ハ高クシナケレバナラヌト云フ、謂ハハ高米價政策カラ出發シテ居ル此政策ニ對シテハ、是等買食ヲナス小百姓ト云フモノハ、消費者トシテ何時デモ苦シメラレルコトニナル、米穀政策ノ失敗スルノハ茲ニアル、若シ本案ガ實施

サレテ來マスト云フト、是等多數ノ百姓ハ、高イ飯米ヲ皆買ハナケレバナラヌノデスカラ、統制ガ利ケバ利ク程高イ米ヲ買ツテ、不利益ヲ受ケルト云フ立場ニ置カレルノデアアル、サウスルト此大多數ノ農民ハ、一寸モ有難クハナイコトニナツテシマフ、ソレカラハ私ノ今居ル大阪ナドノ近クニモ、深い關係ヲ有テマスガ、全體此米穀管理法案、是ハ農林大臣、其他政府ノ諸公ハ能ク御承知デセウガ、米ノ穫レルノハ、必シモ十一月一日ニキツチ穫レルノデハナイ、早ク穫レル所モアレバ、晚ク穫レル所モアル、所謂玄人ノ言フ早場地方ハ、此法律案ガ通過シテ之ヲ實施シテモ、何等ノ恩典ニ預カラナイ、預カラナイデハナイ、早ク賣ツテシマフノデアアルカラ、丁度後ハ買食ト云フ、消費者ノ立場ニ立ツノデアアルカラ、寧ロ高イモノヲ買ツテ食ハナケレバナラヌカラ、恩典ニ浴セザルノミナラズ、却テ高イ米ヲ買ハサレルト云フ不利ナ立場ニ立ツト私ハ聞イテ居ル、小百姓ノ點ハ、コッチノ方ガ能ク知ツテ居リマスガ、早場ノ關係ハ私ハ餘リ經驗ガナイ、政府ノ方デ需給推算ヲスルノガ十一月ノ中旬デアル、是ガ實現ヲ致シマスノハ、早クトモ十二月ノ中旬デアアル、十二月ノ中旬ダト云フト、早場地方、之ヲ一々言ハナクトモ、農林當局ノ方ガ能ク御承知デスガ、早場地方デハ、モウ農家ノ金融上其他ノ事情、又米ガ長ク保タル、軟質デスカラ、之ヲ賣ツテシマツテ居ル、賣ツテシマツテ居ルト云フノデアアルカラ、幾ラ統制シテモ、只今申スヤウナ何等ノ御蔭ヲ受ケヌ、御蔭ヲ受ケヌノミナラズ、自分ハ後デ買ハナケレバナラヌカラ、高イモノヲ買ハサレルト云フ不利ガアル、ソレカラ私共ノ最モ痛感ヲシマスノハ、大阪ノ近クノ攝津米デスガ、攝津米ハ酒造米トシテ造酒屋向ノ米デアツテ、是ハ攝津ノ農民ノ誇ル所デアリ、又非常ニ是ハ收穫モ早

イシ、値モ高イ、所ガ本案ノ如ク之ヲ統制シテヤツタノデハ、酒米トシテ早ク糶メテ賣ルト云フコトガ出來ナクナツテシマフ、ソレデヤ酒米トシテノ價值ハナイ、酒米トシテノ特効ハナイ、酒米ト云フモノハ、普通ノモノヨリカ早ク賣ツテシマハナケレバナラヌ、賣ル時ニハ一時ニ賣ラナケレバナラヌ、本案ノ如キ統制ニ依ツテ、之ヲ持ツテ居ッテ賣レヌト云フコトニナルト、酒米ヲ作ッテ、酒屋ニ信用ガアツテ、自分ガ一手專賣ノ如クヤツテ居ル百姓ハ洵ニ迷惑至極ニナル、是ハ厄介ナモノト思ヒマスガ、全體コンナコトヲ御考ニナツテ居ルカドウカ、法文ニ何等ノ除外ヲシテ居ラヌヤウニ私ハ思フ、何カシテ居ル筈ダト思ツテ、私ハ此法律案ハ二三度讀返シテ見マシタガ、ドウモ私ノ老眼デハソレガ分ラナイ、若シコンナモノモ一切考慮ノ中ニ入レナカッタト云フノデアレバ、今ノ小百姓ノ苦シメル點、酒米ト云ツタ如キハ、是ハ一例ニ過ギマセヌガ、早ク穫ッテ一糶メニ賣ルト云フ米ニ付テハ、全部此苦シミヲ受ケルコトニナル、何ゾ之ヲ以テ農民救済、農民ノ利益ナント暢氣ナコトガ言ツテ居ラレルモノカ、内容ヲ點檢シテ御覽ナサイ、全體今マデオ役人ノ米穀政策ヲ見ルト、米ヲ高クシサヘスレバ宜イト、斯ウ來ル、併ナガラソレハ素人考デアツテ、丁度學校卒業ノホヤ、ガ言ヒサウナ議論デアル、米ヲ高クスレバ成程百姓ハ米ヲ作ツテ居ルカラ喜ブ、是ハ直グ考ヘラレル、所ガ今申シタヤウニ、百姓ハ米ヲ作ルノダケラドモ、ドウモ二番曹ヲ中學ハ入レルノニハ四十圓金ガ要ル、此四十圓ヲ作ルノニハ、ドウシテモ明日カラ買食ヲシナケレバナラヌデモ、此米ヲ全部賣ルヨリ仕方ガナイ、金ヲ作ルノニハ米ヲ賣ルヨリ仕方ガナイ、嫁人ヲサスルニハ米ヲヤラナケレバナラヌ、後デ高クナツテモ安クナツテモ仕樣ガナイデヤナイカ、斯ウ云フコトデスカラ、百

姓ト言ツテモ、山崎君ノヤウニ、福岡縣ノ「マアソ」ナコトハ止メマスガ(笑聲)全體此多數ノ農民ハ生産者デアアルケレドモ、直グ賣ツテシマツタリ、又急ニ迫ツテ居ル所ニ使ツテ、翌日カラ買食ヲヤルカラ、高クスレバ宜イナント云フ一律ノ議論ナドデ、米ノ問題ガ解決スルモノデハナイ、而モ私一言茲ニ申シテ置ク、一番多ク米ヲ消費スルモノハ小農デアルト云フコトヲ言ツテ置キマセウ、ソレナラ米ガ安イ方が宜イト云フ結論ニナルデヤナイカ、本案ヲ机上ノ空論トハ申シマセヌケレドモ、現實スル、米ヲ作ツテ居ル縣デアツテ、サウシテ大部分所謂消費縣、生産縣デアリナガラ、消費縣デアアル此立場ニ置カレルモノガ、農民ノ多數デアルト云フコトヲ申シテ、本案ヲ實施スルコトハ、農民大多數ニハ不利デアルト云フコトヲ申シタイ、然ラズト云フ政府ノ理由ハ何處カラ出發スルカ、明快ニドウゾ山崎流ノ答辯ヲ承リタイト思フ

ソレカラ頻リニ米穀調査會ナリ政府ノ方デハ、本案ヲ實施スレバ消費者ニ利益ダ、コンナコトヲ言ツテ居ル、是モ成程經濟學ノ初步ニアルコトデ、生産者タル百姓カラ、消費者タル吾々ノヤウナ都會其他ニ居ル、米ヲ買ツテ食フ消費者ノ家ニ入ツテ居ル商人ト云フ仲介者ヲ除イテ、生産者カラ消費者ヘ直グ行クヤウニスル、今度ノハ生産者ノ米ハ自治管理デアアル、自治管理ヲサシテ、直接ニ之ヲ消費者ニヤルカラ、仲介者ノ手ヲ省イテ、是等ノ者ノ口錢ガ要ラヌカラ、自ラソレダケ安クナルト云フ建前カラ出テ居ル、ソレダカラ消費者ニ利益ダト云フ、理窟ハ其通りデアリマスケレドモ、果シテ本案ノ如キ構成ニ依ツテ出來タ統制組合、産業組合、

是等ノモノカラ安ク米ガ賣リ得ルト思ハル
レバ、是ハ間違デアルト思ヒマス、政府ハ
サウ思フカ、何故カト云フト、斯ウナル、
此方ハ買フ方デスカラ、買フ方ハ少シ精シ
イ、大體本案ノ底ニハ米價ヲ高クスルト云
フ主義ガ潜デ居リマス、高米價主義トデ
モ申シマス、ドウモ米ガ安クチヤイカス
ト云フ、マア丁度米ガ昭和八年頃ノ豐作ニ
於テ、内地外地共豐作デ喧シカッタ時カラ
出發シタノダカラ、相當ノ米價ヲ保タシメ
ナクチヤナラヌト云フノデ、一口ニ言ヘバ
米ノ値ヲ相當昂上ゲルト云フ所カラ出發シ
テ居ル、ソレデ米ノ値ヲ高クスル、年中何
デモ彼デモ米價ヲ高クスルコトヲ希望シテ
居ル此組合、此農村團體ニ、今度ハ販賣權
ヲ與ヘル、サウスルト高クナル方ヲ喜ブ連
中デアリマスカラ、米ノ値ハ高クナリマセ
ウ、所ガ消費者ハ安イ方ヲ好ム、高クスル
ヤウナ風ニ機構ガ出來テ居ルノデアルカラ、
全體ノ建前ト云フモノハ、消費者ノ不利益
ニ出來テ居ルト云フコトハ直チニ分ルデヤ
ナイカ、ソレデ今迄ノ白米商ト、今度米穀
自治管理法ニ依ッテ出來ル新米屋デス、新米
屋トマア申シマス、此米屋トハドウ云フ
風ニ違ヒマス、是ガ即チ米ノ値ニ關係ヲ
持ツシ、消費者ノ利益不利益ノ岐ル、點ガ
此點ニ在ル、今迄ノ米屋ハドウカト云フト、
是ハ政府ノ諸公皆御承知デ、所謂鑛鑛レニ
ナッテ、厚子ノ著物ヲ著テ、女房モ、小僧モ、
娘モ、小學校ヘ行ツトル俸モ、歸テ來レバ
御得意ニ米ヲ配給スルトカ、一切全部、家
内一家總動員デ以テ米ノ配給、米屋ノ仕事
ニ當ッテ居ル、ソレデドウカト云フト、年中
鑛鑛レニナッテ漸ク飯ヲ食フ、即チ糊口ヲ凌
イデ居ルノデアルカラ、此米屋ハ餘リ費用
ガ掛ラナイ、所ガ今度ノ御役所風ノ、官僚
風ノ新米屋ハドウ云フ風ニナルカ（笑聲、
拍手、「コッチヲ向イテヤレ」ト呼フ者アリ）
ツイアッチノ方ヲ向イテ……（白米商ガ泣

クゾ、眞劍ニヤレ」ト呼フ者アリ）吾輩ハ眞
劍デヤッテ居ル、願クハ眞劍ニ聽イテ貰ヒ
タイ（拍手）此問題ハ單ニ消費者ダケデヤナ
イ、生産者モ是ハ重大ナル問題デスカラ、
ドウカ眞劍ニヤレナドト云フ輕侮的ナ言葉
ヲ發スルノ暇ヲ以テ、ドウカ靜カニ御聽キ
願ヒタイ、私ハ眞劍ニヤッテ居ルカラ御安心
下サイ、此組合ノ如ク、此機構ノ如ク、官
僚式高等人、謂ハハ洋服ヲ著テ「トラック」デ
配達スルト云フヤウナ風デヤル、今マデノ
産業組合ノ人ガドウ云フ風ナ幕シラシテ、
ドウ云フ贅澤ヲシテ居ルカハ、農林、商工
兩當局ハ御承知デセウ、近頃政府ハ産業組
合ニ付テノ調査ヲシテ居ルヤウデアリマス
カラ、一層御承知デアラウト存ジマスガ、
是等ノ組合ガ所謂官僚式デ、サウシテ月給ヲ
取ッテ洋服ヲ著タル、マア官僚式ノ洋服米屋
デヤレバ、今マデノ鑛鑛レデヤツトル米屋ニ
較ベテ費用ガ高クナルコトハ、是ハ説明ヲ
要セナイ、又一面ニ於テ今マデノ米屋ト云
フモノハ、無數ニ米屋ガアルノデスカラ、
競争ヲシナケレバナラヌ、勉強シナケレバ
ナラヌ、所ガ今度ハ政府ノ保護ヲ受ケテ、
獨占的ニヤルノデアルカラ、決シテ勉強ハ
シナイ、今カラ申シテ置ク、決シテ勉強ハ
シナイ、官僚式ノコトニハ無駄ガ多イ、サウ
シテ威張ッテ居ル、專横デアアル、斯ウ云フヤ
ウナコトデアアルカラ、ソレデハ一番馬鹿ヲ
見ルノハ、謂ハハ其相手ニナルオ客様デア
ル、消費者デアアル、コンナ案ヲ實施シテ消費
者ニ何ノ利益ニナリマス、サウシテ是等
ノ威張ッテ居ル洋服ノ、謂ハハ新米屋ニ依ッ
テ米ノ配給ヲ受ケテ食ッテ行ク者ガ、全國民ノ
七割ト云フノデアルカラ、七割ノ人ハ泣イ
テ居ルデアラウト思フ、私ハ斯様ニ考ヘマ
スガ、ソレデモ政府ハ尙ホ此消費大衆ハ、本
案ノ實行ニ依ッテ安イ米ガ食ヘテ、サウシテ
利益ニナルト政府ハ御考ニナルカ、又御考

者ニハ利益ニナルカト云フ理由ノ説明ガ難
ヒタイ、之ヲ伺ヒタイ
ソレカラ今度ハ米屋ノ立場デスガ、米屋
ノ立場ハ、此組合ノ權力ガ増大ヲ致シマシ
テ、是ガ一切ノ米ノ配給ヲヤルコトニナリ
マスレバ、打撃ヲ受ケルコトハ説明ヲ要シ
ナイト考ヘル、サウシテ更ニ私ハ此法律案
ノ法文ニ依ッテ見マスト云フト、第一條ハ原
則的ノ法文デスガ、第四條ニハ「米穀統制
組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ」
一、二、三、四トアツテ、第五號ニ於テ、第
二號ノ規定ニ依ッテ貯藏ヲ解除スル、貯藏解
除米ニ付テ委託ヲ受ケ販賣ヲシ、保管ヲシ、
又米穀ノ自治管理ニ附帶シ必要ナル事業ヲ
行フ、隨分廣イ權限ヲ有ツコトニナッテ居
ル、サウスルト第一條ニハ、單ニ過剩米ノ
統制ト云フ文字ヲ使ッテ居リマスガ、過剩米
以外ノ米ヲモ尙ホ之ヲ組合ヲシテ自治管理
ヲサス、尙ホ之ニ販賣ヲサセ、第四條ニ於
テ販賣權ヲ認メテ居ル、ソレノミナラズ第
六十條ニ依ルト云フト、是ハ米穀ノ平均賣
ノ實行ニ關シテ、販賣組合聯合會ハ米穀ノ
平均賣ノ實行ニ關シテ必要ナル指令權ヲ持
ツコトヲ規定シテ居ル、斯ウナルト大シタ
モノデアアル、指令權ヲ持ッテ是ガ一切ヲ統轄
シテ行クノデスカラ、斯ウナンバ此法律ノ
建前カラ行クト米屋ノ存在ヲ許サナイ、全
然從來ノ米屋ト云フモノヲ否定シテシマ
フ、先刻町田商工大臣ノ御答辯ニナッテノ
ハ、此點カラ出發スルト私ハ思フ、山崎サ
ンハ答辯ガ極メテ巧妙デスカラ、ソコマデ
ヤリマセヌケレドモ、斯ウナレバ組合ノ方
ガ一切ノ統轄權ヲ持ツデハアリマセヌカ、米
屋ノ存在餘地何レニ在リト言ヒ得マス、米
屋ノ存在ノ餘地ハナイデセウ、ソレナラバ商權
ヲドウ斯ウ言フドコロデハナイ、商權デハ
ナイ、商人ヲ全部叩ク、米ニ關スル商人ヲ
全部廢業サス、斯ウ云フコトニナルデハナ
イカ、介在ノ餘地ナカラシムル法律ヲ立テ

テ置イテ、サウシテ此商權ニ關シテ商工大
臣ハ、商工大臣ノ御言葉ハ忘レマシタガ、
何カ憂フベキ點モアルカノ如キ御言葉ヲ
承ツタガ、憂フベキドコロデハナイ、是ハ全
然生存ヲ奪フ、存在ヲ奪フト云フ結果ニナ
ルコトガ、此法律上、法文ノ上ニ明ニナッテ
居ルノデアリマスガ、是デモ政府ハ尙且ツ
此米穀商、米穀ニ關スル商人ノ商權ヲ擁護
シ、是等商人ヲ存在セシメテ行キ得ルト言
フノ勇氣ガアルカドウカ、是等ノ者ノ商權
ヲ維持シ、是等ノ者ノ存在ヲ保護スルト云
フノナラバ、其理由ノ説明ヲ承リタクゴザ
イマス、私ハ茲ニ色々ノ事實モ聞イテ、多
少ノ材料ハ持ッテ居リマスガ、是等ハ省略シ
テ唯眼目ダケヲ申シマス
最後ニ統制法ニ關スル問題デス、統制法
ニ關シテ一言政府ニ御尋ラ致シタイ、是ハ
商工大臣ノ方ニ寧ロ深イ關係ガ御有リニナ
ルカト存ジマスガ、米穀對策調査會ノ答申
デス、政府ガ非常ニ重キヲ置カレタ米穀
對策調査會ノ答申ニハ、最後ニ附帶決
議ト云フモノガ附イテ居ル、其最後ノ
附帶決議ハ、是ハ讀ムマデモアリマセヌ
ガ「政府ハ米穀統制ニ關スル法律改正案實
施ノ結果米穀取引所ノ機能ニ及ボス影響ニ
付十分ナル考察ヲ遂ゲ適當ナル方策ヲ講ゼ
ラレンコトヲ望ム」ト云フ希望決議デス、
此決議ハ政府ハドウ云フ風ニ解釋ヲシテ居
ラレカ、是ハ政府ガ附ケタ希望決議デヤ
ナイ、米穀對策調査會ガ附ケタ決議デスガ、
是ハドウ云フ風ニ御取リニナッテ居リマス
カ、米穀統制法ニ依ッテ米穀ノ取引所ガ非
常ナ打撃ヲ受ケ、是亦本案ト米商ノ關係ノ
如クニ、米穀統制法ニ依ッテ取引所及取引員
ト云フモノハ、殆ド存在ヲ失ハントシテ居
ル、瀕死ノ狀態ニ居ルノデス、此事ハ能ク
御承知ダラウト思ヒマスガ、此希望決議ハ
今ハ瀕死ノ狀態ニ居ッテモ、瀕死ダケデハ
イカス、死ンデシマヒ、倒レテシマッテ、取引

所ガ無クナリ、取引員ガ無クナツテ、愈々食
ヘヌデ廢業シテシマハナケレバ、適當ナル
方策ヲ考慮スル必要ガナイト言フノカ、ソ
レトモ既ニ今日ノ如ク瀕死ノ状態ニアレ
バ、今ニ於テ尙ホ考慮スル餘地ガアルト御
考ニナツテ居ルカドウカ、マダ今ノ程度デ
ハ放ツトイテ宜イト御考ニナリマスカ、ソレ
トモ政府ガ非常ニ尊重シテ居ラレル此委員
會ノ希望決議ノ、取引所ノ機能ニ及ボス影
響ニ付テハ、現在ノ状態ニ於テ既ニ十分考
慮シテ居ルト云フノデアレバ、如何ナルコ
トヲ考ヘ、如何ニセント御考ニナツテ居ルカ
ヲ承リタイ、質問ノ要旨ハ以上デアリマ
ス

（國務大臣山崎達之輔君登壇）

○國務大臣（山崎達之輔君） 板野君ノ御質
問ノ第一點ハ、外地米ノ六割五分ノ統制ニ
依ツテ十分統制ノ目的ヲ達シ得ルカト云フ
點デアリマスカ、此點ハ洵ニ大切ナ點デア
リマシテ、政府ト致シマシテモ十分考究ヲ
重ネマシテ結果デアリマスカ、此統制ニ
依ツテ從來内外地ノ關係ニ付テ色々心配ヲ
サレテ居リマシタ點ハ、解決シ得ルモノト
信ジテ居ルデアリマスカ、第二ハ財政ノ負
擔ノ點デアリマシタガ、是モ先程申上ゲマ
シタヤウニ、現在ノ統制法ヲ其儘デ置キマ
スル場合ニ比較致シマシテ、財政ノ負擔ハ
相當ニ輕減シ得ルト信ズルデアリマスカ
ガ、此點ハ事數字ニ互リマスカラ、寧ロ
他ノ機會ニ詳細ニ申上ゲル方ガ宜シイカト
存ジマシテ差控ヘマス、第三ハ農村擁護ト云
フヤウナコトヲ言フケレドモ、小農ニ對シ
テハ却テ高米價ハ惡イデヤナイカ、斯ウ云
フ御疑念デアッタヤウデアリマスカ、此點ハ世
上往々ニシテ言ハレル點デアリマスカ、私
共ハ是等ノ議論ト異ツタ考ヲ有ツテ居ル者デ
アリマス、成程農村ニ於テ或ハ半農半商、
半農半漁、左様ナ方面ニ於テ食糧米ヲ購買
スル者ノ少クナイコトハ其通りデアリマス、

併ナガラ若シ農村ニ於テ米ノ値段ガ相當ノ
程度ヲ維持シ能ハザル場合ニ於テハ、矢張
半農半商、半農半漁、是等ノ諸君ノ收入ノ
上ニモ直チニ大キナ影響ヲ來ス譯デアリマ
スカラ、米ノ値段ガ相當ノ程度ヲ維持ス
ルト云フコトハ、畢竟農村全體ノ爲ニ非常
ニ必要ナルコトデアアル、斯様ニ私共ハ確信
ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、只今板野君
ノ御述ニナリマシタ御心配トハ、異ツタル考
ヲ有ツテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマ
ス、次ハ早場米ノ關係及酒米ノ關係ニ付テ
御問デゴザイマシタガ、成程早場地方ニ
於キマシテハ、他ノ地方ト多少事情ヲ異ニ
スル點ハアリマス、併ナガラ今回ノ法律ノ
目指シテ居リマスル自治統制ノ施行ニ付テ
ハ、何等支障ハナイモノト信ジマス、酒米
ノ關係ハ——統制米ノ割當ノ方法ハ、御承
知ノヤウニ自治的ニ決定スルコト、相成
テ居リマシテ、詳細ハ勅令其他デ施行規則
ヲ定メル譯デアリマス、ノミナラズ其施行
規則ノ運用ハ、地方統制機關其他ノ自治的
決定ニ委セル主義デゴザイマスカラ、只
今板野君ノ御述ニナリマシタヤウナ點ハ、
相當ニ救済シ得ルコトデアリマシテ、大キ
ナ御懸念ハナイト確信ヲ致シマス、ソレカ
ラ此自治管理案ハ、消費者ノ爲ニ非常ニ宜
シクナイ影響ヲ來スモノデハナイカト云フ
御趣意デアッタヤウデアリマシテ、御述ニナ
リマシタ御言葉ノ中ニ、甚ダ申上ゲ惡イコト
デハアリマスカ、此法案ノ建前ニ付テ——尤
モ昨日提案致シタバカリデアリマスカ、
御無理モナイトハ御察シ致シマスケレド
モ、今少シク御考ヲ願ヒタイト思フ點ガ非
常ニ多イノデアリマス、即チ今回ノ統制機
關、之ヲ新米屋ト云フ御言葉ヲ御發シナ
リマシタガ、此觀念ガ非常ナル誤解デアリ
マス、此組合ハ所謂過剩米ヲ統制スル機關
デアリマス、此組合ハ消費者ニ對シテ米ヲ
販賣スル機關デハ斷ジテゴザイマセス、私

ガ消費者ノ爲ニモ或ハ有利デアラウト申シ
マシタコトハ、決シテ世間ノ一部ニ、此案
ニ對スル非難トシテ言ハレテ居リマスルヤ
ウナ、中間機關ヲ排除スルナド、云フ考ハ
毛頭ナイノデアリマス、此點ハ先程申上ゲマ
シタヤウニ、私ハ配給機關ト生産者團體ト
ノ協調ノ爲ニ、相當ノ考慮ヲ拂ヒタイトコソ
考ヘレ、決シテ中間機關ヲ排除スルハ、或ハ
配給機關ヲ云々ト云フヤウナ思想ハ、此法
案ノ何處ニモ包藏セラレテ居ラナイト云フ
コトヲ、先ヅ御理解ヲ願ハナケレバナリマ
セヌ、私ガ消費者ノ爲ニモ有利デアラウト
申シマシタコトハ、現在ノ米穀統制法ノ儘
デアレバ、最高價格ニ達スルマデ、政府ハ
一依ノ米モ賣出スコトハ出來マセヌ、即チ
政府ニハ澤山ノ所有米ガアルニ拘ラズ、民
間ニハ有リガスレノ状態ヲ生ズルヤウナコ
トモアルガ、今回ノ自治管理ニ依ツテ米ノ
自然調節ノ途モ開キ得ル譯デアリマスカ
ラ、其點ハ現在ノ制度其儘ヨリモ遙ニ消費
者ノ爲ニ有利デアアル、斯様ニ申上ゲタ譯デ
アリマスカラ、ドウカ法ノ精神ヲ十分ニ御
諒解ヲ乞ヒタイト思フノデアリマス、更ニ
組合ノ機能ニ付テ御質問デアリマシタ
ガ、是モ法案ニ書イテアリマスカラ、過
剩米ノ統制ダケノ關係デアリマス、第四條
ノ第四號ノ如キハ、或ハ倉庫等ノ管理ノコ
トニ付テバデアリマシテ、統制組合ガ米ノ小
賣ヲスルナド、云フコトハ、是ハ毛頭考
慮ニ入ツテ居ラザルコトデアリマス、是ハ前
前カラ私ノ申上ゲマス趣旨ニ依ツテ十分御
了解ヲ願ヒタイコトデアリマシテ、此法案
ガ米屋存在ノ餘地ナカラシムルト云フヤウ
ナコトハ、是非非常ナル誇大ニ考ヘラレマ
シタコトデアアルカ、或ハ非常ナル杞憂ト申
上ゲルノ外ハゴザイマセヌ、ソレカラ取引
所ノ關係デアリマスカ、此點ニ付キマシ
テハ、米穀對策調査會ニ於テ、只今板野君
ノ御述ニナリマシタヤウナ附帶決議ガアリ

マス、其附帶決議ハ、此法案實施ノ結果、
取引所ノ機能ニ及ボス影響ニ付テ十分考察
ヲ加ヘテ、然ル後ニ適當ナル方策ヲ立テロ
ト云フ趣意デアリマシテ、政府ハ調査會ノ
附帶決議ノ趣旨ヲ十分尊重致ス考デ居リ
マス、以上御答申上ゲマス（拍手）

○板野友造君 簡單デスカラ、自席カラノ
發言ヲ御許シ願ヒマス

○議長（濱田國松君） 簡單ナレバ許可致シ
マス

○板野友造君 我ハ更ニ之ヲ繰返シテ御尋
致サウトハ思ヒマセヌガ、今日ノ實際ハ、
産業組合ガ事實ニ於テ精白所ヲ有チ、サウ
シテ米屋ト競争的ニ米ヲ賣ツテ居ル事實ガ
アル、産業組合ニ其事實ガアル（其通り）
ト呼フ者アリ）ソレデアリマスカラ、更ニ
此産業組合ニ法律上強大ナル力ヲ與ヘルナ
ラバ、一層是ガ強クナツテ、更ニ進出スルコ
トニナリ、是ハ米商ヲ脅威スルコトニナ
ル（拍手）規則デアリカナイ、實際ニサウ
ナツテ居ルカラ私ガ申シタノデスカ、只今ノ
農林大臣ノ御答辯ダケデハ、總テノ點ニ於
テ私ハ了解ガ出來ナイ、政府ニ於テハ斯ク
斯クニ見ルトスルナラバ、何故ニサウ云フ
ヤウナ結論ヲ生ズルカノ理由ヲ承リタイト
言ツテモ、多クノ部分ハ略サレテ居ルノデア
ル、併ナガラ此處デソレヲ更ニ御尋スルコ
トハ如何カト存ジマスカラ、私ハ適當ナル
機會ニ讓リタイト思フ、唯、今日ニ於テモ
當然爲スベカラザル事ヲシテ居ルノデア
ルカラ、是ガ法律上更ニ強化スレバ、恐ルベ
キモノダト云フコトヲ、御考慮ノ中ニ御入
レ下サルヤウニ願ヒタイ、此言葉ヲ殘シテ
私ノ質問ヲ打切りマス

○議長（濱田國松君） 質疑ノ通告者、村松
久義君

（村松久義君登壇）

○村松久義君 只今上程ノ米穀三案ニ關シ
マシテ、農林大臣ニ御伺フ致シタイノデア

リマス、先づ本自治管理案制定ノ根本目的及指導精神ヲ明ニ致シタイト思ヒマス、本案ヲ通讀致シテ見マスルニ、全國のニ生産者ノ團體デアリマスル組合網ヲ布キマシテ、政府ノ指導監督ノ下ニ過剰米ヲ統制シ、進ンデ米穀ノ販賣ニ付キマシテモ、平均賣リノ途ヲ講ゼントスルカノヤウデアリマス、斯ノ如クシテ企圖致シマスル目的ハ、國家ノ負擔ヲ輕減シ、外地米ノ統制ニ一歩ヲ進メ、一面生産者ノ利益ヲ保護スルト同時ニ、他面消費者ノ利益ヲ害セザル範圍ニ於テ、價格ノ安定ヲ期セントスルノデアリマス、洵ニ八方美人式ノ法案デアルト言ハザルヲ得ヌノデアリマス、凡ソ今日ノ經濟組織ノ下ニ於テ、流通過程ニ於ケル或人ノ利益ハ、必ズヤ他方ニ於テ犧牲ヲ支拂ハセラル、者ノアリマスルコトハ、必然デアリマス

(議長退席、副議長著席)

而シテ本法ニ依リマス組合ガ、國家ノ管理ノ下ニアラウトモ、組合ノ自治的管理ノ下ニアリマセウトモ、商人トシテ流通過程ニ營マレマス以上ハ、組合ニ利益アレバ、生産者ニ利益アレバ、必ズ他方面ニ犧牲ヲ強ヒズニ置カナイ筈デアリマス、更ニ思ヒマスルニ、全體トシテノ生産者又ハ組合ガ、販賣ニ依ツテ金錢的ノ利益ノ増大ヲ得マスニハ、經濟上ノ變動ガナイト假定致シマスルナラバ、第一ハ國家ノ助成ニ依ツテ、國家ノ損失ニ終ルカ、第二ハ價格ノ騰貴ニ依ツテ消費者ノ犧牲ヲ求メルカ、第三ハ中間商人ノ利潤排斥ヲ企テマシテ、從來中間商人ノ獲得致シテ居リマシタル利潤ヲ己ガ手ニ收メルカ、此三ツノ中一ヲ出デナイト考ヘル者デアリマス(拍手)私見ニ依リマスレバ、元來販賣購買ノ共同組合ノ利益ト云フモノハ、配給機關ノ合理化ニ依リマシテ、中間商人ノ利潤ヲ己ガ手ニ收メル働キニ過ギナイト私ハ考ヘテ居リマスガ、若シ本法制度

ノ目的ガ國家負擔ノ輕減ニアリ、且ツ消費者ノ利益ヲ是レ以上ニ害スル譯ニハ行カナイ、農林大臣ノ説明ニ依レバ、却テ消費者ノ利益ヲ加ヘルノデアルト申シマスルガ、左様ナモノデアリマスル以上、全體トシテ生産者ニ與ヘマス所ノ利益ハ、此中間商人ノ利益ヲ排除スルコトニ依ツテノミ可能デアルト言ハザルヲ得ヌノデアリマス、茲ニ今日ノ米穀業者ノ憂トスル所ガアルト信ジマス(拍手)然ルニ米穀局ノ發表致シテ居リマス本年一月二十二日ノ説明書ニ依リマスレバ「米穀販賣組合ガ其ノ事業ヲ代行スル場合デモ、米穀統制組合ノ行フ仕事ノ範圍ニ過ギナイノ販賣組合ノ機能ガ從來ニ比シテ別段擴充スルモノデハナイ、隨テ米穀自治的管理案ニ反對スル者ノ杞憂スルガ如キコトハナイノデアアル」ト説明ヲ致シテ居ルノデアリマス、如何ニモ中間商人ノ排除ガ行ハレナイヤウナ口吻ヲ漏シ、現ニ農相モ、此處ニ於テ言明ヲ致シテ居リマスルガ、若シ是ガ眞デアルト致シマスルナラバ、全體トシテノ生産者ニ對シテ、利益ヲ與フベキ筈ガナイト考ヘルノデアリマス(拍手)果シテ農相ハ本法ニ依ツテ、消費者ニハ利益ヲ與ヘマスル、中間商人ハ排除致シマセヌ、而シテ農民ニ對シテモ利益ヲ與フルモノデアルト、言明シ得ルコトガ出來ルノデアアルカ、或ハ左様ナルガ故ニ、全體トシテノ生産者ニ對シテ利益ヲ與フルモノデハナイノデアルト、勇敢ニ説明シ得ルノデアアルカドウカ、又他ノ項ニ依リマスレバ「加之米價ガ一定ノ程度以上ニ騰貴シタ際ニハ貯藏米ハ解除セラレテ自由ニ賣却其ノ他ノ處分ヲ認メラル、コトニナルノデ却テ利益ヲ得ルノデアアル」ト説明ヲ致シテ居リマス、明瞭ニ生産者ガ賣却ニ依ツテ利益ヲ擧ゲ得ルコトヲ主張致シテ居ルノデアリマス、一體此生産者ノ利益ト云フモノ、源泉ハ、何處ニア

アルカ、或ハ業者排斥ノ利潤カ、ソレトモ國庫ノ負擔デアルカ、或ハ更ニ突込シテ考ヘマスルナラバ、生産者ノ内部關係ニ於ケル分配ノ變更ニ其源泉ヲ求メテ宜シイノデアルカ、巷間傳フル所ニ依リマスレバ、高米價政策ノ徹底ニ依リマシテ、消費階級ヲ犧牲ニスルニ至ルデアラウ、消費階級ヲ脅スニ至ルデアラウト云ハレテ居ルノデアリマス、凡ソ一ツノ制度ノ改革、政策ノ變更ハ、一部ノ犧牲ヲ生ジマスルコトハ、蓋シ必然デアリマスルガ、本法ニ於キマシテハ、政府ハ漫然ト八方美人式ノ辯解ニ終始スルガ如キ態度デハ、遂ニ何人ヲモ満足セシメ得ナイデアラウト思フノデアリマス(拍手)須ク政府ハ一大勇猛心ヲ以テ、本法ハ結局ニ於テ何人ヲ利益シ、何人ヲ犧牲ニ供スルノデアアルカト云フ、其見透シニ付テ表明スル所ノ責任ガアルト思フノデアリマス(拍手)先づ此點ヲ明ニシテ貰ヒタイノデアリマス

次ニ政府ハ米價ノ安定ヲ期スルト言フモ、他面ニ於テ統制スルノハ、單ニ過剰米ニ過ギナイト云フ、又組合ノ業務ノ擴張ハ全然ナイト言フ、斯ノ如クシテ果シテ價格ノ安定ヲ期スルコトガ出來ルカドウカ、言フ迄モナク價格ノ支配ハ、一ニ供給量ヲドノ程度マデ支配シ得ルカニ繫ツテ存シテ居リマシテ、眞ニ價格ノ支配權ヲ得テ、是ガ安定ヲ期セント欲スルナラバ、今日ノ組合業務ヲ大擴張ヲシナケレバナリマスマイ、又ソレニ依テ供給ノ數量ノ大部分ヲ支配シナケレバナラヌノデアリマシテ、更ニ之ニ加フルニ政府ノ公益上ノ監督權ヲ強制實效アラシムル如クニ、之ヲ把握シナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ政府ハ或ハ組合ノ業務ヲ擴張セズト云ヒ、或ハ相當値上リニ依ツテ貯藏米ヲ解除致シマスルナラバ、生産者ハ恐ラク直チニ賣リ應ズルデアラウト云フガ如キコトヲ、期待致シテ居ルノデア

リマス、然ルニ本法ニ依リマスレバ、貯藏解除ヲ受ケルコトモ、受ケザルコトモ、是ハ生産者ノ自由デアリマス、解除ヲ受ケタル後ト雖モ、若シ將來ニ於テ價格騰貴ノ見込ガアリマスルナラバ、賣惜ミヲ致シテ居リマシテモ、法文上何等差支ガナイノデアリマス、何等他ノ條文ニ於ケルガ如ク強制ガナイ、罰則ヲ以テ之ヲ強制致シテ居リマセヌカラシテ、其點ヲ併セ考ヘテ參リマスルナラバ、果シテ本法ニ依ツテ政府ハ、政府ノ期待シテ居ルヤウナ、所謂相當價格ヲ現出シ、此點ニ價格ヲ安定セシムルコトガ出來ルカドウカニ關シマシテ、疑ナキヲ得ナイノデアリマス、此點ノ所信ヲ伺ヒタイト思ヒマス

次ニ本法制定ノ指導精神ニ關シテ伺ヒタイノデアリマス、凡ソ組合ノ指導精神ハ、自由ト自治ニ在ルコトハ言フヲ俟タナイノデアリマス、此精神ハ組合ニ對スル任意加入ト、組合員各個ガ平等ナル一票ツツノ表決權ヲ有シテ居ルコトニ表現セラレテ居ルノデアリマス、若シ強制加入ノ組合ガアルト致シマスルナラバ、ソレハ本來ノ意味ノ組合デアリマスル性質ヲ失ツテシマヒマシテ、恰モ「ソヴィエト」露西亞ニ於ケル物資配給ノ消費組合、フアッシスト伊太利ニ於ケル共同組合ノ如クニ、自由主義的私利權ガ極端ニ制限セラレテ、初メテ出現致シテ居ルノデアリマス、本法ニ於キマシテハ強制加入ヲ認メル、強制徵收ヲ認メル、而シテ此二ツノモノニ對シ、政府ノ指導監督ノ強化ヲ期待致シテ居ルノデアリマシテ、其範圍ニ於キマシテ、組合精神ノ自治ト自由ハ遂ニ失ハレマシテ、一種ノ行政機關ト變テシマハザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)勢ノ進ミマスル所、自治ノ姿ハ完全ニ打消サレテシマヒマシテ、總テハ完全ナル官僚ノ機關トナリ、更ニ進ンデ參リマシテハ、國家資本主義的ナ「トラス」ニマデ至ル可能性

ヲ有テ居ルノデアリマス(拍手)私ハ國家資本主義的ナ「トラス」ト是非ヲ、今此壇上ヨリ論ゼントスル者デハアリマセウガ、少クトモ是ハ組合ノ精神ニ關シマシテ、重大ナル變革ヲ意味シテ居ルノデアリマス、此組合機構ノ大變革ニ際シマシテ、確タル前途ノ見透シモナク、信念モナク、唯漫然トシテ組合精神ノ大變革ニ入り込シテ參リマスナラバ、其影響スル所亦重大デアルト考フルノデアリマス(拍手)見透シモナク、信念モナキ人々ニ依ッテ齎サル、改革程危險ナルモノハアリマセウ(ヒヤ)「拍手」米穀業者ノ反對ニ遭遇致シマシテハ、君達ニハ何ノ影響モナイノデアルト逃ゲマスルヤウナ其態度ニ對シマシテ、私ハ其見透シニ對シマシテ疑ハザルヲ得ヌノデアリマス(拍手)若シ本法ガ米穀業者ノ利益排除ニ依ッテ、生産、消費兩方面ニ對シテ利益ヲ附加スルモノデアラナラバ、何ガ故ニ堂々トソレヲ聲明シナイノデアリマス(拍手)徒ニ右顧左眈致シマシテ、粉飾ヲ事トスルヤウナコトガアリマスナラバ、世人ガ見透シト信念ニ對シマシテ疑ヲ懷クデアラウト思フ(拍手)此際政府ハ組合ノ指導精神ニ關シマシテ、忌憚ナキ所信ヲ發表セラレンコトヲ希望スルノデアリマス

次ニ國家負擔ノ輕減問題デアリマスガ、同僚諸君ヨリ既ニ此問題ハ論ゼラレテ居リマス、私モ同僚諸君ト同様ニ、國家負擔ヲ果シテ輕減スルカドウカ、非常ナル疑ヲ有タザルヲ得ヌノデアリマスガ、殊ニ是ガ生産統制ト關聯シテ考ヘテ參リマスル場合ニハ、其變大ナラシメザルヲ得ナイノデアリマス、先程農林大臣モ説明セラレテ居リマシタガ、此生産統制ノ問題ハ、米穀政策トハ密接ナル關係ヲ有シテ居ルノデアリマス、六十五議會ニ於テモ、特ニ此點ハ強調セラレタノデアリマス、又對策調査會ニ於キマシテモ、重要ナル答申トシテ現レテ

居ルノデアリマス、左様ナル重要ナル問題ニ對シマシテ、自分ハ必要ト思フガ、徹底的案ヲ得ラレナイノデアル、今後引續イテ調査ヲ致シマセウト云フダケデハ、果シテ國家負擔ノ輕減ハ出來ルノデアルト言明セラレマスルコトニ對シテ、十分ナル説明デアアルカドウカ、私ハ疑ハザルヲ得ヌノデアリマス、若シ政府ニ於キマシテ本自治管理案ノ實施ニ依ッテ、組合ガ自動的ニ、或ハ自發的ニ、生産統制ニマデ入ッテ行クデアラウト考ヘマスルナラバ、ソレハ大ナル誤解デアルト言ハナケレバナラヌノデアリマス、政府ノ確信致シマスル如クニ、本案ノ實施ニ依ッテ價格ノ安定ヲ得ルカ、或ハ一部世人ノ恐レテ居リマスルヤウニ、價格ノ騰貴ヲ恒常的ニ齎スモノデアルト致シマスルナラバ、其處ニハ必然ノ勢トシテ、生産増大ノ傾向ヲ助長スルハ疑ハザルヲ得ヌノデアリマス、斯クノ如ク致シマシテ生産ニ拍車ヲ加ヘ、益、國費ヲ増大スル、他面組合ノ維持ヲ困難ナラシムルコトガアリマスナラバ、此法案ノ前途モコ、暫ノ中ニ於テ拋棄シナケレバナラス事態ニ立至ルト思フノデアリマス、引續キ調査致シマスルコト云フノデアリマス、知ガ出來ナイ、寧ロ今日何故ニ提案シナカッタカ、此點ニ關シマシテ、モウ少シ明瞭ナル御答辯ヲ煩ハシタイト考ヘルノデアリマス、其次ニ私ハ、本法ハ國家ノ負擔ヲ組合又ハ生産者ニ轉嫁スル、又ハ組合ノ維持經營ヲ困難ナラシムルヤウナ處ガアルノデアリナカト考ヘテ居ル一人デゴザイマス(拍手)先ヅ其點ヲ明瞭ニ致シマスル爲ニ、過剩米統制ニ要シマスル組合ノ經常費、臨時費ナドヲ、組合ハドウシテ之ヲ捻出スルカ、ドウシテ之ヲ支辨スルカニ付テ問題ガアルト思ヒマス、組合及ビ各聯合會ニ於ケル倉庫、事務所ノ新増築ヲ含ミマスル所ノ創業費、並ニ經常費ニ屬シマスル所ノ建物銷却費、金利、人件費及雜費ト云フモノハ、相當ニ多

額ニ上ルノデアリマスルガ、之ヲ總テ國家ノ負擔ニ於テ爲スコトハ不可能デアリマス、補助ヲ爲スコト致シマシテモ、尙ホ一組合又ハ一聯合會ノ平均ハ相當ノ多額ニ上リマスルコトハ爭ヒ得ナイ事實デアルト思フ、之ヲ賄ヒマスル爲ノ助成セラレマスル保管料、之ニ依ッテ賄ヒ得ザルコトハ、私當然ト思ヒマスルガ故ニ、本法ニ於テ組合員ニ對スル經費ノ分賦ヲスル、過意金ヲ徵收スル、而モ是等ノ徵收ノ方法ハ、市町村稅ノ如ク強制徵收ヲスルト云フノデアリマスルガ、斯様ニシテ尙ホ足りナイヤウナ場合モアルダラウシ、又此徵收ヲ免レンガ爲ニ、ドウシテモ販賣手續料ノ收入ヲ擧ゲナケレバナラヌノデアリマス、茲ニ農林大臣ハ本組合、或ハ其他ノモノハ單ナル過剩米ノ統制デアッテ、販賣ニマデ乗出スモノデハナイトシテ否定セラレマスケレドモ、勢ヒ統制米ノ販賣及ビ一般米ノ販賣ニマデ事業ヲ擴張致シマシテ、其利益ヲ財源トシテ、經常費其他ノモノヲ賄フデアラウコトヲ、豫測セラレル根據デアアルノデアリマス、此販賣戰ニ於キマシテ、曾テ政府ノ強力ナル所ノ金力ト權力トヲ以テ、尙且ツ損失ヲ來シマシタ所ノ實例ニ鑑ミマシテ、假令強力ニ統制セラレルトハ言ヘ、組合ノ統制力ヲ以チマシテハ、常ニ必シモ利益ヲ擧グルモノト言フコトガ出來ヌノデアリマス、生産過剩ガ連續ヲスル、一般不景氣ガ繼續ヲスル、斯様ナ場合ニ於テ、損失ナクシテ販賣ヲナシ得ザルコトハ明瞭デアリマシテ、遂ニ組合ノ經營困難ヲ惹起スルト云フコト、固ヨリ必然デアアルノデアリマス、法文ノ何處ヲ見マシテモ、斯様ナ場合ニ於テ國家ノ損失補償ノ規定ガ存シナイノデアリマスルガ、即チ政府ハ組合ニ對シマシテ、米穀ノ貯藏ヲ強制致シテ居リマス、間接ナル強制ニ依ッテ生ジテ參リマスル此損害ニ對シマシテハ、其責ニ任ジナケレバナラヌノデアアルニ拘ラ

ズ、ソレガ原則デアアルニ拘ラズ、何等顧ミル所ガナイト致シマスルナラバ、組合ハ其損失ヲ必然的ニ組合員ニ轉嫁スルニ至ルノデアリマセウ、斯ノ如ク致シマシテ、國家ノ損失ヲ組合又ハ生産者ニ轉嫁セラレル、處ガアルト言ハレマシテモ、蓋シ當然ノ事デアルト思フノデアリマス(拍手)更ニ本法ノ實施ニ依リマシテ、結局今日睡眠組合ト言ハレ、或ハ開店休業組合ト言ハレテ居リマスル、多數ノ業務不良ノ組合ニ至リマスルマデ業務ヲ再開セシムル、或ハ擴張セシムルノ結果トナルコトハ明瞭デアリマスルガ、ソレダケニ失敗ノ機會モ繁クナルモノト考ヘルノデアリマス、之ニ對シマシテ政府ハ固ヨリ公益上ノ監督指導ニ於キマシテ、十分ノ自信ヲ有シテ居ラル、トハ信ジマスルガ、單ニ中央ニ在リマシテ、机上ヨリ高價ナル平均賣ヲ指令シ、或ハ公益上必要ナル監督トカヲ爲スノミデハ、結局單ナル指導監督ノ掛聲ニ終ルノデハナカラウカ、吾々ノ憂ヘマスル所ハ、何故業務不良トナツタノデアアルカ、其根本ヲ究メマシテ、其業務ニ堪ヘ得ルヤ否ヤヲ確メザル、事茲ニ出デズシテ、漫然トシテ自治統制ノ重要ナル任務ヲ負ハシムルガ如キコトガアリマスルナラバ、其生産者ニ對スル不利益ハ、決シテ輕々ニ看過スベキデナイト信ジマスルガ、生産者ノ組合ヲ以テ組織ヲ強化致シマシテ、之ニ價格決定權ヲ與ヘルト云フコトハ、今日ノ農村ノ實情ニ即スル限り、私ハ理論的ニ正シイト思ヒマス、何處マデモ左様デアアルベキト思ヒマスルケレドモ、眞ニ所期スル所ノ目的ヲ達成致シマスル爲ニハ、ドウシテモ現存ノ組合ノ有ツテ居リマスル、有ユル缺點ヲ除去シナケレバナラヌノデアリマス、目的達成ノ爲ニ其組合ヲ再整備シナケレバナラヌノデアリマス、茲ニ至ラズシテ、漫然トシテ自治統制ヲ委セルヤウナコトガアリマスルナラバ、決シテ組合統制ニ關スル萬

全ヲ期シタト云フ譯ニハ參リナイノデアリマス、ソコデ私ハ世人ノ申シマスル如クニ、斯様ニシテ何デモ彼デモ統制サセルガ爲ニ本法ガ出來タノデアルトノ、一部ノ非難モアリマスルガ、國家ハ自己ノ損失ヲ免カルルコトニ急ニ致シマシテ、生産者ニ利益ヲ與フルヤウナ場合ニ對シテ、目ヲ掩ウテ居ルト云フコトノ非難モアルノデアリマス、私ハ是ニ於テ御尋ヲ致シタイ、第一ニ本法案ノ實施ニ依リマシテ、國家負擔ヲ組合ニ轉嫁スルノ虞ナキカ、第二ニ法律ノ強制ニ依ツテ生ジタル組合ノ損失負擔ハ、國家ニ於テ如何ナル方法ヲ講ゼントスルノデアルカ、第三ニ組合ノ内容ヲ如何ニ再整備シ、統制ニ遺憾ナキヲ期シテ居ルカ、現在ノ組合其儘ヲ以テ統制ノ目的達成ニ遺憾ナシト認ムルカドウカラ同ヒタイノデアリマス

次ニ貧農大衆ノ販賣米收入ニ關スル政府ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、言フ迄モナク米穀出廻期デアリマスル十一月、十二月、一月、此三箇月間ニ賣却セラレマスル米穀數量ハ、一年ノ總販賣高ノ四割五分ニ上ツテ居リマス、或人ハ之ヲ五割二分ト計算致シテ居リマス、斯様ニ高率ニ上ツテ居ルノデアリマス、是等ハ多ク貧農階級ノ經濟疲弊ニ因リマス、換金急ギヨリ參ルモノデアアルコトハ言フマデモナイノデアリマス、是等ノ出廻期米ニ對シマシテ、今日迄米穀法ハ遂ニ無力ヲ暴露致シテ參ッテ居ルノデアリマス、而シテ更ニ六月ヨリ端境期ニ至リマスル間、高米價ニ苦シメタノモ、是等ノ貧農大衆デアッタノデアリマス、斯ノ加ク致シマシテ、從來ノ米穀法ハ何人ヲ最モ多ク救ヒ、何人ヲ最モ多ク苦シメタカノ再檢討ガ叫バ、ニ至ッタノデアリマス、實際統計ニ就テ申上ゲマスレバ、昨年ハ小作階級、小農階級ノ販賣期間トモ云フベキ、此十一月ヨリ一月ニ掛ケマシテ、殆ド最低價格ヲ下廻ッテ居ッタノデアリマス、政府ハ盛ニ買上ニ奔走

致シマシテ、努力ハ致シマシタケレドモ、此三箇月ト云フモノハ、常ニ價格ガ殆ド最低價格ヲ割ッテ居ッタノデアリマス、漸ク小農ガ賣盡シテシマヒマシタル四月頃カラ、米價ハ漸次騰貴ヲ續ケマシテ、今日ニ至ッテ居ルノデアリマス、即チ米價ハ統制法ニ依ッテ最低價格ヲ保障スルト云フ、其形ダケデ維持セラル、モノデハナクシテ、小農ガ賣盡シテシマッタト云フ、事實其モノニ依ッテ保障セラル、ノデアリマス、初メテ斯様ニシテ一般ノ市場米價ガ騰リ、市場米價ガ維持セラレ、昂騰ヲ續ケルヤウナ次第ニナルノデアリマシテ、事實ニ於キマシテ米價騰貴ニ向ヒマスルマデハ、高知、千葉、岩手、或ハ大分ニ至リマスルマデ、庭先相場ハ最低價格ヨリ一圓乃至二圓、是ダケ下廻ッテ居ッタト云フコトニ依ッテモ明瞭デアアルノデアリマス、政府ハ少クトモ統制法ノ改正ニ當リマシテハ、此小農ノ販賣期間デアル所ノ出廻期ニ於テ、殆ド最低價格ヲ下廻リ、賣盡シテカラ後ニ初メテ米價ガ騰ッテ來テ居ルト云フ、此事實ニ對シマシテ、最大ノ注意ヲ致スペキデアッタト思フノデアリマス(拍手)

又米穀自治管理法案ノ制定ニ當リマシテモ、低利資金其他ヲ供給シテ、過剩米ノ強制貯藏ヲ圖リマシテモ、モトノ窮迫ノ小農ニ於テハ、依然出廻期ノ換金ヲ急ギマスルコトハ想像ニ餘ル所デアリマシテ、過剩米トシテ統制セラレマスル其米ノ殘米、其米ノ殘米ノ出廻ニ對シマシテ、ドウシテ最低價格ヲ保障シタラバ宜シイカ、此點ニ關シテ最大ノ注意ガ拂ハルベキデアッタト思フノデアリマス、成程統制法ノ改正ニ於テハ、幾分此點ニ觸レテ居ルノデアリマス、最低價格ノ決定ニ付テ、出廻期間中ハ金利息敷料ヲ加算スル、併ナガラ逼迫セル小農ニ於テハ、出廻期間ノ經過ヲ待チ得ナイノデアリマス、多少餘裕ノアリマスル生産者ヲ、之ニ依ッテ救ヒ得ルコトガアリト致シマシテモ、到底貧農ノ換金急ギニ對シマシテハ、防止シ

得ザルノ結果ニ立至ルノデアリマス、事實ニ於テ庭先相場ノ低イ地方程、窮乏ノ程度ハ激シク、是等ノ地方ノ小農ニハ、二重ノ損失トナッテ居ルノデアリマスルガ、洵ニ總販賣高ノ四割五分ノ、出廻期ノ大部分ト云フモノハ、是等貧農ノ窮乏、逼迫ノ姿其モノデアアルノデアリマシテ、統制法改正ニ依ッテ、或ハ自治管理法案ノ創設ニ當ッテ、モウ一步突進シタル所ノ對策ガ講ゼラレナケレバナラヌノデアリマス、依然トシテ不利益ノ販賣ヲ強制セラル、是等ノ貧農大衆ノ立場ヲ思ヒマスル時ニ、政府ハ何ヲ目標ニ改正ヲシテ居ルノデアアルカ、何人ノ利益ノ爲ニ自治管理法ヲ制定シタノデアアルカ、其意思ヲ疑ハザルヲ得ヌノデアリマス、殊ニ東北其他ノ早場米、或ハ軟質米ニ至リマシテハ、此早場米ガ本自治管理法案ヨリ除外セラル、ト否トニ依ッテ、結論ハ變ラナイト思ヒマスルガ、不利益ヲ與ヘテ居ル、即チ自治管理法案ニ依リマシテ、過剩米ノ推算セラレマスルノハ十一月朔日現在デアリマス、其推算ノ確定致シマスルハ十一月月中旬トナル、統制ノ發動致シマスルハ十一月ノ末トナリマシテ、統制ノ完了致シマスルハ、恐ラク年末ニマデ掛ルノデハナイカト思ハレル、斯ノ如キ場合ニ於テ、其以前既ニ十月十一月中ニ早場米ハ、換金セラレマスル小農ニ於テ、特ニ甚シキモノガアルノデアリマスルガ、此場合ニ於キマシテ、統制ノ恩惠アルナラバ、其恩惠ヲ受クルコトノ出來ナイノガ此小農デアアル、ト同時ニ假リ恩惠ヲ受クルコトアリト致シマシテモ、統制米ガ完了スル、過剩米統制ガ完了シテ、初メテ値段ガ上ツテ來ルト云フノデアリマスルナラバ、是等ノ早場米地方ノ人々、小農ハ、依然トシテ何等ノ考慮ヲ加ヘラレナイ結果ニナッテ居ルノデアリマス、是等ノ統制ニ依ッテ値上リスルコトヲ待チ得ナイ貧農ノ換金急ギニ對シマシテ、政府ハ如何ナル考慮

ヲ當法案中ニ加ヘタノデアアルカ、或ハ更ニ加ヘントスルノデアアルカラバ、明瞭ニセラレンコトヲ望ム次第デアリマス

次ニ私ハ統制米ノ割當ノ標準ト平均賣ノ方針ニ付テ伺ッテ見タイノデアリマス、此處デ私ハ第一ニ指摘シタイト思ヒマスルノハ、内地ノ管外移出米ト外地ノ移出米トノ間ニハ、性質上非常ナル相違ガアルト云フ點デアリマス、等シク管外移出米トハ言ウテ居リマスルケレドモ、内地ノ移出米ハ必シモ過剩米ヲ意味スルモノデハナイ、之ニ反シマシテ朝鮮臺灣ノ移出米ハ、主トシテ過剩米ヲ意味シテ居ルノデアリマシテ、此二ツノモノハ、決シテ同一ナル性質デアアルト言フ譯ニハ參ラナイノデアリマス、物ヲ比較致シマスル際ニハ、同一ノ物ヲ持ッテ來テ比較スルノデナケレバ、正鵠ナル結果ヲ得ラレナイコトハ言フマデモナイ、然ルニ此違フ性質ヲ有ッテ居リマスル朝鮮臺灣及内地ノ管外移出米ヲ比較致シテ參リマシタル結果トシテ、内地米ニハ全然過剩米ガ存シナイ、然ルニ外地ニ於ケル大豐作ノ結果トシテ、全國的ニ過剩米ガ出來タト云フヤウナ場合ニ於テ、朝鮮臺灣ノ豐作ノ爲ニ、内地ガ統制セラレルト云フ矛盾ヲ生ジテ參ルノデアリマス、或ハ之ヲ内地ニ於テ申シマシテモ、九州地方ニ於テ非常ナル豐作ヲ見タ、然ルニ此豐作ニ對シマシテ、凶作地デアリマスル東北ナドニ於テ、過剩ノ統制ヲ受ケナケレバナラナイト云フ不合理ヲ來サバルヲ得ナイノデアリマス、殊ニ此標準ニナッテ居リマスル増加趨勢デアリマスルガ、増加趨勢ハ過去十年間ノ平均ヲ取ッテ、最小自乘法ニ依ッテ此率ヲ出シテ參ッテ居ルノデアリマスルガ、ソレダケニ此増加趨勢ヲ標準ト致シマスレバ、其年、其地方ノ豐凶ニ關係ナク、統制ヲ強制セラレルモノデアリマス、ソレダケニ矛盾不合理ガ増大スル結果ニナルコト、亦當然ト言ハナケレバナラヌノデアリマ

ス、ノミナラズ米穀要覽ニ依リマスレバ、各府縣別ノ過剩米ト不足米トハ、統計上明瞭ニ相成ツテ居リマス、而モ是等ノ過剩米ヲ管外移出米ト比較致シテ見マスルナラバ、過剩米ト管外移出米トノ間ニハ、數量のニ見マシテモ相當ナル開キヲ持ツテ居ルノデアリマス、即チ過剩米ト管外移出米トノ間ニハ、實ニ性質上ノ相違ガアルノミナラズ、更ニ數量上ニ於テモ相違ノアルコトヲ發見セザルヲ得ナイノデアリマス、本案ハ何故ニ異種類ノ數字ヲ割當標準トシタノデアアルカ、ソレニ依ツテ内地ト外地間、内地府縣間ニ不均衡ヲ生ズル虞ガナキヤ否ヤ、明瞭ニセラレンコトヲ希望致シマス

次ニ東北地方ノヤウナ特殊地方ニ關シマシテ、過剩米統制ト平均賣ノ影響ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、東北地方其他ニ於ケル米ニ關スル特殊性ト言ヘバ、軟質米デアアルコト、屢々凶作ニ見舞ハレマシテ、供給常ニ過不足ヲ著シク致シテ居ル點デアリマス、軟質米ハ言フマデモナク速急ニ之ヲ販賣シナケレバ、今日ハ相當ニ改良ハセラレテ居リマスルケレドモ、變質ニ依ツテ値下リ損ヲ見ナケレバナラヌノデアリマス、加フルニ東北ノ窮乏狀態ハ、一日モ早く販賣換金ノ必要ニ迫ラレテ居リマスル爲ニ、勢ヒ出廻期ニ於ケル米ノ販賣、延テハ管外移出ノ量ガ多カラザルヲ得ナイノデアリマス、更ニ東北地方ハ過剩米ノミナラズ、自己ノ必要ナル飯米ヲサヘモ割イテ賣ツテ居ルノデアリマス、斯様ナ際ニ於テ、東北ガ凶作デアアルニ拘ラズ、全國的豐作ノ爲ニ強制的統制ヲ受クルコトガアリト致シマスルナラバ、其結果ハドウナルデアラウカ、凶作ノ爲ノ品不足ニ加ヘマスルニ、過剩米ノ統制ニ依ツテ、所謂有ガスレ、飯米飢饉ノ狀態ニ對シテ、更ニ一ノ拍車ヲ加ヘルモノデハナイカ、愈々懸念ニ堪ヘナイノデアリマス、平均賣ノ結果ト致シマシテ、又軟質米

ノ性質上損失ヲ生ズルノ虞ナイカドウカ、從來主要消費地デアリマスル東京ナドニ於テハ、出廻期ニ於テモ軟質米ノ特長ガアリマスルガ故ニ、相當ニ販路ヲ見出シテ居タノデアリマス、同時ニソレニ相應スル價格ヲ附セラレテ居タト思ハレマスルガ平均賣ノ結果ト致シマシテ、軟質米ノ變質期ニ入ツタヤウな場合ニ、尙ホ賣ラナケレバナラナイモノデアアルト致シマスルナラバ、却テ平均賣ノ效果ヲ減殺スル、生産者ノ損失亦僅少ナラザルコトヲ思フノデアリマス、即チ本法案ハ東北ノ特殊地方ノ統制割當及ビ平均賣ニ關シテ、如何ナル考慮ヲ拂ツテ居ルモノデアアルカヲ御同致シタイノデアリマス

最後ニ私ハ組合對中間商人ノ問題ヲ伺ヒタイノデアリマス、農林大臣ハ、此法案ニ依リマシテハ何等中間商人ヲ脅威スルモノデハナイト言ハレマシタコトハ、先程私ノ申上ゲタ通りデアリマス、併ナガラ假令左様ニ否認セラレマシテモ、又如何様ニ法文ガ紛飾セラレテ居ルト致シマシテモ、私ハ米穀商人ノ立場ガ漸次窮地ニ陥ツテ行クデアラウト云フコトヲ信ゼザルヲ得ナイノデアリマス、商工大臣ハ先程運用ノ如何ニ依ツテ影響ガアルノデアアルト仰セラレテ居リマスガ、私ハ運用ノ如何デハナイ、本法ノ實施其モノニ依ツテ、必然的ノ結果トシテ米穀商人ノ窮境ヲ現出スルモノデアアルト言ヒタイノデアリマス（拍手）即チ其理由ヲ簡單ニ申上ゲマスルナラバ、第一ニ此法案ノ實施ヲ機會ニ致シマシテ、全國ニ販賣組合ヲ設立ヲ促シ、或ハ既設ノ組合ノ内容充實ヲ促進致シマス、米穀販賣事業ヲ活潑ニ致シマシテ、統制米カラ進デ一般販賣米マデ進デ行キマスルノガ、是ガ當然ノ順序デアアルト私ハ思フ、第二ニハ過去ノ經驗ニ於テ示シテ居リマスル如クニ、米穀統制法運用ノ上ニ於テ、販賣購買組合ガ相當ナル地步ヲ占メ、且ツ有利ナル活動ノ舞臺

ヲ提供セラレタト云フ、此實證のノ結果ヲ認識シテ參リマスナラバ、益々政府ノ助成ノ方針ト相俟ツテ、其地步ヲ進ムルデアラウト、亦疑ヲ容レナイノデアリマス、殊ニ第三ニ於キマシテ、先程ノ農林大臣ノ説明ニ依ツテモ明瞭デアリマスガ、本法ニ依リマシテ中央聯合會、地方聯合會、町村組合及ビ組合員ノ間ニ、上下ノ關係ト命令ノ關係ヲ鞏固ナラシメテ居ルノデアリマス、非常ナル制度ノ變革デアリマス、斯様ニ内容ヲ變更致シマシテ、命令ノ關係ニシ、上下ノ關係ニ致シテ參リマスル結果トシテ、所謂商機ヲ利用シテ活動致シテ居リマスル所ノ商人ノ活動範圍ガ、必然的ニ限縮セラレナケレバナラヌコト當然デアリマス、斯ノ如キ徑路ヲ以チマシテ、米穀商人ノ内、先ヅ產地ノ玄米取扱業者ガ參ツシマフデアリマセウ、漸次都會ノ小賣商人モ一勿論程度ハアリマセウ、限度モアリマセウケレドモ、衰亡ノ運命ヲ迎ツテ參ル、之ニ對シマシテ國家ガ何等ノ考慮ヲ拂フコトナシニ、唯中間業者ニ影響ナシト云フヤウナコトヲ言ツテ、恬然トシテ居ルコト云フコトハ、米穀政策ノアルコトヲ知ツテ、大乗のノ國策アルヲ知ラザルノ態度ト謂ハナケレバナラヌノデアリマス、（拍手）政府ハ其方針ト致シマシテ、農村經濟更生ノ主要ナル方向ヲ、配給機關ノ一大變革ニ求メテ居リマスルコトハ、先程高橋君モ言ハレタ通りデアリマス、現ニ當議會ニ對シマシテ、米、鹽、肥料ノ統制及一般農產物ノ販賣統制ト云フヤウナ、其方向ヲ顯著ニ示シテ居ルノデアリマス、此方向ニ向ヒマシテ、一段々ト進デ行クニ從ヒマシテ、現經濟機構ガ斷然排除セラレマスコト亦當然デアリマス、此反動ニ於キマシテ、曩ニハ肥料商ヲ中心トシテ活動致シテ居リマシタ反產運動ハ、遂ニ今日米穀商ヲ之ニ加入セシメテ居ルノデアリマス、又更ニ攝取業者ヲ加ヘテ行クデアリマセ

ウ、斯ノ如ク致シマシテ、全國ノ中小商業者ヲシテ死者狂ヒノ一團トシテ加ヘテ參リマシタナラバ、國家ノ山々シキ一大事ト謂ハナケレバナラヌノデアリマス（拍手）固ヨリ私ハ產業組合ヲ現狀ヨリ後退セシムルコトニ對シテハ、絶對贊成ヲスル者デアアリマセウケレドモ、今ヤ時勢ヲ見マスルニ、中小商業者問題ヲ解決シナケレバナラナイ其段階ニマデ到達シテ居ルノデアリマス、而モ其解決ノ方法ト致シマシテ、單ナル情ケのノコトデアッテハ絶對ニナラナイト思ヒマス、單ナル救済デアッテハナラナイト思フノデアリマス、幸ニシテ農林大臣ヨリ配給機關ノ關係ハ協調ガ必要デアアル、必要デアアルノミナラズ是ガ可能デアアルト云フコトヲ伺ヒマシテ、安心ヲ致シタノデアリマスシ、商工大臣ヨリハ又商業組合ヲ普及セシムルコト云フ具體的ナル問題ヲ伺ツタノデアリマスケレドモ、私共ハ若シ此儘ニシテ本法案ヲ實施致シマシテ、其實施ノ結果トシテ米穀商人ガ來年ニ於テ、再來年ニ於テ、或ハ其次ノ年ニ於テ滅亡ノドン底ニ至ツテシマヒマシタ時、初メテ斯様ナル救済案ヲ以テ之ニ綱ヲ付ケ引上ゲント致シマシテモ、私ハ不可能ダト思ヒマス、ドウシテモヤリマスルナラバ、單ニ將來ニ於テ研究スルト云フダケデハ十分デナイ、此際ニ於テ具體案ヲ提ゲテ、斯様ニ救済スルノデアアルトノ言明ヲ得ナケレバナラヌト思フノデアリマス（拍手）即チ私ハ單ナル人情ケデアッテハナラナイ、單ナル救済デアッテハナラナイ、現中小商業ヲ、眞ニ時勢ニ適應セシムル所ノ案ヲ以テ、之ヲ解決シナケレバナラナイ時デアアルト信ジテ居ル次第デアリマス、願クバ政府ニ於カレマシテハ、委員會ニ於テ御話スルナド、言ハレズニ、此本會議ニ於テ天下ニ之ヲ表明セラレンコトヲ希望スル次第デアリマス（拍手）以上數點ニ關シマ

シテ率直明瞭ナル答辯ヲ賜ハランコトヲ望ミマシテ終リタイト思ヒマス(拍手)

(國務大臣山崎達之輔君登壇)

○國務大臣(山崎達之輔君) 御答ヲ申上ゲマス、御質問ノ第一點ハ、此案ハ餘リニ四方ハ方ニ氣ヲ配リ過ギテ居ルデヤナイカ、抑、誰ヲ利益シ、誰ヲ犠牲ニシテ居ルノカ、犧牲ニシナケレバ利益ハ擧ゲ得ナイデハナイカ、斯ウ云フ趣意ノ御問デアツカヤウデアリマス、現在ノ米穀統制ノ制度ハ御承知ノヤウニ最低價格ノ維持ニ依リマシテ生産者ノ利益ヲ擁護シ、又最高價格ノ設定ニ依ッテ消費者ノ利益ヲ考慮シテアルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、今回ノ各案ハ、統制法ノ運用ヲシテ破綻ニ瀕セシムルコトナク、内地外地ニ互リマシテ一貫ノ統制ヲ行ウテ、サウシテ統制方策ノ圓滑ヲ期スルト云フノガ精神デアリマス、隨テ何人カ犠牲ニセナケレバ法ノ目的ヲ達シ得ナイト云フガ如キモノデハナイト私ハ考ヘマス、私共ハ經濟ノ問題ニ於テハ相互依存、共存共榮ト考ヘテ居ルノデアリマス、第二點ハ組合精神ニ大變革ヲ來スノデハナイカト云フヤウナ御心配デアツカヤウデゴザイマスガ、今回ノ統制組合ノ制度ハ、御承知ノヤウニ商業組合、工業組合、或ハ同業組合等ト、全ク制度ノ建前ハ同ジウ致シテ居ルノデアリマス、一般ノ産業組合ノ精神ニ付テ何等變革ヲ生ズルモノトハ考ヘテ居ラスノデゴザイマス、第三ハ生産ノ統制ニ付テ何故提案シナイノデアルカ、ソレデハ國家ノ負擔ガ増大スルノデハナイカト云フ御趣意デアリマスガ、生産統制ニ關シマシテハ先刻高橋君ニ御答申上ゲタコトニ依ッテ、御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス、國家ノ負擔ノ輕減トナルト云フコトハ、現在ノ統制法ヲ其儘ニ致シテ置キマス場合ト、今回ノ法案トノ御比較ヲ願ヒマスレバ、直チニ御理解ヲ得ルコ

トデアルト考ヘマス、次ハ國家ノ負擔ヲ組合ニ轉嫁スルモノデハナイカト云フ御趣意デアリマス、先程申上ゲマシタヤウニ、先般ノ議會ニ於テ、米穀政策ニ付テ根本方策ヲ樹立スベシト云フ御一致ノ御決議ノアリマシタ御趣意ハ何處ニアツカ、即チ此儘ニシテ置キバ統制法ノ運用ノ爲ニ、或ハ特別會計ハ行詰マルヤウナコトニナリハセヌカ、内地外地ヲ通ジテ相當ノ統制計畫ヲ立テナケレバナラヌト云フコトガ、大體ノ御精神デアツカト私共ハ拜承シテ居リマス、此精神カラ今回ノ法案ハ出來テ居ル譯デアリマシテ、其意味ニ於テ内地モ外地モ政府モ、互ニ協力致シマシテ、サウシテ統制法ノ運用ノ圓滑ヲ期スルト云フ趣意デアリマシタアリマスカラ、決シテ政府ノ負擔ヲ他人ニ轉嫁スルト云フヤウナ種類ノ考デアリト云フコトノ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス、隨テ次ニ、組合ニ於ケル貯藏米穀ニ對シテ損害賠償云々ト云フ御問モゴザイマシタガ、是モ只今申上ゲマシタ趣旨ニ依リマシテ、要スルニ過剩米穀ノ統制ニ依ッテ、米ノ値段ノ下落ヲ防ギマシテ、サウシテ圓滑ニ最低價格以上ヲ維持シヨウト云フ制度ノ建前デアリマス、即チ其點ニ於テハ生産者ノ利益擁護ガ眼目デアリマス、隨テ貯藏ニ對スル或ハ金利、倉敷ノ助成金、或ハ倉庫建設ノ助成、或ハ米穀資金ノ貸付等ニ付テハ、別途ニ考慮シツ、アル譯デアリマスガ、別ニ損害賠償ト云フヤウナコトヲ考慮致シテ居ラスノデアリマス、組合ノ指導監督ニ付テ御質疑デアリマシタガ、此點ニ付キマシテハ、是マデトモ十分ノ注意ハ致シテ居ルコトハ、思ヒマス、ケレドモ尙ホ足ラザルノ虞ナシトハ申セマセヌ、出來得ル限りノ指導監督ヲ加ヘマス考デアリマス、ソレカラ貧農階級ガ出廻期ニ賣急ギラシテ、其爲ニ端境期ニハ高イ米ヲ買ハナケレバナラナイデヤナイカ、其點ニ付テ考慮ヲ加ヘテ居ラナイデハナイカト云フ

御質疑デアツカヤウデアリマスガ、其點ハ今回ノ案ニ付テ相當ニ考慮ヲ加ヘテアリマスコトハ、案ノ全體ヲ御通覽ヲ願ヒマスレバ明瞭デアラウト存ジマス、即チ統制法ノ改正ニ於テ、最低價格ノ決定ニ、金利或ハ利潤ヲ加算致シマスル點、或ハ出廻期ニ於テ過剩米ヲ統制スルト云フコト、總テ是レ所謂出廻期ニ於テノ賣急ギヲ防イデ、サウシテ端境期ニナツテ、有ガスレ等ノ弊ヲ防グノ方法デアリマシマス、早場米ヲ統制ニ加ヘルカト云フ御趣意デアリマスガ、早場地方モ統制ノ除外ニナラヌコトハ無論デアリマス、唯米ノ性質云々ノ點ハ、寧ロ委員會等ニ於テ政府委員カラ申上ゲルコトニ致シタイト存ジマス、管外移出米ハ、内地外地ニ依ッテ性質上ノ差ガアル、外地ノ爲ニ内地ガ犠牲ニナツテ居ルノデハナイカト云フ御趣意デゴザイマス、此點ハ内地外地ヲ通ジマシテ、公平ニ一貫セル統制方針ヲ立テルト云フコトガ、外地統治ノ上カラモ極メテ大切ナコトデアリマスノデ、非常ナル考慮研究ヲ加ヘマシタ結果、只今提案ノヤウナコトニ相成ツテ居ル譯デアリマス、成程計ノ立テ方ニ依リマシテハ、色々ノ御議論ノアルコトモ御無理デハアリマセヌ、併ナガラ此案ニ於テ考ヘテ居リマスル管外移出米ト云フモノハ、内地デ申シマスレバ、大體ニ於テ府縣單位デ考ヘテ居ル譯デアリマス、左様ナ計算ノ結果、或ハ管外移出數量ノ増加趨勢、又ハ管外移出數量其モノ、或ハ豐凶ノ關係等ヲ考慮ニ加ヘマシテ、内地ト外地トノ統制割當ヲ決定スルト、斯様ニ致シテアル譯デアリマス、東北地方ニ付テノ御心配デゴザイマシタガ、今回ノ案ハ、先刻來段々申上ゲマスルヤウニ、過剩米割當ノ方法ハ、或ル程度ノ準則ハ或ハ設ケルコトニ相成ルカモ知レマセヌケレドモ、大體ニ於テ自治的ニ決定スルコトニ相成ツテ居ル譯デアリマス、隨テ地方特有ノ事情ニ對

シマシテハ、固ヨリ相當考慮ノ餘地ガアルト云フコトヲ御諒解願ツテ置キマス、組合ト中間商人トノ關係デアリマスガ、此點ニ付キマシテハ、先刻來度々ノ御質疑ニ對シマシテ、概要ヲ御答ヘ申上ゲタ通りデゴザイマスルガ、是ハ能ク全國ニ互ル實情、或ハ數字等ニ付キマシテ、詳細ニ御諒解ヲ冀ヒタイト實ハ考ヘル譯デアリマス、併ナガラソレヲ此議場ニ於テ致シマスルコトハ、必要デハアリマスルケレドモ、私ハ相應シクナイコトヲ慮レルノデアリマス、決シテ他意アル譯デハゴザイマセヌ、私共ハ度々申上ゲマスルヤウニ、農村ニ於ケル生産者ノ團體デアアル産業組合等ニ、農村經濟ノ中樞機關トシテノ堅實ナル發達ヲ期スルコトガ必要デアルト考ヘマス、同時ニ是アルガ爲ニ配給機關、中間機關ヲ排除スルト云フガ如キコトハ必要ノナイコトデアリ、適當デナイコトデアリ、即チ兩者ノ間ニハ相互依存、共存共榮ノ途ガ望マシキコトデアリ、可能ナルコトデアリ、斯様ニ私ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、詳細ハ願クハ他ノ適當ナル機會ニ讓ルコトノ御許シヲ冀ヒタイト思ヒマス(拍手)

○村松久義君 簡單デアリマスカラ當席ヨリ……

○副議長(植原悦二郎君) 許シマス

○村松久義君 只今ノ農林大臣ノ御答辯ハ總テ不滿デアルト申上ゲタイノデアリマス、總テ不滿デアリマスル其答辯ノ一二ヲ指摘致シマシテ再質問ヲ致シマシテモ、到底意ニ滿タザルモノデアルト考ヘマスルガ故ニ、此上ハ一問一答ノ機會ヲ得マシテ、一ツ一ツニ就テ御答辯ヲ煩シタイト思ヒマス、農林大臣ハ私ハ左様ニ思ヒマセヌトノ單ナル否定ヲ與ヘテ居リマス、斯ノ如キコトハ到底議員ヲ満足セシムルモノデハナイノデアリマスルガ故ニ、私ハ他ノ機會ニ於テ、本當

ト云フコトノミヲ規定シテ、是等ノ中小ノ農家ヲ救フベキ唯一ノ法ヲ見出サレナイコトハ、洵ニ遺憾トスル所デアリマス

米穀自治管理法案ハ、從來米穀ノ調節ニ付テハ、政府ノ力ニ依ツテノミ行ツテ來タノデアリマシテ、國家ノ財政ノ上ニ相當ノ負擔モ増加シ、且又調節ノ困難ヲ缺ク點モアリマスカラ、年々生産ノ増加ニ依リ過剩米ヲ生ズル爲ニ、民間團體ニ於テ自治的ニ米穀管理ヲ行ハシメルト云フノガ、米穀管理法案ノ骨子デアリヤウニ思ヒマス、固ヨリ政府ノ政策ト相俟ツテ、米穀統制ノ目的ヲ達シタイト言ハレル所ノ御希望モ、茲ニ窺ハレルノデアリマスルガ、本案ガ製作ノ際、即チ米穀ノ過剩ヲ生ジタ時、餘ツタ時ニミ米價ヲ維持スル上ニ於テ相當效果ガアルコト、思ヒマスルガ、米穀統制法施行前トハ今日ハ違ヒマシテ、政府ニ於テ最低價格ヲ保障致シテアリマス、ソコデ製作ノ時ニ於キマシテモ、非常ナル米價ノ値下リヲ見ルヤウナコトハアリマセヌ、ソコデ此法案ガ、自治的管理法ガナクトモ、從來ノ統制法ニ多少ノ改正ヲ加ヘマスレバ、價格ノ維持ニ付テハ餘リ心配モナイヤウニ思ハレルノデアリマス、尤モ私共モ此最低價格デ甘ンズルモノデハアリマセヌ、併ナガラ豐作ノ際ニ、サウ高イ値段ヲ希望スルト云フコトハ、生産者自身モ亦考ヘナケレバナラヌコトデアルト思フノデアリマス、此法案ガ中小ノ農家、又ハ米穀商ニ惡イ影響ヲ及ボサスト致シマシタナラバ、是ハ結構ナ案デアリマス、併ナガラ此法案ヲ實施ノ結果、或ハ米穀商、或ハ中小ノ農家ニ相當打撃ヲ及ボスコトヲ虞ル、ノ餘リ、茲ニ自治的管理法ニ付キマシテ政府ノ所見ヲ伺ツテ見タイト思フノデアリマス

先ニモ申上ゲマシタ通りニ、中小ノ農家ニアリマシテハ、米ノ出來秋ニハ全部ノ米ヲ賣ツテモ、尙且ツ金肥料代其他ノ支出ニ

足リナイ位デアリマシテ、其生産米ノ一部ヲ自治的ニ管理セヨ、統制組合ニ強制加入ヲシテ、此米ヲ貯藏スルト云フコトハ頗ル困難デアリ、且ツ中小ノ農家ニ對シテハ非常ナ迷惑ヲ感ズルコト、思ヒマス、生産者ハ出來秋ノ時分ニ、全部ノ米ヲ賣ツテモ尙且ツ足ラヌト云フヤウナ際ニ、統制法ニ依ツテ其一部ノ米ヲ強制力ニ依ツテ之ヲ貯藏シナケレバナラヌト云フ、法ノ力ニ依ツテ貯藏サル、ニ至リマシテハ、全ク中小ノ農家ニ於キマシテハ、非常ニ迷惑千萬ナコトデアルト思フノデアリマス、其點ガ、私共ハ相當ナ大地主或ハ中産以上ノ方ニハ、相當ノ效果ヲ及ボスト思ヒマスルガ、中小以下ノ農家ニ對シテハ、決シテ此自治的管理案ハ好影響ヲ與フルモノトハ信ジラレナイノデアリマス

尙ホ私ハ此米穀自治管理法ノ中ニ付テ、御尋ヲ致シテ見タイト思ヒマスノハ、此法案ニ依リマスレバ、全國ノ各町村ニ統制組合又ハ之ニ代行スル所ノ機關ヲ作ツテ、過剩米ヲ貯藏サセントスルノデアリマスルガ、米ノ生産縣デアリナガラ、其縣ノ消費ニ足ラナイ所ノ縣ガ多數アルノデアリマス、其消費ニ足ラナイ所ノ縣ニ於テモ、生産ガアル以上ハ、矢張過剩シタル所ノ米ニ對シテハ、統制法ノ適用ヲ受ケテ貯藏シナケレバナラヌト云フヤウニナツテ參リマスレバ、所謂有リガストレト云フノヲ生ジテ、其縣ニ限リマシテハ非常ナル價格ノ暴騰ヲ來シ、消費マシテハ非常ナル價格ノ暴騰ヲ來シ、消費者ニ大ナル迷惑ヲ來スコトガ當然ナリト私ハ思フノデアリマスルガ、此點ハ政府ハ如何ニ考ヘラレルノデアリマスカ、尙ホ統制ヲ實行致シマスル爲ニ、一定ノ場所ニ米ヲ集メナケレバナラヌ、其集ムル爲ニハ自然運賃等ガ加ハルノデアリマシテ、此運賃ハ恐ラク生産者自身ガ負擔シナケレバナラナイ、之ヲ賣ル場合ニモ亦相當ナル運賃ガ掛ルノデ、生産者自身ハ二重ノ運賃ヲ負擔シ

ナケレバナラヌヤウナ狀態ニ置カレテアルノデアリマシテ、生産者ニ對シマシテハ相當過重ナル負擔ヲ負ハサレルコトニナリマスルガ、此點ハ如何様ニ考ヘラレルノデアリマスカ、先ニモ他ノ議員カラ御質問ニナリマシタガ、九月十月ノ市場ニ出ル所ノ早場米デアリマス、此早場米ニ對シマシテハ、此統制法ノ適用ハ受ケマセヌ、受ケマセヌケレドモガ、早場米ノ出ルノハ恐ラク全國ニ三百萬石以上アルト思ヒマス、此三百萬石以上アル所ノ早場米ニ對シテ、本法ノ適用ヲセズシテ、他ノ方面ニミ本法ノ適用ヲサセルト云フコトハ、法ノ適用ノ上ニ矛盾ヲ來スヤウナ處ガアリハシナイカト云フコトヲ、政府ニ伺ツテ見タイト思フノデアリマス、最近全國ノ米穀商ガ、自治管理法案本議會ニ提案サレルト云フノデ、非常ニ反對ヲ唱ヘテ居ルノデアリマス、其反對ノ理由トシテハ澤山アリマスルガ、其主ナル點ハ、統制組合又ハ産業組合ニ於テ自治的ニ統制セラレルヤウニナリマスレバ、商人ノ取扱フ所ノ米ノ數量ガ非常ニ減少シテ、其結果ハ米商ニ少カラヌ打撃ヲ與フルト云フコトガ、恐ラク米商人ノ一番心配シテ居ル所デアルト思フノデアリマス、尤モ今同ノ自治的管理案ハ、需給推算ニ於キマシテ、其過剩米ヲ取扱フコトニナツテ居ルノデアリマスルケレドモガ、現在ノ制度ニ於キマシテ、産業組合ハ、是ハ強制組合デアリマセズシテ、任意ノ組合デアルノデアリマス、併ナガラ此過剩米ヲ産業組合ガ取扱フコトニナリマスレバ、總テ全部ノ販賣米ヲ取扱フコトニナルノ心配ハ、十分ニ私ハ認ムルコトガ出來ルト思フノデアリマス(拍手)申ス迄モナク産業組合ハ任意ノ組合デアリマシテ、強制加入デハアリマセヌ、然ルニ米穀統制ヲ産業組合ガ代行スルコトニナリマスレバ、農民ハ悉ク米ニ對シテ代行スル所ノ組合ノ支配ヲ受ケルヤウニナツテ參ル

ノデアリマシテ、自然産業組合ニ強制加入ヲ受ケル形ニナツテ參リマス、又必ズ産業組合ニ強制加入ヲスルコトニナツテ參ルト思ヒマス、謂ハバ産業組合ノ一ツノ強化デアルト言ツテモ宜シイト思フノデアリマス、米穀商ノ心配スルノモ無理カラヌコトデアルト思ヒマスルガ、米穀ヲ取扱フ所ノ販賣組合聯合會ガ、其所屬組合又ハ所屬聯合會ニ對シテ、米穀ノ平均賣價ヲ實行スル所ノ指令ヲ出ス、是ガ抑、政府自身ガ、此組合ガ全部ノ生産米ヲ取扱フコトヲ豫期シテ居ラレルカラ、斯ウ云フ條文ガ出ルト私ハ思フノデアリマス、サウナツテ參リマスレバ、米穀商ノ蒙ル打撃ハ決シテ少クナイト思ヒマス、政府ハ自治管理法案施行後ニ於テ、米穀商ニ何等ノ影響ナシト、先ニモ屢、申サレマスルケレドモ、若シ影響ナシト言ハレマスルナラバ、商工大臣ハ先ニハ我黨ノ高橋君ノ質問ニ對シテ、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居リマス、米穀自治管理法案ニ對シテハ大體賛成ト言ハレテ居ル、全面的ニハ御賛成デナイヤウニ思ハレマス、而シテ運用如何ニ依ツテハ、米穀商ニ重大ナル影響ヲ及ボスト云フコトヲ、商工大臣自身ガ言明致シテ居ラレルノデアリマシテ、私共ノ心配スルノモ此點デアリマシテ、運用如何ニ依ツテ弊害ガアルト云フコトヲ、商工大臣ガ御認めナリマスナラバ、何故ニ此制度ニ對シテ御賛成ヲナサルノデアアルカ、此點ヲ伺ツテ見タイト思フノデアリマス(拍手)吾々ノ心配スル如ク、組合ガ統制米以外ノ米ヲ取扱フコトニナツテ參リマスレバ、愈々米穀商ニ大ナル打撃ヲ與フルコトハ勿論デアリマシテ、商工大臣ハ統制米以外ノ米ハ、此組合ハ取扱フコトハ出來ナイト云フ所ノ、禁止規定デモ御出シニナル所ノ御用意ガアルカ、又勇氣ガアルカ、此點ニ對シテ私ハ商工大臣ニ伺ツテ見タイト思ヒマス、尙ホ商工大臣ハ商工組合及ビ産業組合ノ連絡ヲ圖ツテ、之ヲ圓滿ニスルト言ハレタノデアリマスルガ、其連絡ヲ

圖ルト云フコトハ、如何ナル方法ニ依ッテ連絡ヲ圖ラレノデアリカ、産業組合ガ米ヲ多ク取扱ヘバ、自然商人ニ對シテ相當ノ打撃ヲ與フルコトハ、是ハ分リ切タコトデアリ、唯其連絡ヲ取ツテ、兩方ニ圓滿ナル所ノ諒解ヲ求メル、斯ウ云フコトヲ言ハレマシテノ漫然タル御議論デハ、私共ガ承服スル所ノ出來ヌコトデアリマシテ、具體的ニドウ云フコトヲシテ、サウシテ此商工業者ニ對シテ打撃ヲ與ヘナイヤウニスルコト云フコトヲ、此議場ニ明言セラル、必要ガアルト私ハ信ズルデアリマス(拍手)政府ハ自治管理案實施ニ依リマシテ、生産者モ、消費者モ、米穀商モ、亦國家ニ取リテモ、何レニモ非常ニ利益ダ、各方面總テ利益デ、惡影響ヲ來スモノハ一ツモナイ、斯ウ云フコトヲ先ニ言ハレテ居ルデアリマス、サウ總テニ利益ヲ與ヘルヤウナモノデアリマシタナラバ、此議場議論スル必要モナク、又米穀商ガ心配シテ議場ニ押寄セテ參ルヤウナ心配モナカラウト思フデアリマスガ、米ノ値段ガ高クナレバ、消費者ハ相當打撃ヲ受クル、生産者ハ利益ヲ受ケマスアレドモ、消費者ハ相當打撃ヲ受ケル、安クナレバ生産者ハ立行カヌヤウニナル、産業組合ガ米ヲ多ク取扱ヒマスレバ、商人ニ影響シテ來ル、不利ヲ來ス、是ハ分リ切タコトデアリ、ドチラニカ無理ガ行カケレバナラナイノニ拘ラズ、總テニ對シテ何等ノ不利益モ與ヘナイト言ハレルコトハ、吾々ガ諒解ニ苦シムモノデアリマス(拍手)如何ニ統制セラレテ行キマシテモ、生産過剩ノ米ト云フモノハ、矢張剩ッテ來ルデアリマシテ、此剩ッテ來ル組合ガ何時迄モ貯藏致スト致シマスナラバ、組合ハ非常ナル損失ヲ來スノデアリマス、政府ハ一石貯藏致ス爲ニ五圓掛ル、五圓ノ損失ガアル、斯ウ云フコトヲ昨年ノ議會ニモ言ッテ居ラレル、其五圓ノ損失ハ、組合自身ガ負ハネバナラヌ、何時マデ、モ貯藏シテ行クト云フコトニナレバ、

組合自身ノ負擔ニ歸スルデアリマシテ、若シ組合ニ迷惑ヲ掛ケナクシテ、政府ガ之ヲ補償シテヤラウト言ハレラナラバ、政府ニヤハリ此負擔ガ來ルデアリマシテ、免ニ角此貯藏米ニ對シテハ、餘ッテ米ニ對シテハ、政府ガ損ヲサレルカ或ハ生産者ナリ、或ハ組合ナリ、何レカノ者ガ損ヲスルヤウニナラナケレバナラナイ、ソレニ政府モ損ヲシナイ、組合モ損ヲシナイ、斯ウ云フコトヲ言ハレマシテモ、吾々ハドウシテモ此點ハ承服スルコトハ出來ナイデアリマス、政府ハ米穀ノ取扱組合ヲ強制的ノモノトシテ、サウシテ各町村ニ組合ヲ設ケテ、此町村ノ地主、或ハ小作者、其他ノ者ハ組合員ニナラナケレバナラヌト云フコトヲ、法ニ依ッテ決メラレルデアリマスルガ、前ニモ申シマシタ通りニ、中小ノ農家ハ此爲ニ非常ニ打撃ヲ受クルデアリマスルガ故ニ、一歩進ンデ、政府ガ今日般ノ貯藏ニ依ッテ相當成功ヲシテ居ラレ、又價格ノ維持ヲナシテ居ラレル、是ト同様ニ玄米ヲ貯藏シテ、唯任意組合トシテ、此組合ニ加入スルコトモ隨意ト致シテ、サウシテ此米ノ價格ヲ維持スルコトニ努メラレタナラバ、或ハ米穀商ノ心配スルヤウナコトモナシ、中小ノ農家ニ影響ヲ來スヤウナコトモナイト思フデアリマスガ、斯様ナ御意思ハナイデアリマセウカ、此點ヲ伺ッテ見タイト思フデアリマス、政府ハ最近ノ米穀事情ニ鑑ミマシテ、其供給過剩ニ對應致ス爲ニ、米穀ノ生産或ハ統制、代作ノ獎勵、海外販路ノ開拓、或ハ新規利用ノ増進、幾多ノ方策ヲ考ヘテ居ラレルヤウデアリマスアレドモ、未ダ一ツモ之ヲ具體的ニ實行シテ居ラレヌコトヲ私ハ頗ル遺憾トスルデアリマス、我國ノ米ハ、政府ノ調査ニ依ッテ明デアリマス通りニ、需給推算ニ於キマシテ生産過剩ヲ生ズルコトハ明デアリマス、今更議論ノ餘地ハアリマセヌ、屢、政府當局ガ此議

場ニ於テ、先ヅ五百萬石程度ノ毎年過剩米ヲ生ズルト云フコトヲ言明シテ居ラレルデアリマス、ソコデ假ニ此統制組合ナルモノハ、過剩米ヲ生ジタル時ト云ハレマスルケレドモガ、恐ラク非常ナル飢饉ガナイ限りニハ、毎年ハ貯藏シナケレバナラナイ實情ニ置カレルモノデアルト私ハ信ズル者デアリマス、ソレデ政府ガ唯過剩スル年ダケデ、毎年デハナイト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ラレマスルケレドモガ、政府自ラガ我國ノ米ノ生産過剩ト云フコトヲ認メラレテ居ル以上ハ、必ズ毎年此米穀統制ト云フコトハ實行セラレルコトナリト信ズル者デアリマス、此過剩米ヲ生ズルニ當リマシテ、販路ノ開拓、或ハ利用ノ増進、或ハ消費ノ増加ヲ圖ル、是モ一面カラ考ヘレバ非常ニ宜イコトデアルト思ヒマスルケレドモガ、政府ガ此生産ノ制限ト云フコトニ對シテ、何等ノ方策ヲ講ジテ居ラレナイコトヲ、私ハ頗ル遺憾ニ思フデアリマシテ、寧ロ出來上ツタ米ヲドウシテ賣ルカ、ドウシテ買フカ、斯ウ云フコトニ没頭セラレルヨリモ、其根本タル所ノ米ノ生産ニ對シテ、相當ノ統制ヲ加ヘラレルコトガ、適當ナリト私ハ信ズルデアリマス、曾テ我國ノ人口食糧問題ガヤカマシク論議サレタ時分ハ、我國ノ人口増加ニ伴ッテ、食糧米ハ不足ヲ生ズルト云フコトヲ憂ヘタデアリマスルガ、其後農法ノ改良、耕地ノ改良、特ニ朝鮮、臺灣米ノ獎勵ノ結果ハ、愈々生産過剩ヲ生ズルコトニナリマシタ、最低價格ガ保障セラレマスレバ、益々農村ハ米ヲ作リマシテ、増産計畫ニコソナレ、生産制限ト云フコトハ、ドウシテモ望マレヌト思フデアリマス、ソコデ代作ノ獎勵ヲナシテ、或ル程度ノ生産制限ト云フモノハ、此間ニ最モ必要ナルコトデアルト思ヒマス、固ヨリ代作ノ獎勵ヲシテ生産ノ制限ヲナスコトハ、内地外地共ニ必要デアリマスルガ、内地ニ於テ米ニ代ル他ノ作

物ヲ栽培セヨト申シマシテモ、是ハ恐ラク栽培ガ出來ナイト思フデアリマス、所謂適地適作主義ニ則リマシテ、朝鮮ニ棉ヲ栽培シ、臺灣ニ麻ヲ栽培シテ、サウシテ此生産制限ニ資セラル、コトガ、最モ必要ナリト考ヘルデアリマス、私ハ昨年朝鮮ニ參リマシタ時分ニ、朝鮮ノ或ハ總督府、或ハ民間ノ有力ナル方々カラ御聽キ致シマシタガ、朝鮮ニハ百六十七萬町歩ノ水田ガアリマシテ、此水田ノ中、毎年米ノ安全ニ穫レル所ノ、所謂安全水田ト云フノガ七十六萬五千町歩デアリマシテ、不安全水田、所謂三年ニ一遍必ズ飢饉ガ來ル、或ハ二年ニ一遍ハ必ズ穫レナイト定ッテ居ル不安全水田ガ約九十五萬五千町歩デアリマス、此九十五萬五千町歩モアル所ノ不安全水田ニ、強ヒテ米ヲ植エルヨリモ、之ニ棉ヲ栽培スレバ、此生産ノ制限スルコトハ相當可能性ガアルト思フデアリマス、此不安全稻ニ對シテ、朝鮮ノ相當ナ方ニ、此中棉ヲ栽培スル面積ガ幾ラアルカト云フコトヲ聽イテ見マシタ時ニ、先ヅ二十萬町歩ハ優ニアル、二十萬町歩ニ對シテ棉ヲ栽培セラレタナラバ、我國ニ餘ル所ノ五百萬石ノ年々ノ生産過剩ノ大部分ハ、二十萬町歩ニ依ッテ補フコトガ出來ルデアリマシテ、所謂生産制限ヲ爲スコトガ出來ルデアリマス、サウスレバ我國ノ此難問題タル所ノ需給ノ關係ヲ緩和シテ、米穀ノ調節ヲ根本的ニ解決スルコトハ、決シテ困難デナイト思フデアリマス、政府ハ何故ニ此點ニ著意セラレナカッタノデアリマスルカ、私ガ斯様ニ申シマスレバ、朝鮮ニノミ斯様ナコトヲ強ユルコトハ、或ハ差別的待遇デハナイカト云フ御叱リヲ受クルカモ知レマセヌガ、決シテ左様ナモノデハアリマセヌ、棉ヲ栽培スルノト、米ヲ栽培スルノト、其農家ノ利潤ヲ考ヘマシテ、唯徒ラニ危險ナル所ノ水田ニ米ヲ栽培スルヨリモ、棉ヲ栽培シタ方ガ遙ニ利益デア

ト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、此處ニ棉ヲ栽培シ、又若シ米ヲ作ルノト棉ヲ作ルノト、危險ハ同ジデアレドモ米ヲ作ラザル方ガ増シタト、斯ウ云フ場合ニハ、政府ガ棉ノ最低價格ヲ保障スルコトカ、或ハ棉栽培ニ對シテ相當助成金ヲ出サレタナラバ、棉栽培ト云フモノハ決シテ困難デハアリマセヌ、此重要ナル點ヲ御看通シナサレテ、唯出來上ツタ米ノ買入、賣渡ニ對スル所ノコトニ付テノミ、嚴重ナル所ノ法律ヲ御提案ニナルコトハ、聊カ本末顛倒致シテ居リハセヌカト私ハ思フノデアリマス（拍手）政府ノ今日米價ノ調節及數量ノ調節ノ爲ノ毎年ノ支出ハ相當ナモノデアリマス、此支出ノ或ハ五千萬圓、或ハ昨年ノ如キハ一億圓ノ損ハセヌカト云フヤウナ時代ニ於キマシテ、政府ノ調節ニ要スル所ノ其經費ノ一部、或ハ一千万圓デモ、五百万圓デモ、此方ニ御向ケ下サツタナラバ、遙ニ效果ノアルコトデアルト思フノデアリマスガ、此御英斷ノナイコトハ、私ハ頗ル遺憾トスル所デアリマス、此點農林大臣及拓務大臣ハ、サウ云フコトニ對シテ何等カ御考察ガアルノデアリマスカ、唯漫然朝鮮ハ今マデ通りヤレバ宜イト云フヤウナ考デオ出デニナルカ、拓務大臣ノ御意見モ合セテ伺ッテ見タイト思ヒマス

最後ニ私ハ此米穀法案ニ直接關係アリマセヌケレドモ、總テハ我國ノ米穀問題ニ重大ナル關係ヲ及ボシマスル所ノ、滿洲ノ米ニ付テ總理大臣ノ意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、御承知ノ通りニ、滿洲ハ其耕作可能地ノ面積ガ三千万町歩アルノデアリマシテ、此三千万町歩ノ中、水田トナリ得ベキ所ノ可能性アルモノガ、約百五十万町歩、或ハ二百万町歩ト云フコトヲ唱ヘラレテアルノデアリマス、現在滿洲ニハ二百万石ノ米ガ出來テ居リマス、此二百万石ノ米ガ年

致シテ置キマシタナラバ、滿洲ノ野ハ總テ開墾セラレマシテ、毎年増産致シマシテ、滿洲ニ一千万石或ハ二千万石ノ米ヲ作ルコトモ、決シテ困難デハナカラウト私ハ思フノデアリマス、結局此滿洲ニ米ガ出來テ參ルト云フコトニナリマスレバ、其米ガ總テハ我が内地ニ輸入セラル、ノデアリマス、固ヨリ滿洲ノ生産費ハ非常ニ安イノデアリマス、朝鮮ニ付テ調ベマシテモ、朝鮮ノ生産費ト我が内地ノ生産費トハ比較ニナリマセヌ、滿洲ニ於キマシテハ、五箇年モ無肥料デ米ガ出來ルト云フヤウナ實情デアリマスルガ故ニ、滿洲ノ米ノ生産費ト云フモノハ、遙ニ低下致スノデアリマス、此安イ米ヲ以テ我國ニ輸入サル、際ニ於キマシテハ、我國ハ滿洲米ノ輸入ニ依ツテ、相當打撃ヲ受ケハセナイカ、若シ此場合滿洲ノ米ニ對シテ、外國ノ米デアアルカラ、高イ關稅ヲ課スルト、斯ウ云フヤウナコトニナリマスレバ、所謂日滿經濟統制ノ上カラ考ヘマシテモ、重大ナル疑義ヲ生ズルノデアリマスルガ故ニ、今此滿洲ニ對シテ相當考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、昨年モ私ハ此點ニ付テ御聽キ致シマシタガ、滿鐵沿線ノ附屬地ハ我が支配權デアアルガ故ニ、此點ニ對シテハ考慮スルケレドモガ、滿洲ニ對シテハマダ考ヘタコトハナイト、斯ウ云フコトヲ言ハレタノデアリマスルガ、若シ今日デモ斯様ニ漫然トシテ滿洲ノ米ト云フコトニ對シテ、御著眼ガナカッタトスレバ、總テ滿洲ノ米ガ我が内地ノ米ヲ壓迫スルコトハ、火ヲ附ルヨリモ明デアルト思フノデアリマス、滿洲ニハ頻ニ移民ヲ獎勵セラレ、朝鮮ノ移民ガ滿洲ニ續々行ツテ居リマスガ、此移民ガ第一ニ著眼スルモノハ矢張米デアリマス、所謂水田ヲ何トカシテ開墾シテ、此水田ニ稻ヲ植エテ米ヲ獲リ之ヲ食フ、或ハ之ヲ賣リタイト云フノガ滿洲ノ實情デアリマスルガ故ニ、此點ヲ政府ハ如何様ニ考ヘラル、ノデアリ

マスカ、滿洲ハ主トシテ我が農村ノ子弟ガ第一線ニ立ツテ、サウシテ滿洲ノ獨立ヲ見テ、國家ヲ擧ゲテ非常ニ喜ンデ居リマスルケレドモガ、若シ此方策ヲ誤ルナラバ、我が農村ハ總テ滿洲ノ爲ニ、非常ナル打撃ヲ蒙ランケレバナラヌト云フ場合ニ立到ルノデアリマスルガ故ニ、此際此時ニ當ッテ滿洲國ノ米ニ對シテ、ドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレルノデアリマスルカ、是ハ總理大臣ノ御所見ヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、以上數項ニ互リマシテ質問ヲ致シマシタガ、成ルベク明快ニ御答辯ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス（拍手）

（國務大臣山崎達之輔君登壇）

○國務大臣（山崎達之輔君） 三善君ノ御問ノ、政府買上米ノ買入手續ヲ改メル意思ガアルカト云フ點デアリマスガ、此點ハ御尤ナ御氣付ト考ヘマスカラ、十分考慮致スコトニ致シタイト思ヒマス、ソレカラ第二ハ最高價格以下ノ場合デモ、賣出ス途ヲモウ少シ擴張メタラバドウカト云フ御趣意デアリマシタガ、是ハ只今ノ統制法ガ最高價格ヲ設定致シマシタ精神ニ鑑ミマシテ、餘リ之ヲ樂ニ取扱フコトハドウデアラウカト思ヒマス、矢張相當ノ制限ハ置カナケレバナリマセヌ、尤モ政府手持米デ整理ヲ要スルコトモアリマスカラ、整理米等ハ固ヨリ賣却スル途ハアル譯デアリマス、ソレカラ管理案ニ付キマシテ、先程ドナタカノ御質問ニデヤナイカ、斯ウ云フ御質問デアリマシタガ、是ハ昨年行ヒマシタ全國ノ粳貯藏ノ狀況カラ御考ヘ願ヒマシテモ、粳貯藏ノ際モ矢張小自作農、小作農ガ約六七割ヲ占メテ居ルノデアリマシテ、決シテ一部ニ考ヘラレルヤウニ、地主ガケガ利用スルト云フヤウナ考方ハ實情ニ當ラナイモノト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、更ニ先刻申上ゲマシタヤウニ、中以下ノ小農ト稱スル者ノ中

デ、或ハ半農半漁、半農半商ト云フヤウナ色々ナ部類ガアリマスノデ、ソレハ矢張農村ニ於ケル米ノ收入ガ一體ニ増加スルコトニ依ツテ、利益ニ浴スル關係ガアル譯デアリマスルカラ、隨テ統制法ノ運用ヲ圓滑ニスルト云フコトハ、要スルニ左様ナ部分ニ對シテモ利益デアアル、斯様ニ御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス、米ノ生産統制ニ付テノ案ガナイコトヲ、遺憾トスルト云フ御趣意デアリマシタガ、是ハ拓務大臣カラ御説明ヲ申上ゲル方ガ宜シイト思ヒマスガ、先刻モ申上ゲマシタヤウニ、臺灣朝鮮ニ於テモ、既ニ出來得ルダケノコトハソレレム、手配ヲ致シテ居ルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、併ナガラ此問題ガ中々實際ニ於テハ非常ナ困難ナ事業デアリマシテ、例ヘバ先年減反案ト云フヤウナモノガ世間ニ現ハレマシタ場合ニ、世論ノ狀態ハ如何デアリマシタラウカ、隨テ政府トシテハ之ヲ決シテ蔑ロニハ考ヘテ居リマセヌ、調査會ニ於テモ此點ハ答申ノ條項ニナツテ居リマスノデ、先刻申上ゲタヤウニ、出來ルダケ此點ニ付テハ今後研究ヲ重ネルト云フコトニ、御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ商人ノ關係デアリマスガ、是ハ度々申上ゲマシタヤウニ、決シテ避ケル意味デモ何デアリマセヌガ、少シ世間デ餘リニ誇大ニ考ヘラレテ居ルヤウニ私ハ虞レルノデアリマス、是ハ全國各地方々々ノ實情モ申上ゲ、統計ニモ據ツテ篤ト御諒解ヲ願フ方ガ適當ト思ヒマスノデ、本議場ニ於テハ省略ヲ致シテ居ラズ願ヒタイト思フノデアリマス、能ク此點ハ他ノ機會ニ於テ篤ト申上ゲマシテ、尙ホ御意見モ伺ッテ、政府トシテモ考フベキコトハ、考ヘルト云フコトニ致シタイト思フノデアリマス、組合ノ設立ヲ任意トスレバ、宜クハナイカト云フ御趣意デアリマスガ、是モ或ハ御無理デナイ御意見カトモ思ヒマ

スケレドモ、何分ニモ今回ハ内地外地ヲ通ジテ、一貫シタル統制方策ヲ立テタルト云フ大方針ガアル譯デゴザイマスカラ、隨テ組合等ニ付キマシテモ、或ル程度ノ強制ハ已ムヲ得ナイノデアリマス、ソレカラ統制米ヲ集メル運賃及ビ早場米ノ關係等ニ付テハ御質問ガアリマシタ、早場米ノコトハ是ハ委員會ニ於テ、政府委員カラ申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス、集散ノ運賃ハ是ハ大シタコトデハナカラウト私モ考ヘテ居リマスガ、斯様ナ點ハ他ノ機會ニ、政府委員カラ御諒解ヲ願フコトニ致シタイト存ジマス

〔國務大臣岡田忠治君登壇〕

○國務大臣(岡田忠治君) 三善君ノ商工方面ニ對スル御質問ニ對シテ、大要御答ヲ致シマス、大體ハ農林大臣ノ答辯ニ依ッテ御諒解下サツタコト、思ヒマス、併シ此問題ハ或ハ産業組合ノ進出、中小商工業者ノ今日ノ立場ニ於テモ、相當困難ナコトガアリマスル其政治的意味ノ問題ト、此統制法ノ問題ト混淆ト申シテ宜イカ、二ツ加ッテ、餘程一般ノ人心ニ大キナ刺激ヲ與ヘタ事實ガアルコトハ其通りデアリマス、管理法ニ依リマスル販賣組合統制組合ノ領分ハ、大體ニ於テ剩餘米ヲ管理セシムルト云フコトガ主デアリマシテ、其他ノ一般ノ米穀ヲ、此組合ニ取扱ハセルト云フ趣意ニ立テラレナイコトハ、農林大臣カラ屢々聲明サレタ通りデアリマス、併シ先日私ガ此議場ニ貴族院ニ於テモ申シタ通り(ソレハ取扱ッテ居リマス)ト呼フ者アリ、只今簡單トカ云フヤウナ御聲ガアリマスガ、暫時御清聴願ヒマス(ノー)「ソレハ取扱ッテ居リマス」ト云フコトヲ言ッテ「デス」ト呼フ者アリ、サウデスカ、今申上ゲマシタ通り、中小商工業ノ立場ガ一般ニ同情サルベキ境遇ニアルコトハ申ス迄モアリマセヌ、殊ニ都會ニ於キマシテハ、一面ニハ百貨店ト言ヒ、一

方ハ産業組合ノ進出等ニ依ッテ、非常ナ苦シイ立場ニアルコトハ申ス迄モアリマセヌ、ソコデ私ハ此席デモ皆サンニ御教ヲ乞フコト申上ゲマシタノハ、中小商工業ノ日本ノ經濟機構ヲバ、此儘ニ破壊スル譯ニ行カヌカラ、産業組合ノ正當ナル發達ト同時ニ、中小商工業ノ——我國ニ於ケル經濟機構トシテノ重要ナ地位ヲ占メテ居ル中小商工業者ノ立場ヲ考慮シテ、其安定ヲ圖ラナケレバナラヌ、ソレハ種々ナ案ガアルガ、最モ必要ト私ノ思フノハ、工業組合及商業組合ノ發達ヲ促進スルコトデアル、ソレハ恰モ産業組合ニ於テ金融機關ノ中心機關ガアルガ如ク、工業組合、商業組合ニ於テモ、中央金庫ヲ設立スルガ最モ適當デアル、斯様ナコトヲ以テ私ハ皆サンノ御諒解ヲ得、且又御意見ガアレバ承リタイ積リデ、先日私案ヲ申上ゲテ置イタノデス、今後ハ産業組合、販賣組合若クハ統制組合ト云フモノノ進出ニ依ッテ、一般米穀商ノ活動ノ範圍ガ大ニ縮メラレルト云フ場合ガナイヤウニ、此法律ヲ運用セナケレバナリマセヌ、是ハ農林大臣モ同様ノ考デアリマス、併シ若シ商業組合ト工業組合ト二ツト、産業組合トノ間ニ、出來レバ之ヲ協調セシメテ雙方ノ發達ヲ圖ルコトガ必要デアリ、其發達ヲ促スニハ、既往四十年間、或ハ特權、或ハ政府ノ指導、其他ノ府縣廳初メ、世話ヲ燒イテ與レタコトニ依ッテ發達シタ産業組合ニ對シテ、マダ生レテ數年ヨリ經タヌ工業組合、商業組合ニ對シテモ、産業組合同様ノ特權ヲ與ヘル外ニ、政府ハ地方廳ハ、マダ乳ヲ吞シデ居ルコト云フ此幼年者ヲ發達セシムルコトニ於テ、一層ノ努力ヲスル必要ガアルト云フコトヲ、私ハ貴族院デモ一昨日申シタノミデアル、此意味ニ於テ進ミマスレバ、私ハ産業組合ヲ中心トシタル販賣組合ト、中小商工業ヲ基礎トシテ發達シテ居ル所ノ商業組合、工業組合ト適當ナル

妥協點ガ見出サレテ、兩々相進ムコトガ出來ルト云フ考ヲ有ッテ居ルノデアリマスルガ故ニ、申上ゲ居ルノデアリマス(拍手)

〔國務大臣伯爵兒玉秀雄君登壇〕

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 三善君ノ御質問ニ御答致シマス、只今御述ベニナリマシタル通りニ、朝鮮ニ於キマシテハ、嘗テハ米ノ品種ノ改良ニ努力シ、又引續キマシテ内地米ノ缺陷ヲ補フ爲メ、産米計畫ヲ樹テマシテ、今日迄進シデ來タノデアリマスガ、其後内地ノ米ノ關係カラ觀マシテ、此産米計畫ヲ昨年ヲ以テ打切りマシタノデアリマス、マダ半バニモ達シテ居ナイ所ノ此産米計畫ヲ打切りマシテ、此米ノ統制ニ向ッテ貢獻シタイト致シツ、アルノデアリマス、而シテ朝鮮ニ於キマシテハ、棉花ノ栽培ヲ獎勵致シテ居リマス、只今御話ノヤウナ風ニ、二年目カ三年目ニ天候ニ依リマシテ、水田ニ相成リマスル所ノ不良田ガアルノデアリマス、之ヲ何トカ其方面ニ變ヘタイト云フ事柄ハ、多年總督府ニ於テ考ヘラレテ居ル所デアリマススケレドモ、御承知ノ通り朝鮮人ノ古來ノ風習ト致シマシテ、水田ニ對シマスル所ノ執著力ガ非常ニ強イノデアリマス、隨ヒマシテ之ヲ整理致シマスルコトニ困難ヲ感ズルノミナラヌ、之ニ代作ヲ命ズルヤウナ場合ニ於キマシテハ、巨額ノ補償金ヲ要スルコトデハナイカト思ヒマシテ、其點ニ付テハマダ十分ノ手が著イテ居リマセヌノデアリマスガ、三善君ノ御說ノ如ク、此點ニ付テハ將來考フベキ必要ガアルト思ウテ居ルノデアリマス、又臺灣ニ於キマシテモ、御承知ノヤウナ高砂米ノ發達ヲ見タノデアリマススケレドモ、併シ是モ尙ホ内地ノ統制ニ應ゼンガ爲メ、既ニ昨年度ニ於キマシテハ生産制限ヲ致シマシテ、約八十萬石ノ減産ヲ致シ、之ニ代作ヲ命ジテ居リマスルノデアリマス、來年度ニ於キマシテモ同様、約

八十五萬石ノ穀ノ減收ヲ豫期致シマシテ、之ニ代作ヲ命ズルコトニ致シテ居リマスルノデ、減産ニ付テモ相當ノ注意ヲ總督府ニ於テ致シテ居ルノデアリマス、只今申上ゲタ通りニ、外地ニ於キマシテハ、内地ノ米ノ統制ニ貢獻スルガ爲メ、多大ノ犧牲ヲ拂ヒツ、而シテ統制ニ向ッテ努力シテ居ルト云フコトノ誠意ダケハ、御諒承願ッテ置キタイト思ヒマス(朝鮮ノ減反ノ具體的ノ狀況ハ分リマセヌカ)ト呼フ者アリ、甚ダ御聲ガ小サイノデ聴取リ難キマスガ、御質問ガアリマシタナラバ、改メテ御質問ヲ御願致シマス(拍手)

〔國務大臣岡田啓介君登壇〕

○國務大臣(岡田啓介君) 三善君ノ御尋ハ滿洲ニ於ケル米作ノコトデアッタト思ヒマス、滿洲ノ米作ト申シマシテモ、内地人若クハ朝鮮人ガ作ッテ居ルモノバカリデナシニ、滿洲全體ニ於ケル米作ノコトダト思ヒマス、滿洲ニ於キマスル産業ニ致シマシテモ、農業ニ致シマシテモ、ソレハ我國ト共存共榮ノモノデナケレバナラヌト思フノデアリマス、産業ニ致シマシテモ、農業ニ致シマシテモ、其發達ニ依ッテ我國ガ實カサレルモノデアッテハナラヌト思フノデアリマス(ソレデ米ハドウスルノデス)ト呼フ者アリ、將來政府ハ其點ニ於テ善處シタイト考ヘテ居リマス(笑聲、拍手)

〔三善信房君登壇〕

○三善信房君 先ヅ農林大臣ノ御答辯ニ對シマシテ、更ニ御尋致シテ見タイト思ヒマス、農林大臣ハ私ノ尋ネマシタル第一點ノ、政府ノ買上米ニ對シテハ相當其手續ヲ考慮センケレバナラヌ、所謂勅令ノ改正ヲ爲スノ必要アリ、斯ウ云フヤウナ御決心ノヤウデアリマシテ、是ハ少クトモ此議會後ニ於キマシテハ、直チニ御改正ノ必要ガアルト思ヒマス、現在ノ買入方法ガ煩雜デアッテ、非常ニ日數ヲ要スルヤウデハ、僅ノ米

ヲ賣ル者ハ、矢張庭先デ賣ルノデアリマス
ルガ故ニ、隨テ非常ナ損失ヲセンケレバナ
ラス、折角政府ガ最低價格ヲ保障シテ居ル
ニ拘ラス、安イ値デ賣ラナケレバナラヌト
云フコトニナルノデアリマスガ故ニ、此點
ハ十分御考慮ヲ願ヒマシテ、速ニ御改正ヲ
願デ置キタイト思フノデアリマス、尙ホ政
府ノ賣渡米ノ點ニ付キマシテハ、其法ノ精
神カラ致シテ、サウ範圍ヲ擴ムル譯ニ行カ
ナイ、斯ウ云フヤウナ意見ノヤウデアリマ
シタガ、是ハ昨年既ニ經驗サレテ居ルコト
デアリマシテ、米ヲ政府ハ一千八百萬石モ
持ッテ居ルニ拘ラス、地方的ニハ有ガスレ
生ジテ、非常ニ値段ガ高クナツタ、其時分ニ
米ヲ賣ッテ食フ者ハ、所謂中小ノ農家デアリ
マスルガ故ニ、此中小ノ農家ヲ救済スル意
味ニ於キマシテ、此範圍ヲ今少シク擴張セ
レテモ、法ノ精神ニサウ背クモノデナイ、政
府ノ手持米ハ最高價格以上デナイト賣ラナ
イケレドモガ、或ハ秘貯藏、或ハ玄米ヲ今
回貯藏セラレテモ、或ル程度ノ價格ニナツ
ナラバ、之ヲ賣ッテ宜シト言ハレルノデア
リマスルガ故ニ、政府ノ手持米ハ最高價格
以上デナケレバナラス、民間デ貯藏シテ居
ルモノハ、其最高價格ニ達セズモ賣ッテ宜
シト云フコトカラ考ヘマシテモ、是ハ當
然政府米ヲモ、斯ウ云フ困難ナ場合ニハ、
矢張其賣渡價格ヲ相當ニ低下セラル、コト
モ必要ナリト私ハ信ズル者デアリマスルガ
故ニ、更ニ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデア
リマス、尙ホ此自治管理法案ノ實施ノ結果、
米穀商ニ何等ノ打撃ヲ與ヘナイト、斯ウ云
フコトヲ言ハレルノデアリマスルガ、其打
撃ヲ與ヘナイト云フ所ノ骨子ニ付テハ、餘
リ御話ガナイヤウデアリマシテ、是ハ委員
會ニ於テ説明スルト云フヤウナコトデア
リマスルガ、願クハ、此統制管理實施ノ曉
ニ、米穀商ニ何等ノ打撃ヲ與ヘナイト云
フコトヲ、具體的ニ本議場ニ説明セラル、

コトガ、最モ必要ナリト私ハ信ズルノデア
リマス(拍手)尙ホ強制的ニ組合ヲ拵ヘテ、
サウシテ組合員ヲ又強制的加入ヲサセルコ
トハ、中小ノ農家ニ對シテ非常ナ迷惑
ヲ來スデハナイカ、斯ウ云フコトヲ私ガ申
シマシタニ付キマシテ、矢張是ハ内地外地
打ッテ一丸トシタル所ノ法デアッテ、或ル程
度ノ強制ハ已ムヲ得ナイト云フヤウナ御意
見ノヤウデアリマシタガ、私ハ中小ノ農家
ノ實情ニ鑑ミマシテ、持ッテ居ル米ヲ全部
賣ッテモ足りナイ位ノ所ニ、其持米ノ幾分ヲ
強制的ニ貯藏セシムルコトハ、中小ノ農家
ニ非常ナル迷惑ヲ及ボスコトナリト信ズル
ノデアリマス(拍手)此點ヲ十分御考究下サ
レマシテ、此強制加入ト云フコトハ、相當
御考慮ノ餘地ガアルト私ハ思フノデアリマ
スガ故ニ、更ニ大臣ノ御意見ヲ伺ッテ見タ
イト思ヒマス

尙ホ商工大臣ハ、産業組合ト所謂商業組
合トノコトニ付キマシテ、是ハドウモ産業
組合ト商人トノ間ニ、此問題ヲ混淆シテ居
ルヤウニ思フノデアリガ故ニ、此點ハ兩方
妥協ヲシテ旨ク進ムヤウニセナケレバナラ
ス、斯様ナ御意見ノヤウニ承ツタノデアリ
マス、産業組合ガ過剩米ヲ取扱フコトデア
ルコトハ、是ハ法ノ示ス所デアリマス、併
ナガラ産業組合ガ過剩米ヲ取扱ヒマスレバ、
總テハ全生産米ヲ取扱フノ心配ガ十分茲ニ
現レテ居ル、其現レテ居ル一部ハ、産業組
合聯合會ニ對シテ——下級ノ産業組合聯合
會、或ハ産業組合ニ對シテ、平均賣ラ指令
スルト云フコトノ條文ガ茲ニ掲ゲラレテア
ル點カラ考ヘマシテモ、産業組合ガ相當多
量ノ米ヲ取扱フモノト云フコトヲ豫期シテ
居ラルレバコソ、此一般賣ラト云フコトガ現
レテ居ルト思フノデアリマスルガ故ニ(ヒ
ヤヒヤ)總テハ産業組合ガ大多數ノ米ヲ取
扱フノ虞ハ、十分ニ茲ニ合ッテ居ルト私ハ
思フノデアリマス(拍手)然ルニ米穀商ノ立

場ヲ考慮シテ、サウシテ産業組合ト餘リ衝
突ノナイヤウニ圓滿ニセネバナラス、所謂
商業組合ノ設立ヲ圖ッテ、金融ノ途ヲ講ズル
コトモ、其一ツノ方法ナリト言ハレテ居リ
マスルガ、然ラバ何故米穀統制管理ヲ爲サ
レル此際ニ於テ、同時ニ此法案ヲ御提出ニ
ナラナイカラ私ハ遺憾トスル者デアリマス
(拍手)尙ホ米穀商ノ範圍ヲ侵サナイヤウニ
十分注意ヲシテ、サウシテ米穀商ノ商權ヲ
擁護シテ行カナケレバナラヌト云フヤウナ
コトヲ言ハレマシタガ、私ガ茲ニ申シマシ
タ通りニ、此産業組合ガ、總テハ全生産米
ヲ取扱フヤウナ處ガ十分ニアル場合ニ於キ
マシテ、統制米以外ノ米ハ取扱フコトハ出
來ナイト云フ、禁止規定ヲ御出シニナル所
ノ勇斷ガアルカドウカラ私ハ伺ッテ置キタ
イト思フノデアリマス(拍手)唯商工大臣ノ
言ハレルノハ、研究シテ、サウシテ妥協シ
テ行クヤウニ——圓滿ニ妥協スルヤウニト
云フコトヲ言ハレマスガ、圓滿ニ妥協ノ途
ガ具體的ニアリマスルナラバ教ヘテ貰ヒタ
イ、法案モ何モ出サズシテ、唯相互妥協ノ
途ヲ圖ッテ行キタイト言ハレテモ、ソレハ私
ハ承服スルコトガ出來ナイノデアリマスル
ガ故ニ、具體的ニ私ハ御願シタイト思フノ
デアリマス(拍手)

拓務大臣ハ朝鮮ノ代作獎勵及臺灣ノ代作
獎勵ニ對シテ、臺灣デハ相當ヤッテ居ル、朝
鮮デハ中々朝鮮人ガ水田ニ執著心ガアッテ、
水田ヲ去ルコトガ出來ナイガ故ニ、其代作
換ト云フノハ餘程困難デアアル、斯ウ云フ風
ナコトヲ言ハレマシタガ、私ハ唯朝鮮人ニ
代作ヲ獎勵シテ、棉ヲ植エロト言ッテモ、是
ハ植ルモノデハアリマセヌ、曩ニモ申シ
マシタ通り、米ヲ植エルト、或ハ棉ヲ植
エルト、何レガ農家ノ經濟ノ上ニ有利デ
アルカト云フコトヲ考ヘテ見テ、若シ米ヲ
植エタ方ガ棉ヲ植エタヨリモ遙ニ利益デア
ルト云フナラバ、棉ヲ植エルニ付テ必要ナ

ル所ノ助成ヲセンケレバナラス、又棉ノ價
格ノ如キハ、世界的ニ相場ガ出マシテ、洵
ニ高下ガアルノデアリマス、此亂高下ノア
リマスル棉ニ對シテ、能ク生産費ヲ調査セ
ラレマシテ、所謂米ニ對シテ最低價格ノ保
障ヲセラレルヤウニ、棉ニ對シテモ最低價
格ノ保障ヲ爲シ、或ハ相當ノ金額ヲ支出シ
テ助成セラレタナラバ、決シテ困難デハナ
イト思フノデアリマス、唯金ヲ出サズシテ、
研究モセズシテ、執著心ガアルカラ中々代
作ハ困難デアルト言ハレテハ、此重大ナル
問題ヲ解決スルコトハ出來ナイト思フノデ
アリマシテ、政府ノ不誠意ヲ私ハ洵ニ遺憾
トスル者デアリマス(ヒヤ／＼「拍手」)

尙ホ總理大臣ニ御伺ヲ致シマスルガ、總
理大臣ハ滿洲ト我國トハ共存共榮デ行カ
ナケレバナラスト言ハレマスガ、勿論ノ事デ
アリマス、是レ位ノ幼稚ナコトハ、私ハ御
説明ヲ求メズモ宜シウゴザイマス、唯滿
洲ノ根本問題、我國ト滿洲トノ根本問題、
所謂滿洲ハ水田ナル所ノ可能性ノアル土
地ガ相當廣イ面積ガアルガ故ニ、總テ此儘
放任シテ置ケバ、滿洲ノ米ニ依ッテ我國ノ
農村ガ非常ナ脅威ヲ受クルヤウナコトガア
リハシナイカ、若シサウ云フ場合ニ、滿洲
ハ外國デアルカラ、高イ關稅デモ課スルヤ
ウナコトニナレバ、所謂滿洲ト我國トノ經
濟統制ノ上ニ、非常ニ遺憾ノ點ガアルノデ
アリマスルガ故ニ、此際未然ニ防グ爲ニ、滿
洲ノ農業政策ニ對シテ、ドウ云フ考ヲ有ッテ
居ルカト云フコトヲ御聽キシタノデアリマ
スルガ、之ニ對シテ何等ノ御方針ガ無イト
云フノハ、洵ニ現内閣ハ無方針デアルト言ッ
テ私ハ宜シト思フノデアリマス(拍手)斯
ウ云フ重大ナル問題ニ對シマシテ、總理大
臣ガ自ら率先シテ滿洲ノ農業政策、又我國
ノ農業政策等ニ十分鑑ミラレテ、サウシテ
適當ナル方策ヲ滿洲ニ樹テルベク努力セラ
レルコトガ、總理大臣トシテ最モ努メナケ

レバナラヌ事柄デアルニ拘リマセズ、漫然
此事ニ對シテ何等ノ御方針ガ無イト云フコ
トハ、洵ニ遺憾トスル所デアリマシテ、若
シ御持合セガアリマスルナラバ、更ニ御答
辯ヲ願ヒタイノデアリマスルガ、唯共存共
榮主義ト云フコトノミデ御答ニナリマスナ
ラバ、御答辯ハ要リマセズ、唯現内閣ハ無
方針、農業政策ニ對シテ無方針ト云フコ
トヲ、私ハ申上グルヨリ外ナイト思フノデ
アリマス（拍手）

（國務大臣山崎達之輔君登壇）

○國務大臣（山崎達之輔君） 第一ノ統制法

ニ於ケル政府米ノ拂下ノ關係デアリマスル
ガ、是ハ重ネテノ御質問デアリマスル
ケレドモ、今回ノ改正案ノ程度デ、丁度頃
合ヒノ所デヤナイカト考ヘテ居リマス、第
二ハ産業組合及米穀商ノ關係デアリマ
シテ、再三ノ御質問ニ對シマシテ、甚
ダ相濟マヌヤウナ氣モ致シマスケレド
モ、是ハ實際ノ所ガ、各地ノ實情モ篤ト
一ツ御調モ願ヒ、サウシテ今回ノ立法ガ、
米穀販賣組合ノ將來ニドウ云フ關係ヲ及ボ
スカト云フコトモ、是ハ一ツ數字ニ互ッテ
御研究ヲ願ヒタイト實ハ私ハ思フノデアリ
マス、唯此處デ一言申上ゲテ置キタイト思
ヒマスコトハ、三善君モ十分御理解下スッテ
居リマスヤウニ、農村トシテ農村ノ生産物
ヲ共同デ捌クト云フ機關ハ、是ハ農村ノ爲
ニ極メテ大切ナル機關デアリマシテ、此機
關ノ組織ニ對シテ、動モスレバ一ツノ疑ヲ
挿ムガ如キ説ガ世上ノ一部ニアリマスコト
ハ、私ハ寧ロ之ヲ殘念ニ考ヘテ居ル譯デア
リマス、唯此生産者ガ自己ノ生産物ヲ共同
シテ賣捌クト云フ組織ト、之ヲ消費者ニ供
給スルト云フ商人ノ組織トノ間ニハ、自ラ
ソコニ協調ノ途アルベキモノデアリ、又ソ
レヲ望ムノデアアル、而シテ商人ニ付キマシ
テ何等立法ガナイト云フヤウナ、御疑モ
アルヤウナ風ニ聞エマシタケレドモ、是ハ

三善君モ十分御承知ノ通り、今日ノ商業組
合工業組合ト、産業組合トノ間ニハ、法ノ
特權ニ於テ何等ノ差ハナイノデアリマス、
兩方平等ニ國ノ制度ニ於テハ保護致シテ居
ル譯デアリマシテ、唯此制度ヲ實際ニ於テ
運用スル上ニ於テ、業態ノ差違ニ依ル種々
ノ異同ガアル譯デアリマス、併シ之ニ付キ
マシテハ、商工大臣モ出來得ル限り助成方
針ヲ執ルト云フ御考デアルコトハ、再三御述
ニナツタコトニ依ッテ御諒解ヲ願ヒタイト存
ジマス、大體以上申上ゲマシタコトニ依ッテ
御諒解願ヒタイト思ヒマス

○議長（濱田國松君） 三善君、モウ質疑ハ

アリマセヌカ

○三善信房君 自席カラ發言ヲ許シテ戴キ

タイト思ヒマス

○議長（濱田國松君） 簡單ナラ御許シシマ

ス

○三善信房君 私ノ再度ノ質問ニ對シテ、
拓務大臣ハ別ニ朝鮮及臺灣ニ對シテノ對策
ニ付テノ御方針ガ無イヤウデアリマシテ、御
答辯モナイノデアリマス、商工大臣モ亦商
業組合ノ問題ニ對シテ具體案ヲ御出シナ
ルカ、御持合セガアルカト思ッテ居リマシ
タガ、唯産業組合ト商業組合トノ圓滿妥協
ト云フノミデ御逃ゲニナツテ居リマスガ、ソ
レデハ私ハ承知スルコトガ出來ヌノデアリ
マシテ、何等案ノ持合セガナイヤウニ思ヒ
マス、又總理大臣ハ滿洲ノ問題ニ對シテ殆
ド無方針デアルト私ハ言ヒマシタガ、ソレ
ヲ承認シテ居ラレヤウデアリマスカラ、
此上質問ハ致シマセヌ、何レ委員會ニ於キ
マシテ十分質問致シタイト思ヒマス（拍手）

○議長（濱田國松君） 次ノ通告者深水清君

（深水清君登壇）

○深水清君 既ニ澤山ナ質疑者ガアリマシ
タノデ、私ノ御尋シタイ問題ニ付キマシテ
モ、相當重複ラシテ居ルヤウデアリマス、
隨テ私ノ質問ニ於キマシテモ、幾分力其點
ヲ免レマセヌカラ、其點ハ前以テ御容赦願ッ

テ置キマス、私ハ此質問ヲ致シマスニ當リ
マシテ、先ヅ私ノ立場ヲ申上ゲテ置キマス、
私共ハ此三法案ガ、農村即チ生産者ノ爲ニ
有利ナリヤ否ヤ、即チ農村ノ爲ニ此三法案
ガ有利デアルト云フコトガ的確ニ明デアリ
マスナラバ、私共ハ之ヲ賛成スルニ少シモ
躊躇致シマセヌ、併ナガラドウモ其點ニ於
キマシテ、幾多ノ疑問ヲ有スルノデアリマ
ス、隨テ吾々ノ檢討ノ結果、此三法案ガ農村
ニ對シ、即チ生産者ニ對シテ不利益デア
ルト云フコトニナリマスナレバ、吾々ハ猛然
トシテ此案ニ反對セネバナラヌノデアリマ
ス（拍手）

ソコデ私ハ先ヅ首相ニ御尋ヲ致シマス、
申上ゲマス迄モナク、此米穀問題ト云フモ
ノハ、全國民ノ日常ノ即チ必需品デアリマス、
缺クベカラザル所ノ、日々消費シテ居ル所
ノ必需品デアリマス爲ニ、此問題ヲ政府ガ
若シ過チマスト、飛ンデモナイ事ガ出テ來
ルノデアリマス、詰リ生産者ノ方カラ申シ
マスト、國家ノ大本デアルト申シテ宜イ農
村ガ破壊シテシマフ、又全國民デアル所ノ
消費者ガ生活ノ脅威ヲ受ケル、詰リ扱ヒ様
ニ依ッテハ生産者デアル所ノ農村ガ破壊ス
ルニ至リ、扱ヒ様ニ依ッテハ全國民ノ消費者
ガ生活ノ困難、生活ノ脅威ト云フモノヲ受
ケルコトニナル、ソコデ此生産者ト消費者
トノ關係ノ纏レカラシテ、所謂前門ニ狼ヲ
防イデ、場合ニ依ッテハ後門虎ヲ入レルヤ
ウナコトニナル、折角後門ノ虎ヲ防イデモ、
前門カラ狼ガ押込ンデ來ルト云フヤウナコ
トガ、決シテナイトハ言ヘナイ問題デア
ル、ソコデ私ハ茲ニ首相ニ御尋スルノデア
ル、今全國ノ人口ヲ申シマス、私ガ申上ゲル
マデモナク九千万人デアル、全國ノ米穀ノ
生産高ト云フモノハ又九千万石デアアル、サ
ウシテ一人ノ消費ヲ從來ノ統計ニ依リ、政
府カラ御出シニナツタ所ノ材料ニ依リマシ
テ調べテ見マシテモ、大體一箇年ニ一石内
外ノモノデアアル、シマスルト「マイナス、ブ

ラス」デ日本全國ノ生産ト云フコトカラ申
シマス、實ハ過剩米ナンカト云フ問題ハ
起ラナイコトニナル、九千万石ノ生産ニ對
シ、九千万人ガ一年ニ一石宛費スト云フコ
トニナリマス、本來過剩米ト云フ問題ハ
根柢カラ起ラナイ筈ノモノデアアル、所ガ事
實ハ之ニ反シマシテ、年々歲々此過剩米ト
云フ問題ガ起ツテ來テ、場合ニ依ッテハ生産
者デアル所ノ農村ヲ非常ニ脅威シ、又一面
ニ於テハ當局者ニ、國家ノ財政ト云フモノ
ハ此問題ノ爲ニ破壊セラレルノデハナイカ
ト云フヤウナ御懸念ガ屢、起ツテ來ル、是ガ即
チ實際ノコトナンデアアル、然ラバドウシテ
斯ウ云フコトニナルカ、過剩米ノ生ズル筈
ノナイ理論ノ下ニ、事實ガ之ニ反シマシテ、
斯ノ如ク過剩米ヲ生ジテ、農村國家共ニ脅
威ヲ受ケルト云フノハ、果シテドウ云フ譯
デアルカ、此處デ私ハ首相ニ此事ヲ申上ゲ
ル、一體ドウシテ斯ウ云フ事實ガ起ルカト
申シマス、是ハ全ク國民ノ消費力ノ減退
デアアル、國民ノ消費力ガ減退シタ結果ガ此
通りニナツテシマッタ、又一面カラ申シマス
ト、隆々トシテ日本ノ文化ガ進ンデ行キ、
國力ガ發達スルニ拘ラズ、農村ニ行ッテ見
マスト、明治時代ノ農村ノ生活ノ有様ガ依
然トシテ、此昭和十年ノ御代ニ至リマシテ
モ少シモ進歩ハシテ居ラナイ、少シモ生活ノ
向上ト云フモノヲ認メラレナイ、現ニ統計ノ
示ス所ニ依リマシテ、朝鮮ニ於キマシテハ
併合以來カラノ消費額ニ較ベマスト、今日
ニ於テハ約三百万石モ消費ニ減退ガアル、
私ガ内地ノ農村ニ行ッテ調べテ見マスト、洵
ニ氣ノ毒ナ有様デアリマシテ、米半分ニ麥
半分、或ハ粟、或ハ唐芋ト云フヤウモノヲ
加ヘマシテ農民ハ生活ラシテ居ル、甚シキ
ニナリマス、自分ノ生産シマシタ米ト云フ
モノハ悉ク賣ッテシマフ、サウシテ牛馬ニ等
シイ所ノ、實ニ粗惡ナル代用食ヲシテ居ル
ノデアリマス、此國民全體ノ消費力ノ減退
ト云フコトハ、此生活ノ向上ガ止ツシマッ

テ、都會ニ較ベマシテ悲慘ナル所ノ生活ノ
狀態ヲ今尙ホ有ツテ居ルコト云フ事實ガ、即チ
此過剩米コト云フコトニナルノデアリマス（拍
手）、ソコ此現在ノ慘憺タル狀況ニ對シ
マシテ、農相ノ立場カラ申シマシタラ、過
剩米サハ處分スレバ此問題ハ解決スルト思
召スカ知ラナイ、或ハサウカモ知レマセ
ヌ、併ナガラ首相ノ立場トシテハ、ソナ
狡イ視野デハ相濟マナイト私ハ考ヘル（拍
手）首相ノ視野ト云フモノハ、モウ少シ大
キイノデナケラニヤナラヌト思フ（ヒヤ
ヒヤ）詰リ畏レ多イコトデアリマスガ、上
御歷代ノ御仁徳ヲ拜察シマシテモ、我ガ赤
子ヲシテ一人ト雖モ飢ユルコトナカラシメ
ヨト云フノガ、是ハ御聖旨ト私ハ拜察シメ
居ル、シテ見ルト此慘憺タル狀況、即チ
過剩米ノ爲ニ大ニシテハ國家ノ財政ヲ脅カ
シ、小ニシテハ生産者ノ生活ヲ脅威スル、
斯ル時ニ於テ、首相ハ一歩進メテ此窮狀ヲ
救フト云フ御心ハナインデアアルカ、詰リ上
陛下ノ思召、御歷代ノ御仁徳ノ思召ニ從テ
首相ハ、陛下ノ御聖旨ニ副ウ御心ハナイン
デアアルカ、此點デアリマス

惑ハ掛ケナイヤウニシタイト思ヒマス、私
ハ先ヅ新制法ノ改正案ノコトカラ御尋シテ
見タイト思フ、前質問者モ一寸觸レタヤウ
デアリマシタガ、此新制法ノ改正案ノ中
ニ、詰リ政府ノ御方針トシテ出週期ニ米ノ
賣急ギラシテ殺到シテ來ルカラ、之ヲ喰止
メナケレバ米價ノ下落ノ虞ガアル、之ヲ喰止
メナケレバ、詰リ先刻ノ御説明ニモアリマシタ
ガ、矢張金利ト保管料ヲ取ルコトニナツテ
居ル、私ハ是ハ決シテ反對デハナイ、中々
一寸宜イ思付、宜イ思召ト考ヘ賛成シテ置
キマス、併シ更ニ深ク之ヲ檢討シテ見マス
ト、此結果ハドウナルカ、前質問者モ一寸
言ツタヤウデアリマスガ、結論ハ總テ大地
主、或ハ米屋サンノ利益ニハナルカ知レマ
セヌガ、中農以下ノ、悲慘ナル狀態ノ中ニ
呻吟シテ居ル生産者ニ對シテハ、餘リ利益
ハナイ、御承知ノ通り百姓ト云フモノハ、
米ノ商賣ト云フコトハ親譲リノモノデア
ル、此米ノ取引、米ノ賣買ト云フコトハ
誰デモ精通シテ居ル、吾々素人ト違フ、親
譲リデアアル、非常ニ詳シイ、所ガ其精通シ
テ居リマス中農以下ノ連中ガ、賣急ギラシ
テ云フノハ、詰リ賣急ギラセナケレバ生
活ガ出來ナイカラデアアル、詰リ或ハ藥價ガ
留ツテ居ル、或ハ肥料代ガアル、或ハ負債ノ利
拂ガアル、村ノ税金ヲ拂ハナケレバナラヌト
云フヤウナ、切迫シタ債務ガ此中農以下ノ人
ヲ責メ寄セテ居ル、故ニ損失ト云フコトハ分ッ
テ居リナガラ、是ハ賣ルノデアリマス、何モ好
ンデスルノデハナイ、賣急ギラセバ、餘リ巧
ク行カナイ、一俵ニ對シテ五拾錢ナリ、一
圓ナリ損失ヲスルコト云フコトハ分ッテ居リ
ナガラ賣ルコト云フノハ、止ムニ已マレヌ、
即チ賣ラネバ仕様ノナイダケノ悲慘ナル窮
境ニ陥ツテ居ル結果ガ、賣急ギラスルノデア
ル、デスカラ折角ノ御改正モ、大地主ヤ米
屋サンニハ利益ガ知ラヌガ、中農以下ニハ
利益ガナインコト云フコトニナル、ソコデア
リマス、農相ハ實ニ殘念ナコトヲサレヌデ
ザリマス、大事ナ所ヲ抜カシタ、斯ウ思フ
若シ此點ニ御氣付ニナツタナラバ、何故モウ
少シ御考ニナツテ、此中農以下ノ苦シデ居ル
者ヲ救フト云フ御氣持ニナラナカッタウ
カ、ソレハドウスレバ宜イカ、中農以下ノ

者迄モ一緒クタニ救フコトノ出來ル法案ガ
何カ別ニナイカ、現在御決メニナツテ居ル
所ノ最低價格ト云フモノニ、吾々ガ年來主
張シテ居ル所ノ利潤ヲ加ヘル、宜ウゴザイ
マスカ、吾々ガ年來主張シテ居ル所ノ利潤
ト云フモノ、政府ノ持ツテ御座ル所ノ最
低米價ニ加ヘル、サウシテ二ツノモノヲ合
シタモノヲ以テ新シイ最低米價トスル、ソ
コ迄農相ガ御勇氣ガアリマシタナラバ、單
ニ大地主ヤ米屋サンヲ喜バセルバカリデナ
ク、全國ノ生産者、大キイノモ少サイノモ、
小作人モ皆其恩典ニ浴スルデアラウト思フ、
ソコヘドウシテ農相ハ御氣付ニナラナカッ
タカ、實ニ私ハ遺憾ニ思フ、ドウゾ一ツ此點
ニ付テ、農相ハドウ云フ見解ヲ有ツテ居
レルカ、吾々ノ言フ利潤ト云フモノヲ加ヘ
テ、サウシテ最低米價ヲ吊上ゲサヘスレ
バ、全生産者ガ喜ブト云フノダガ、満足
スルト云フノダガ、ドウシテサウ云フコト
ヲ御採用ニナラナカッタカ、是ガ一ツデア
リマス、其次ニハ更ニ新制法ノ改正中ニ斯ウ
云フコトガアル、災害地ニ米ガ要ル其場合
ニ於テ、拂下ルノニ特別ノ設備ケル、是モ一
應賛成デス、中々好イ御氣付デス、去年ノ
ヤウナコトガアルト大變御迷惑、大變御苦
シミニナツタ、是ハ好イ思付デアアル、折角ノ
好イ思付デアリマシタガ、是モ亦大切ナ所
ガ抜ケテ居ル、御出シニナツタ此法案ニ依
リマス、詰リ政府ノ持米ヲ濫リニ拂下ラ
スル爲ニ、全體ノ米價ニ惡影響ヲ及ボサナ
イト云フコトヲ非常ニ御心配ノ結果、最低
ト最高米價ノ中間ニアル相場ダナイン賣ル
コトガ出來ナイ、或ハ政府米ヲ出ス時ニ、
最高價格ヲ維持スル力ガナイ時ニハ困ルカ
ラ、サウ云フ制限ヲ附ケテ特別法ヲヤルト
云フ、斯ウ云フ思召デアアル、ソレガヤ、コ
シイ、間違ッテ居ル、ドウ云フコトガ間違ッ
テ居ルカト云フト、ソレハ農相ノ著眼點ガ
間違ッテ居ル、ドウ云フ所ガ間違ッテ居
カ、是ダケ申シタウ御氣付ニナツタカ知レ
ナイガ、例ヘバ函館ニ於キマシタ火災ノ爲
ニ燒ケテシマツタ米ガ、假定シテ十萬石トス
ル、其火災ニ依ツテ燒失シタ十萬石トス
ラバ、民間ノ持米ガ殖エルト云フ譯デナイ
カラシテ相場ニ關係ハナイ、燒失シタモノ

ダケヲ政府ガ出スト云フコトハ、少シモ民
間ノ持米ヲ殖サナイノデアルカラ、相場ニ
影響ハナイカラシテ、此災害ニ對スル所ノ
方針ト政シマシテハ、燒失シタ、即チ消エ
テシマツタ石數ニ限ツテ、思切ツタ處分ヲス
ルト云フコトハ、影響ヲ及ボサナイト云フ
コトニナル、之ヲドウシテ御氣付ニナラナ
カッタカト思フ、サウ云フ方法ヲサナレバ昨
年ノ冷害ノ問題デモ、五十萬石ハ多イダノ
少イダノ、摺ツタ採シタノ喧嘩ガアツタガ、
サウ云フ問題ハ此方針ニ依ツテ悉ク一時
ニ解決スル、解決スルバカリデナク、全國
ニ對スル米價ニハ影響ガナイ、即チ燒失シ
タ、無クナツタ石數ダケヲ政府ガ調ベテ出
ス、斯ウ云フコトニナル、之ヲ御氣付ニナ
ラナカッタハ何カ御意見ガアルカ、此點ニ
レヲ御尋マス

次ハ即チ自治管理法ニ付テ御尋ヲ致シマ
ス、一番ニ御尋ヲシタイノハ、認可制度ト
命令ト二ツガアル、認可ト云フコトニナリ
マス、各町村ニ於テ、俺ハコンナ自治管
理、即チ統制組合ト云フモノヲ拵ヘル必要
ハナイト思ヒマス、其制裁ガ第九條ノ
イ、命令トナリマス、其制令一本格デアナ
御規定デハボンヤリシテ居リマスガ、臺灣
朝鮮デアリマスレバ、此命令一本格デアナ
ガ抑ヘ付ケニナルカ知ラナイガ、臺灣ト違
フ、此文化ノ進シタ内地、此立憲政治ノ布カ
レタ内地ニ於キマシテ、命令デ強制的ニ御ヤ
リガ出來マスカ、ソレトモヤル御積リデ強制
サレルノデアアルカ、ソレヲ御尋シタイ、
大變重大ナ問題デアリマスゾ、若シ強制的
力ガナイト致シマス、全國ニ及ボスベキ
所ノ統制ト云フコトハ出來マセヌ、強制力
ガナイ、統制組合ト云フモノガ或村ニハ出
來、或村ニハ出來ヌト云フコトニナリマシ
テ、全國ノ統制ト云フモノハ出來ナイ、若
シ嫌ヤト云ツテモ無理ニ實行スルト云フコ
トニナルナラバ、ソレハ非常ナル非立憲的
ナ、非常ニ内地民ヲ未開ノ國民ト同様ニ御
取扱ニナルコトデアツテ、是非非常ニ立憲政
治ニ於テハ禁物デアアル、第一許スベカラザ
ルコトデアラウト私ハ思フ、次ニハ貯藏ト
解除、詰リ統制組合ニ依ツテ貯藏ヲスル、政

私ハ今度ハ農相ト拓相ニ御伺ヲ致シマ
ス、前質問者カラ色々ノコトヲ質問シテ居
リマスノデ、私ハ成ベク重複ヲ省イテ御迷

カ、ソレハドウスレバ宜イカ、中農以下ノ

カ、ソレハドウスレバ宜イカ、中農以下ノ

解除、詰リ統制組合ニ依ツテ貯藏ヲスル、政

府ノ説明ニ依リマス、米價ガ一割以上騰貴シタ場合ニハ解除サレル、解除サレテ合點ノ行カヌコトガアル、法文ヲ見マシテモ、政府ガ必要ト認ムル場合ニハ限リテ解除ト云フモノヲヤル、統制組合デ統制シ貯蓄シテ居ル米デモ、モウ値上リガシタカラ賣リタイト思フデモ、政府ノ方デ必要ト認メナケレバ賣ルコトハ出来ナイ、此處ニ非常ナ胡麻化シガアルト思フ、何故カト申シマス、統制法ニ依リマシテ最低米價デ買上ゲマシテ、最高價格ニ達シマシテ賣ルコトガ出来ナイ、何故賣ルコトガ出来ナイカト云フト、蓋リニ賣出スコトニナルト米價ニ惡影響ヲ及ボシテ、折角上リツ、アル米價ヲ下ゲル虞ガアル、ソレニ統制米ノ方デハ、一割サヘ上レバ直グ賣ツテモ宜イト云フコトデアレバ、折角ノ統制法ノ趣意ヲ根本カラ破壊スル、ダカラ確ニ必要ト認メル云々ト云フコトガ、政府ノ大事ナ「ベテシ」デアル、羊頭ヲ懸ゲテ狗肉ヲ賣ル、詰リ良サ、ウナコトヲ言フテ喰ハシテ置イテ、其實ハ必要ガナイカラ、必要ト認メナイカラ、統制組合デ貯蓄シテ居ル米ハ賣置罷リ成ラス、解除罷リ成ラストオ出デニナルト思フ、農相ハ首ヲ振ラレマシタガ、確ニサウデアリマス、若シ之ヲ一割サヘ騰貴スルナラバ、直グ政府ガ必要ト御認メニナルト云フ御言明ガ出来レバ免ニ角、ソレハ其時ニナラヌケレバ分ラヌト云フコトナラバ、是ハ胡麻化シデス、政府ノ方デハ何億ト云フ金ヲ費シテ、最低米價デ買上ゲテ、最高米價マデ賣ラナイデ、米價ヲ調節シテ行カウ、米價ヲ向上シヨウト思フデ居ルカラ、災害地デモ惡影響ヲ及ボスヤウデアルト、米ハ此際賣ラヌトマデ御決メニナツタ其御方ガ、統制米ニバカリ、一割上ツタラ全國ノ統制米ガドンノ市場ニ出ルト云フコトニナツタラ、政府ノ方針ヲ根本カラ覆ス、ダカラ一面カラ言ヘバ矛盾トモ言ヘルガ、私ハサウハ見ナイ、政府ガ米穀統制法ト云フ良イ名ヲ藉リテ、茲ニ之ヲ作りサヘスレバ、上ル時ニハ直グ賣ツテ宜イト云フヤウナ宣傳ヲシテ置イテ、其實ハ日本全國ノ統制米ノ模様ヲ見デ置イテ、是ハ米價ニ惡影響ガアル、

必要ト認メヌト云フ一箇條デ、統制米ニ對シテ賣買ヲ許サナイ、解除ヲシナイト云フ結論ニナル、詰リ羊頭ヲ懸ゲテ狗肉ヲ賣ル、良イコトヲ言フ統制法ノ方ニ引付ケテ置イテ、賣ラウトスル解法ハシナイ、一年間、即チ米穀年度ノ間ハ倉ノ中ニ納メテ置ク、是ガ怖イ、若シ果シテサウデアラナラバ、是ハ言語道斷ノ法律、此點ヲ明確ニ御答辯ヲ願ヒタイ(簡單々々「ユックリ」)ト呼フ者アリ)君達方無理ニ今夜ヤラセルノダカラ長イコトヤル、ソコ成程是ハ先刻ノ質問者モ仰シヤツタヤウデアリマシタガ、詰リ世間デ言フ責任轉嫁ダ政府デハ困ル、今ノヤウニシテ殺到シテ米價ガヤツテ來テハ、統制法ノ結論トシテ最低米價デハドンノ買上ゲネバナラス、隨テ十一億五千萬圓ト云フ資金モ残り少クナル、是デハ政府ノ財政ハ破壊スルカラシテ、此責任ヲ民間ノ生産者ハ轉嫁シヨウト云フヤウナ御考デアル、世間デ噂スル責任轉嫁ト云フハ此處ダ、若シ果シテ然リトスレバ容易ナラヌ、今度ハ費用ノ點ヲ御尋シマス、此費用ノ點モ、先刻村松君デシタカ仰シヤツタヤウデスガ、私モ殆ド同一デス、詰リ費用ハ要ラヌト思フト大間違、倉庫モ拵ヘナケレバナラス、事務所モ拵ヘナケレバナラス、人件費モ要ル、通信費モ要ル、農會ヨリモ寧ろ此統制組合ノ方ガ金ガ要ル、ソレハ總テ法律ニ依ツテ其區域内ノ生産者ニ賦課セラルルコトニナツテ居ル、ソレハ消耗費ナンカハ助成金ヲ出スト仰シヤルガ、ソレハ助成金モ出マセウ、ケレドモ免ニ角此費用ト云フモノハ相當ニ要ル、ソレバカリナラ宜イガ、今度ハ上級ノ會、即チ地方ノ聯合會ノ費用モ引受ケナケレバナラス、中央聯合會ノ費用モ引受ケナケレバナラス、丁度農會ト同ジコトダ、現ニ今農會デサヘモ、非常ニ貧困ナ町村ニ於テハ出シ難クテ居ル、ソレニ又更ニ此費用ヲ町村、即チ農民ニ負擔サセルト云フコトハ無理ナ話ダ、何カ利益ノアルコトナラバ免モ角モ、義務トシテ、詰リ臺灣ヤ朝鮮邊リニ取ツテハ、此統制法ヲ拵ヘルト云フコトハ、ドテ腹ヘ糸ヲ据ヘラレルヤウナモノデアル、ソレヲヤラウト云

フノハ無理デハアリマセヌカ、私ハ此費用ト云フ點ニ對シテハ非常ニ御無理デアルト思フ、今度ハ分配ノ點ニ付テ御尋スル、此分配ト云フコトニ付テ根本カラ私ハ申上ゲテ見タイ氣ガスル、先刻モ申上ゲマシタ通り、内地デハ今日ニ於テ過剩米ト云フモノハ絶對ニナイ、六千五百萬ノ人口ニ對シテ六千五百萬石ノ生産デアリマスカラ、絶對ニ内地ニ於テハ過剩米ハナイ、昨年六十五議會ノ時ニモ、吾々ハ非常ニ此問題ヲ主張シタ、是ハ臺灣ト朝鮮カラ來ル移入米ノ結果デ此通り苦シムノダカラ、臺灣ト朝鮮ハ別ニシテ貴ヒタイト云ツテ修正案モ出シ、委員會デモ怒號シタ、其當時内地ニハ過剩米ト云フモノハナイ、ソレガ共存共榮ノ主義カラシテ、總テノ過剩米ヲ一〇〇%トスレバ、御附合ニ三五%内地ガ引受ケタ、内地ニハ過剩米ガナイケレドモ、共存共榮ノ手前、割前ヲ三五%貰ツタ、デアリマスカラ内地ハ何處ヲ探シタツテ過剩米ガナリ、過剩米ガナイモ、三五%ト云フ過剩米ヲ頭カラ割付ケル、政府カラ中央、中央カラ地方、地方カラ各町村ノ統制組合ヘ割付ケル、本來ガ無理ダ、過剩米ガアツテコソ宜イダ、過剩米ノナイノニ、朝鮮ト臺灣ト過剩米ヲ共存共榮ノ主義カラ割付ケル、ソコデソレヲスルニ付テハ相當ニ調査ノ必要ガアラウ、承リマススト荷長ノ御説明デハ、販賣ト消費、生産ト云フ此三ツヲ基礎ニシテ、サウシテ何處ノ村ハ幾ラ、何處ノ村ハ幾ラト云フヤウニ、分配標準ヲ御決メニナツテ居ルノダガ、一體サウ云フコトニナリマス、莫大ナ費用ガ要ルト思ヒマスガ、ソレハ誰ガ負擔スル、政府デスカ、或ハ又中央聯合組合デスカ、或ハ地方組合デスカ、恐ラク地方ノ、即チ市町村ニ於ケル最下級ノ統制組合ガ、サウ云フ調査費モ負擔シタマシヤナラヌ、全縣、全國澤山ノ町村ニ對シマシテ、悉ク其消費、販賣、生産ト云フヤウナモノ、其分配ノ基礎トシテ調べネバナラスト云フコトニナレバ、決シテ容易ナコトデヤナイ、其實用ニ依ツテ其分配ガ決ツテ、初メテ各町村ノ負擔額ガ決ツテ來ル、容易ナコトデヤナイ、此點ニ付テ私共ノ安心スルヤウ

ナ御説明ガ欲シイ、詰リ此費用ノ負擔カラ、各町村ニ於ケル所ノ最下級デアル、即チ統制組合ノ費用ト云フヤウナモノヲ、生産者ニ負擔サセルト云フコトニナツテ來ル、容易ノ事デナイ、斯ウ云フコトヲ私ハ思フ、要スルニ斯ウ云フ點ニ對シマシテ、私ハ明快ナル農相ノ御答辯ヲ御願スル、最後ニ私ハ拓相ヘ御尋スル、朝鮮ニ拓相ハ長ク居ラレタ、即チ寺內總督ノ下ニ居ラレタ、私モ當時長ク行ツテ居タカラ、私ガ朝鮮ノ事情ニ相當明ルイト云フコトヲ御認メニナルダラウト思フ、ソコデ私ハ御尋スル、内地デサヘモ困難ト思ハレルヤウナ、サウシテ費用ガ要テ面倒ナ此統制組合ト云フモノガ、果シテ朝鮮ヤ臺灣ノヤウナ民度ノ低イ處ニ實際實行出來マスカ、二三年前ニ何ダカ名儀ダケ政府ハ自治制ヲ御布キニナツタガ、其實ハ官制デアル、名儀ダケハ自治制ヲ御布キニナツタ、併シアレハ名儀ダケバ、ソレデモ旨ク行カナイ、町村ノ行政ナラバ名儀ノ自治制モ宜カラウ、併シ農民ノ近付キノ關係ガ深い、生活問題ト非常ニ密接ナ米ノ問題ヲ行政ノ自治ガ官制デ出來タト云フノデ、此モノガ出來ルトアナタハ思召スカ、私ハ現在ノ朝鮮ノ民度カラ推シマシテ、非常ナ不可能ナコトヲ御強ヒニナルノデヤナカラウカ、殊ニ此規則ノ中ニ、先刻モ申シマス通り命令ノ一本槍ダ、作ラヌケレバ罰金ヲ取ルト云フ、威シ付ケノ筆法デ朝鮮ヲオヤリニナルト云フヤウナコトニナツテ來ルト、由々シキ大事ガ起ルコトハ御承知ノ通りデス、アノ萬歲驛キダツテ、先般アツタ萬寶山ノ復讐事件ダツテ、一夜ノ中ニ起ル、人心ノ轉移ト云フモノハ恐シイ、人ヲ治ムルハ其心ヲ取ルニアリ、心ヲ取ラズシテ唯命令デ以テヤルト云フコトハ、朝鮮ヲ永久ニ日本ノ領土、日本ノ土地トシテ同化シテ行ク方針トハ背キマス(拍手)此點ドウ御考メニナリマスカ、臺灣モ同ジコトデス、臺灣デ私ハ思出シマスガ、私ハ臺灣領有ノ頃臺灣ニ居リマシタ、當時ノ總督ハ、アナタノ御大人デアツタ所ノ兒玉大將、アノ人ガ總督デアツタ、後藤長官モ居ラレタ、非常ナ苦心ノ下ニ、アノ臺灣ト云フモノハ今日ノ隆盛ヲ來シテ居ル、併シ人心ノ融和ト云フモノハ、

今以テ非常ニ困難ナル、漸ク名儀ノ自治、實際ハ官制ノ自治制ガ貴族院ニ出テ來タト云フ位ノ狀態デアル、ソコヘ持ッテ來テ此統制、即チ自治管理ト云フモノヲ大膽ニモアタガハ御認メニナツタト云フコトハ、私ハ合點ガ行カナイ、ドウシテモ合點ガ行カナイ、内地ナラバ直グニ藩旗デモ立デマスヨ、收穫モシナイ第二回ノ米穀豫想デ以テ、御役人ガ机上デ決メル、苗モ植エナイ、田モ耕シモシナイ時期ニ於テ、三箇月モ、四箇月モ、五箇月モ前ニ、唯機ノ上デ以テ、第二回ノ臺灣ノ收穫米ハ是レト云フコトハ御決メニナルト云フコトハ、果シテソレハ本氣デスカ、實際ニ於テ私ハ臺灣ノ人心ヲ害スルコトハ甚大デアラウト心カラ思フ、アナタガ臺灣ニ御縁ガ薄イナラバ私ハ餘リ言ハナイ、併シアナタノ御大人ガ、折角苦心慘澹ノ下ニ築キ上ゲタノ臺灣、サウシテ今日ノ隆盛ヲ極メテ居ル臺灣ヲ——朝鮮ニシマス、アナタハ警察關係ニ於テ思想ニ功勞ノアルアナタ、ソレガ斯ウ云フ案ニ贊成ヲ爲サル、サウシテ御印ヲシテ出ス、アナタノ實際ノ御考ハドウデスカ、早過ギヤシマセヌカ、無理デハアリマセヌカ、實際行ハレマスカ、單ニ力ニ依ッテヤルト云フナラバ、人心ヲ害スルコト甚シイモノガアルコトヲドウスルカ、此點モ一ツ御答辯ヲ願ヒタイ、私ノ質問ハ是ダケデス

（國務大臣山崎達之輔君登壇）

○國務大臣（山崎達之輔君） 第一ノ御問ハ總理大臣ヘノ御問ノヤウデアリマシタケレドモ、米ノ消費ノ關係ガアリマシタケレヨリ御答ヲ申上ゲマス、深水君ハ米ノ過剩ハ消費減退ノ結果デハナイカト云フ御疑念ノヤウデアリマスカ、消費ノ増減ハ年ニ依ッテ固ヨリ不同デアリマス、併ナガラ過剩米ノ原因ハ主トシテ内地、殊ニ外地ニ於ケル急速度ノ供給増加ニアルト云フコトハ、是ハドウモ疑ヒノナイコトデハナイカト思ヒマス、尤モ農村振興ニ關スル一般ノ政策ニ付テハ、是ハ自ラ別箇ノ問題デアリマス、最低價格ニ金利、保管料ヲ加ヘテモ、中農ニ利益ハナイカト云フ御問デアリマスガ、此制度及自治管理、其他全體ノ案ニ通ジマシテ、從來ノヤウニ出廻期ニ非常ナ賣リ急

ギヤナル爲ニ、米價ノ低落ヲ來シ、出來秋ニ端境期ニハ漸ク米ガ有リガスレニナル、非常ナ暴騰ヲスル、此弊ヲ矯メタイト云フコトガ、全體ノ案ニ通ジテ第一ノ精神デアリマス、此點ハ中農以下ニ對シマシテ相當ノ利益ヲ齎ラスコトハ、御理解ヲ得ルコトガ出來ヤウト思ヒマス、最低價格ニ利潤ヲ加ヘルト云フ御説ハ能ク伺フ點デゴザイマシテ、一個ノ御見解ト考ヘマス、併ナガラ最低價格ハ即チ米價ノ最低保障デアリマス、最低ノ保障デアツテ、ソレ以上ノ値下リハ默スルコトガ出來ナイカラ、政府ノ力ニ依ッテ救フ、斯ウ云フ建前デアリマス、隨テ最低價格ヲ一本ノ公定價格ト同様ニ考ヘマシテ、之ニ利潤ヲ加算スルコト云フコトハ、少シク如何デアラウカ、斯様ニ私ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、政府米ノ拂下ヲ自由ニ云云ト云フコトデアリマスガ、是ハ先程モ申シマシタヤウニ、今回ノ法案ノ程度ガ適當デアラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ貯藏米ノ解除ノ申請ガアツテモ、容易ニ許可セヌデアラウ、又サウデナケレバ統制法ト矛盾見タヤウナコトニナルカ配ハナイカト云フヤウナ御趣意デアツタヤウデアリマス、統制法ハ御承知ノヤウニ最高價格ヲ定メマシテ、最高價格以上ニ米價ガ騰貴致シマスルコトヲ防イデ、之ニ依ッテ消費者ノ利益ヲ擁護スルノ建前デアリマス、隨テ最高價格ニ達シマスレバ、政府ハ要求ニ應ジテ賣應ズルノ義務ヲ有ッテ居ルデアリマス、併シ是ガ爲ニ最高價格以下ニ於テ、甚ダ無制限ニ賣出ヲスルコト云フヤウナ制度ヲ考ヘル譯ニハ行キマセヌ、併ナガラ自治的ニ管理ヲ致シテ居リマスル貯藏米ハ、政府ノ持米トハ其邊ノ關係ニ於テ相違アリマスコトハ、是ハ需給ノ狀態ヲ考ヘ、又相場ノ模様ヲ考ヘマシテ、或ル程度ノ解除ヲ致スト云フコトハ、何等差支ナイト考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレカラ經費ノ關係デアリマスガ、是ハ何レ委員會等ニ於テ、細カク計數ニマツテ御説明ヲ申上ゲマスル方ガ御理解ヲ得ルコト、思ヒマス、大要右ヲ以テ御答ト致シマス

（國務大臣伯爵兒玉秀雄君登壇）

○國務大臣（伯爵兒玉秀雄君） 多年御互ニ朝鮮ノ爲ニ努力シテ参リマシタ深水君カラ、

洵ニ御親切ナル御尋ガアリマシタノデ、私御答申シテ見タイト思ヒマス、先程モ申上ゲマシタ通りニ、朝鮮並ニ臺灣ガ内地ノ米ノ統制ノ爲ニ貢獻ヲシテ居ルト云フ事柄ハ、著シテ事實ト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ朝鮮ニ於ケルハ、米ニ關スル色々ノ施設ハ、内地ニ於ケルヨリモ遙ニ私ハ進んで居ルト考ヘテ居リマス、現ニ昨年アタリカラ喧シクナリマシタ郷倉ノ組織ノ如キ、朝鮮ニ於ケルハ古來カラ社還米ト致シマシテ行ハレタル所ト殆ド同様ノモノデアリマス、ソレガ中途ニ於テ荒廢ニ歸シ、近年ニ於テソレガ更ニ復興サレタト云フ事實デアリマスルノデ、其點モ朝鮮ノ方ガ一歩進んで居ルヤウナ風ニ考ヘテ居リマス、又穀ノ貯藏ニ付キマシテモ、深水君能ク御承知ノ通り、野積ノ制度ガアリマスノデ、此點ニ付キマシテモ内地ヨリハ朝鮮ノ方ガ、穀ノ貯藏ニ付テモ進んで居ルヤウナ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ朝鮮ニ於ケルハ、内地ニ對シマスルモ、而シテ移出ノ壓迫ヲ致シマスルガ爲ニ、夙ニ倉庫會社ノ獎勵ヲ致シテ居リマス、此點モ内地ヨリ私ハ朝鮮ノ方ガ進んで居ルヤウナ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ今同結制組合ヲ實行スルニ當リマシテハ、内地トハ稍趣ヲ異ニ致シマシテ、其理事者デアリマス所ノ者ハ悉ク官選ニ致シマシテ、而シテ朝鮮ノ事情ニ適應スル組織運用ニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、深水君モ御承知ノ通りニ、朝鮮ニ於ケルハ、深水君ニ於テ最も有力ナル金融機關ハ、所謂金融組合デアリマス、此金融組合ハ、組合長ハ官選ノ理事ガ之ヲ掌ツテ居リマスノデ、今日ニ於テハ實ニ完全ナル發達ヲ致シテ居ルノデアリマス、是等ノ金融組合ノ例ヲ見マシテモ、此統制組合ハ朝鮮ニ於テ最も有效ニ、圓滿ニ施行サレルモノト考ヘテ居ルノデアリマス

（國務大臣岡田啓介君登壇）

○國務大臣（岡田啓介君） 深水君ノ私ニ對スル第一ノ御尋ハ、農林大臣ノ御答デ盡キテ居ルト思ヒマス、第二ノ御尋ハ、大ニ勇氣ヲ揮ツテ農村更生ノ恆久對策ヲヤレ、斯ウ云フコトデアツタト思ヒマス、私ハ本議場ニ於キマシテモ、亦委員會ニ於キマシテモ、

農村ノ經濟更生ニ對シテハ、今後大ニ力ヲ盡スト云フコトヲ申シテ居リマス、今後大ニ力ヲ盡ス積リデ居リマス（拍手）

○深水清君 私ハ只今ノ政府ノ御答辯ニ對シマシテハ、大ニ疑義ガアリマスケレドモ、最早委員會ニ譲リマシテ、本日ハ是デ打切リマス

○議長（濱田國松君） 三案ニ對スル質疑ハ終局致シマシタ、各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リヲ致シマス

○青木雷三郎君 日程第六乃至第八ノ三案ヲ一括シテ、議長指名三十六名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長（濱田國松君） 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

（異議ナシト呼フ者アリ）

○議長（濱田國松君） 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○議長（濱田國松君） 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

（異議ナシト呼フ者アリ）

○議長（濱田國松君） 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次會ノ日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時五十七分散會

衆議院議事速記第十八號中

正誤

頁段 行 誤 正
三三三 一 一 〇 質入證券 質入證券
內閣印刷局